

令和2年度

高知県

歯と口の健康づくり

実態調査報告書

令和3年3月

高

知

県

令和2年度

高知県 歯と口の健康づくり

実態調査報告書

令和3年3月

高 知 県

## ま え が き

本県では、県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県を目指して、「日本一の健康長寿県構想」を推進しており、その中で「歯と口の健康づくり」を重要な取組の一つに位置付けております。

平成23年4月に「高知県歯と口の健康づくり条例」（以下「条例」という。）を施行、平成24年3月には、「高知県歯と口の健康づくり基本計画（計画期間：平成24年度～平成28年度）」を、平成29年3月には「第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画（計画期間：平成29年度～令和3年度）」を策定し、「むし歯予防対策」、「歯周病予防対策」、「高齢者の歯科保健対策」を主要な施策として歯科保健対策を進めてまいりました。

また、令和2年3月に条例を改正し、妊娠期からの口腔健康管理、乳幼児期・学齢期の口腔機能発達及びむし歯予防、思春期における歯肉炎予防、成人期の歯周病進行予防、高齢期におけるオーラルフレイル予防を進めていく旨を前文に明示しました。

生涯に渡って自分の歯と口で美味しく食べ、明るく話し、笑いながら生涯を過ごすためには、それを支える歯と口の健康を維持することが重要です。県民の皆様の歯と口の健康状態を把握し、今後の歯科保健医療対策を計画的かつ総合的に推進していくため、今回の調査を実施いたしました。本書を県民の皆様の健康長寿推進のためにご活用いただけたら幸いです。

今後も全てのライフステージを通じた口腔疾患予防を推進し、各世代に応じた対策を強化して県民の皆様の生活の質向上につなげていきたいと考えております。

終わりに、本調査にご協力いただきました県民の皆様及び関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

高知県健康政策部長

鎌倉 昭浩



# 調査報告書

1	妊婦への歯科保健調査報告書	1
2	がん連携に関する医療機関調査報告書	35
3	高齢者の歯と口の健康づくりに関する施設調査報告書	57
4	障害者の歯と口の健康づくりに関する施設調査報告書	79
5	歯科疾患実態調査報告書	101



# 1 妊婦への歯科保健調査報告書

## 目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査対象	1
4. 調査実施日	1
5. 実施率	1
6. 調査主体	1
7. 結果の集計	1
II 調査結果の詳細	2
II-1 質問調査	2
1. 対象妊婦の特徴について	2
1) 回答者数と年齢	2
2) 妊娠週	2
2. 口腔状態について	3
1) 満足度	3
2) 歯ぐきの腫れ	3
3) 歯の痛み	4
4) 口臭	4
3. 病気の治療状況について	5
4. 生活習慣について	5
1) 間食について	5
2) 喫煙習慣について	6
3) 飲酒習慣について	6
5. 口腔衛生習慣について	7
1) 歯みがき習慣について	7
(1) 朝起きてすぐ	7
(2) 朝食後	7
(3) 昼食後	8
(4) 夕食後	8
(5) 就寝前	9
2) 補助清掃用具の使用について	9

3) 歯科医院での歯みがき指導経験について .....	10
6. 歯科医院受診について .....	10
1) かかりつけ歯科医院について .....	10
2) 年1回以上の定期受診について .....	11
3) 直近の歯科医院受診について .....	11
4) 多忙で歯科医院に行けないことについて .....	12
<b>II-2 歯科健康調査</b> .....	13
1. 歯の状況 .....	13
1) 健全歯数, 未処置歯数, 処置歯数, 現在歯数 .....	13
2) 要補綴歯, 欠損補綴歯, インプラントの有無 .....	13
2. 歯肉・口腔衛生の状況 .....	14
1) 歯肉出血の状態 (CPI) .....	14
2) 歯周ポケットの状態 (CPI) .....	14
3) 口腔清掃状況 .....	15
4) 歯石の付着 .....	15
3. その他の所見 .....	16
1) 歯列咬合, 顎関節, 粘膜, その他 .....	16
4. 判定区分 .....	16
1) 判定区分 .....	16
<b>III 平成27年度調査との比較および項目間の関連性</b> .....	17
1. かかりつけ歯科医院について .....	17
2. 喫煙習慣について .....	17
3. 補助清掃用具の使用について .....	17
<b>IV まとめ・考察</b> .....	18
1. 歯・口腔の気になる症状について .....	18
2. 生活習慣について .....	18
3. 口腔衛生習慣について .....	18
4. 歯科医院の受診行動について .....	18
5. 歯科健康調査について .....	18
6. 総括 .....	19
<b>V 資料</b> .....	20
1. 調査票 .....	20
2. 集計結果表 .....	21

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

「高知県歯と口の健康づくり基本計画」に基づく歯周病予防対策を推進するため、高知県内の妊婦の歯科保健の現状を調査し、定期健診受診の動機づけなど今後の歯科保健指導へ応用する基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査方法

平成 28 年 8 月 1 日以降に母子健康手帳の交付を求めて市町村の窓口を訪れた妊婦に対して、歯科医院での妊婦歯科健康診査受診を勧奨し、健康診査実施歯科医院から郵送もしくは持参により提出されたアンケート調査を含めた受診票を高知県歯科医師会から回収した。

### 3. 調査対象

平成 28 年 8 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日に市町村が母子健康手帳を交付の際に歯科受診券を交付した 12,730 名の妊婦のうち、受診票を回収できた妊婦 3,369 名

### 4. 調査実施日

平成 28 年 8 月から令和元年 10 月までの 39 か月間

### 5. 実施率

各市町村において、総計 12,730 名の妊婦に受診券を配布したため、実施率は 26.5%である。なお、参考までに妊婦歯科健診の受診者数は 4,019 名（受診率 31.6%）である。

### 6. 調査主体

高知県健康政策部健康長寿政策課

### 7. 結果の集計

結果の集計は、高知県健康政策部健康長寿政策課の委託を受け、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野が行った。



## Ⅱ 調査結果の詳細

### Ⅱ-1 質問調査

#### 1. 対象妊婦の特徴について

##### 1) 回答者数と年齢

アンケート回答者 3,369 名のうち、年齢の明らかな 3,359 名の平均年齢は 31.6 ± 5.1 (範囲 16-46 歳) であった。年齢区分の内訳を表 1 に示す。

表 1 アンケート回答者の年齢区分

階級値(歳)	度数	%
16-19	33	1.0
20-24	236	7.0
25-29	884	26.2
30-34	1,230	36.5
35-39	779	23.1
40-46	197	5.8
不明	10	0.3
総数	3,369	100.0

なお、年齢区分別による以下の分析では 24 歳以下 (16-19 歳, 20-24 歳) および 35 歳以上 (35-39 歳, 40-46 歳) として表記した。また、本項目以降の年齢区分による分析では、不明の 10 名を除外した 3,359 名を対象とした。

##### 2) 妊娠週

アンケート記入時の平均妊娠週は 23.5 ± 5.5 週 (範囲 7~39 週) であった。

表 2 アンケート回答者の妊娠週区分

妊娠週数	度数	%
妊娠初期 (~15週)	112	3.4
妊娠中期 (16~27週)	2,498	74.8
妊娠後期 (28~39週)	731	21.9
総数	3,341	100.0

## 2. 口腔状態について

### 1) 満足度 (回答データ数 3,302名)

歯や口の状態について、ほぼ満足している者は38.8%、やや不満だが日常は困らない者は56.1%、不自由や苦痛を感じる者は5.1%であった。

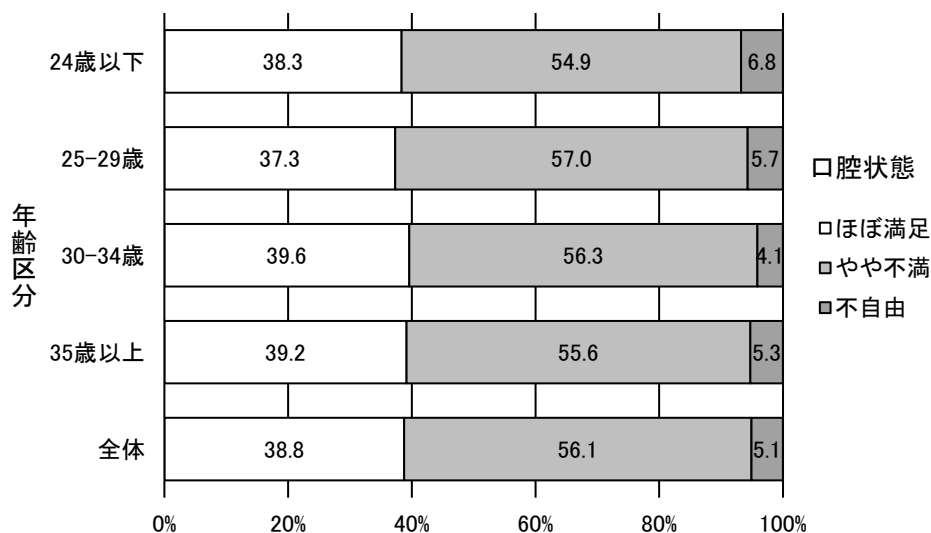


図1 口腔状態に対する満足度

### 2) 歯ぐきの腫れ (回答データ数 3,302名)

歯ぐきの腫れがある者は全体で35.0%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では歯ぐきの腫れがある者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p < 0.05$ )。

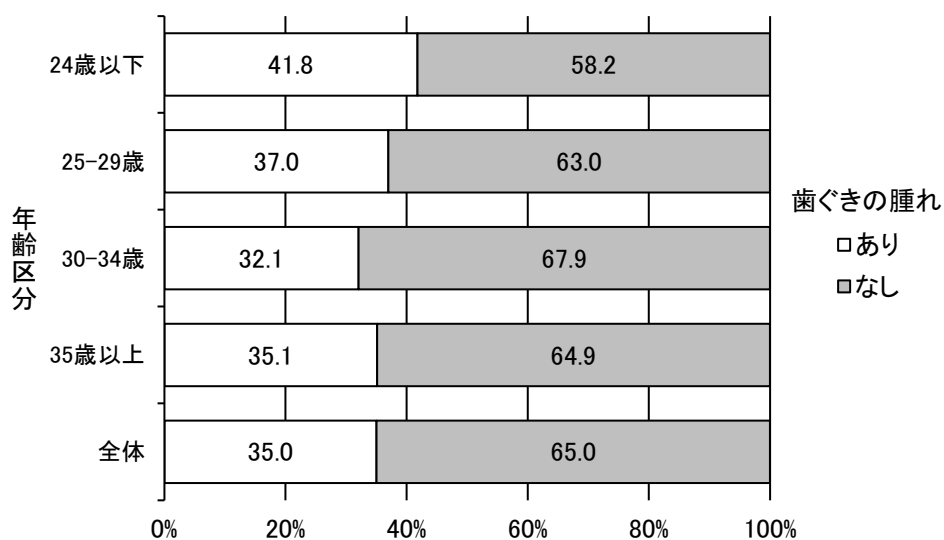


図2 歯ぐきの腫れ

3) 歯の痛み (回答データ数 3,334 名)

歯の痛みがある者は全体で 29.1%であった。25 歳以上の者と比較して、24 歳以下では歯の痛みがある者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p < 0.05$ )。

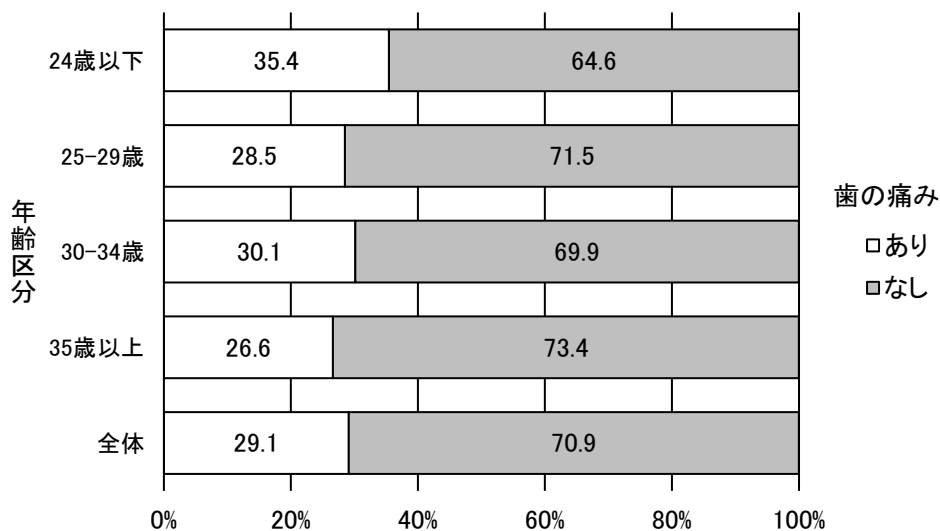


図3 歯の痛み

4) 口臭 (回答データ数 3,323 名)

口臭が気になる者は全体で 37.9%であった。年齢による違いは認められなかった。

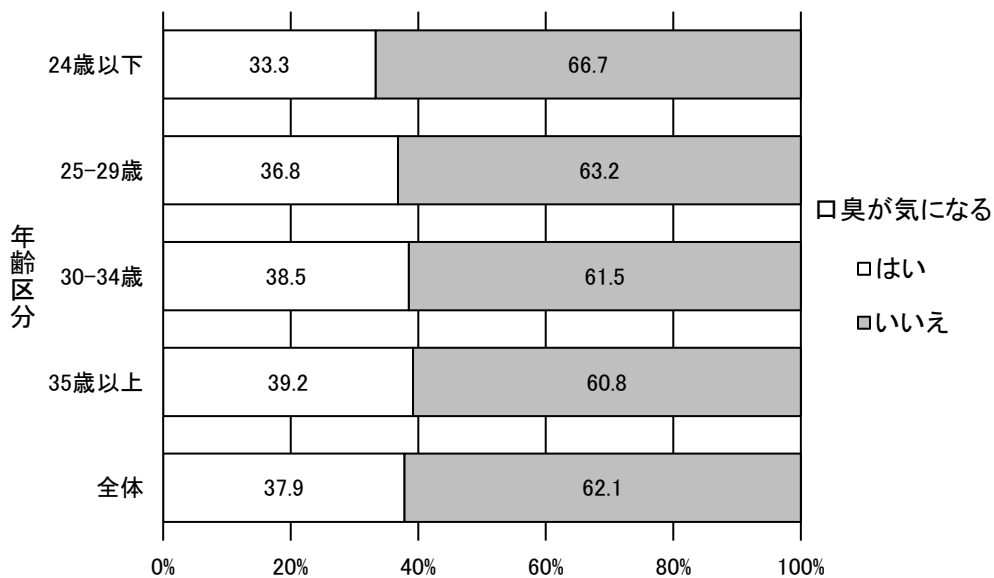


図4 口臭

### 3. 病気の治療状況について（回答データ数 100, 重複回答）

「現在、糖尿病・脳卒中・心臓病・その他の病気で治療を受けていますか」という質問に対し、歯周病に関連する疾病のうち糖尿病を治療している者は0.4%であった。

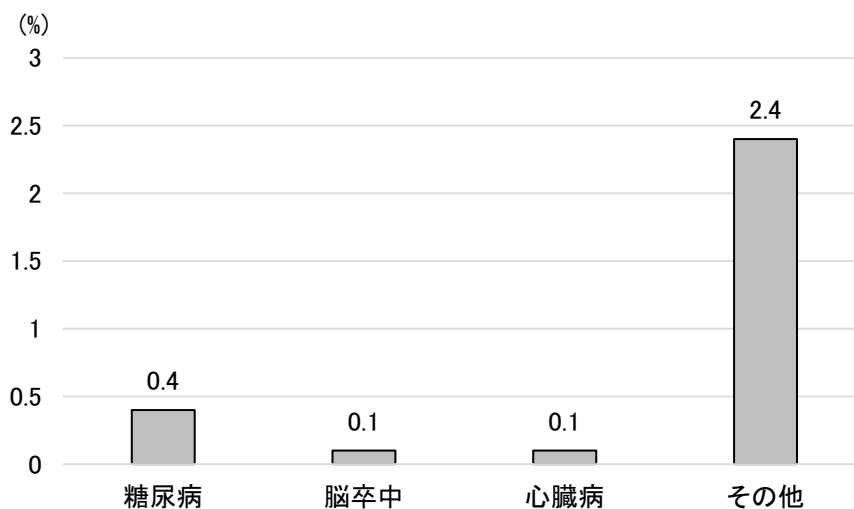


図5 病気の治療状況について

### 4. 生活習慣について

#### 1) 間食について（回答データ数 3,323名）

「間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか」の質問に該当する者の割合は全体で91.2%であった。年齢による違いは認められなかった。

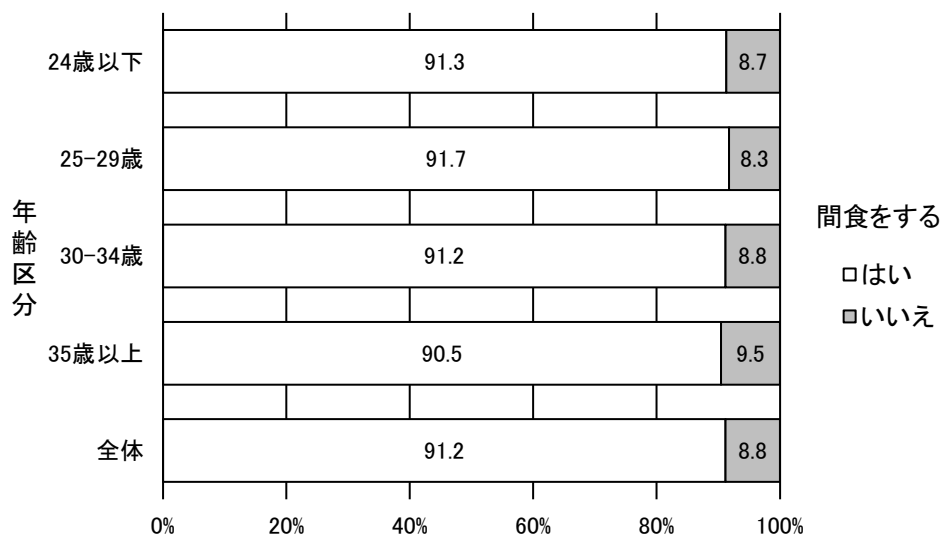


図6 間食について

2) 喫煙習慣について (回答データ数 3,336名)

「たばこを吸っていますか」の質問に該当する者の割合は全体で 1.6%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では喫煙習慣がある者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

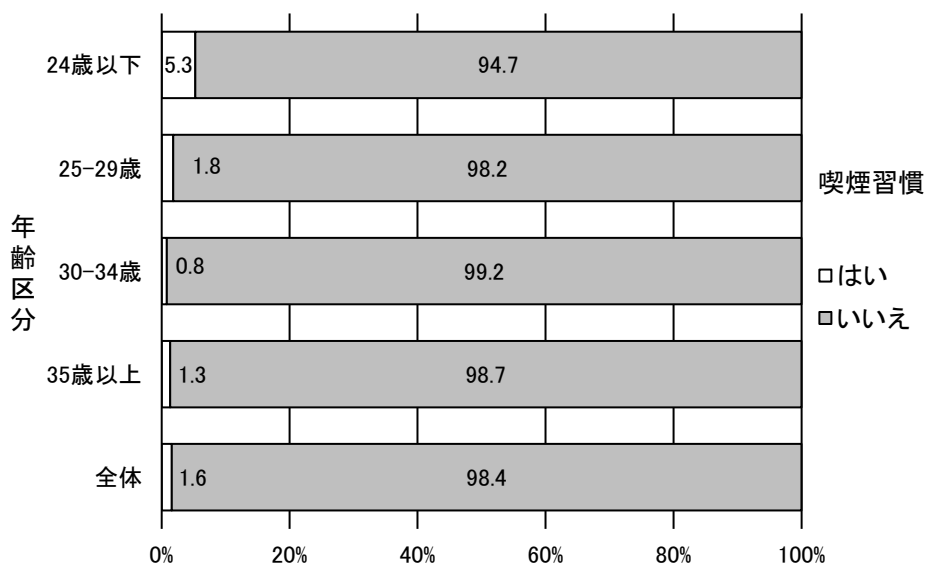


図7 喫煙習慣について

3) 飲酒習慣について (回答データ数 3,329名)

「飲酒の習慣がありますか」の質問に該当する者の割合は全体で 2.9%であった。29歳以下の者と比較して、30歳以上では飲酒習慣がある者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

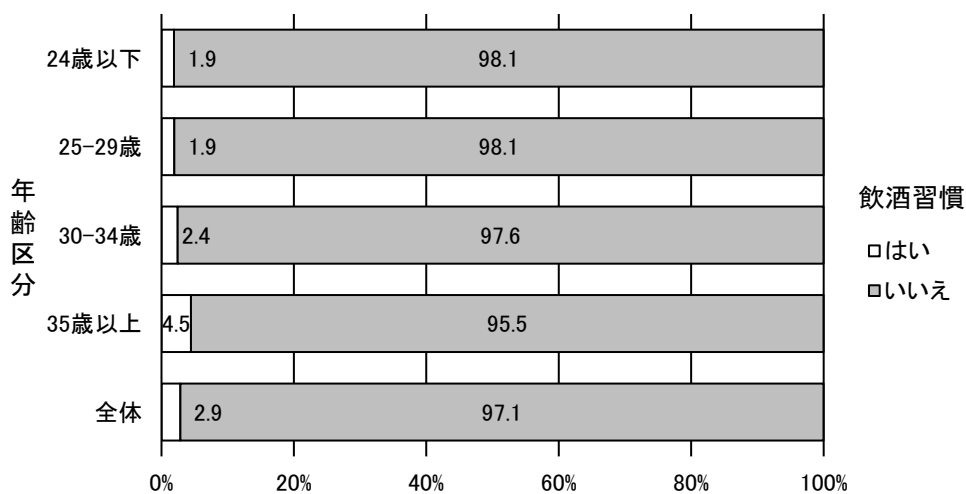


図8 飲酒習慣について

## 5. 口腔衛生習慣について

### 1) 歯みがき習慣について

#### (1) 朝起きてすぐ (回答データ数 3,340名)

朝起きてすぐ歯みがきをする者の割合は全体で25.0%であった。

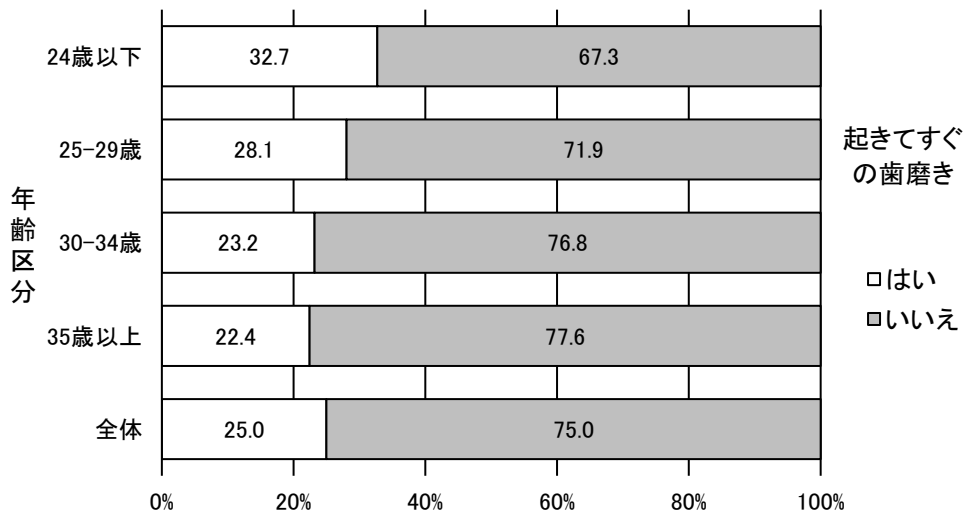


図9 朝起きてすぐ歯みがきをする習慣

#### (2) 朝食後 (回答データ数 3,342名)

朝食後、歯みがきをする者の割合は全体で75.2%であった。

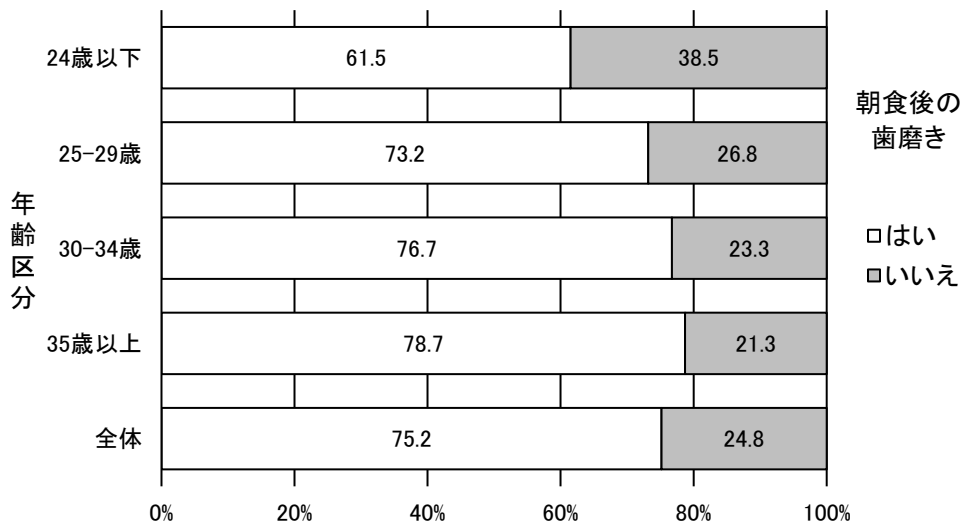


図10 朝食後、歯みがきをする習慣

図9, 10より, 25歳以上の者と比較して24歳以下では, 朝起きてすぐ歯磨きをする者は多かったが, 朝食後の歯磨きをする者は少ない傾向にあった。

(3) 昼食後 (回答データ数 3,342名)

昼食後、歯みがきをする者の割合は全体で57.1%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では昼食後、歯みがきをする者が有意に少なかった(カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

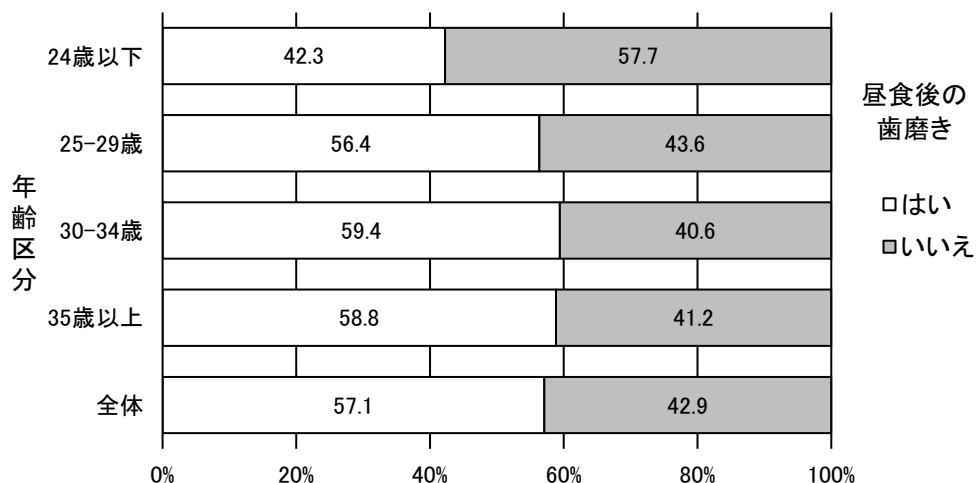


図11 昼食後、歯みがきをする習慣

(4) 夕食後 (回答データ数 3,341名)

夕食後、歯みがきをする者の割合は全体で47.4%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では夕食後、歯みがきをする者が有意に少なかった(カイ二乗検定,  $p < 0.05$ )。

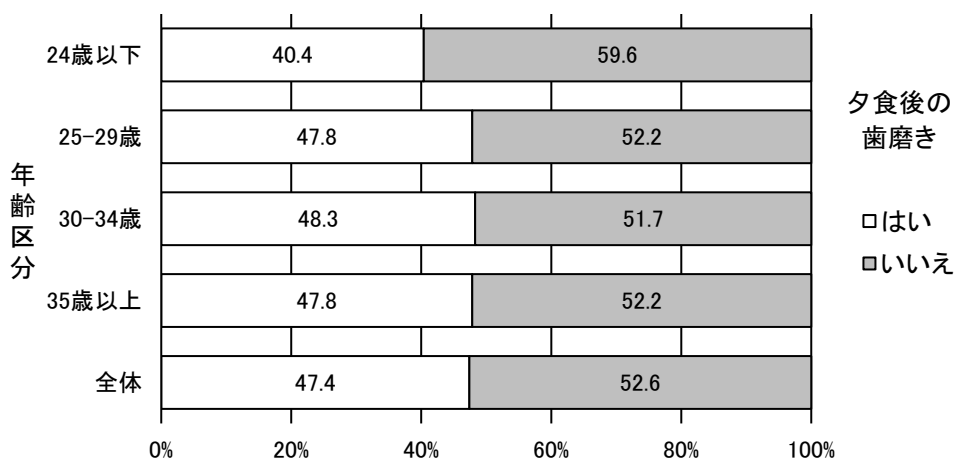


図12 夕食後、歯みがきをする習慣

(5) 就寝前（回答データ数 3,341名）

就寝前、歯みがきをする者の割合は全体で58.5%であった。年齢による違いは認められなかった。

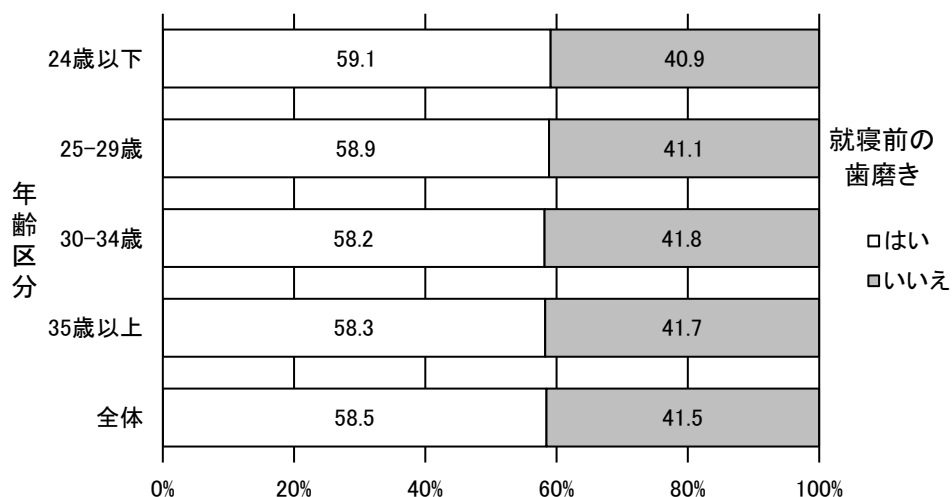


図13 就寝前、歯みがきをする習慣

2) 補助清掃用具の使用について（回答データ数 3,299名）

「歯ブラシ以外の清掃用具（フロス、歯間ブラシなど）を使っていますか」の質問に対して「はい」と答えた者の割合は全体で43.0%であった。年齢が高くなるほど、補助清掃用具を使用する者が増加する傾向にあった（コクラン=アーミテージ検定,  $p < 0.01$ ）。

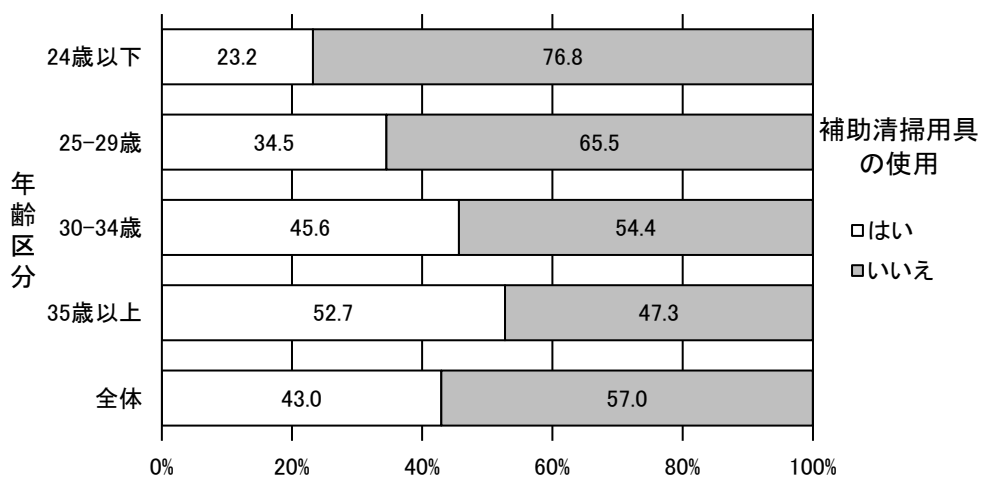


図14 補助清掃用具の使用について



3) 歯科医院での歯みがき指導経験について (回答データ数 3,317名)

「歯科医院などで歯みがき指導を受けたことはありますか」の質問に対して「はい」と答えた者の割合は全体で73.3%であった。年齢が高くなるほど、歯科医院での歯みがき指導経験がある者が増加する傾向にあった (コクラン=アーミテージ検定,  $p < 0.01$ )。

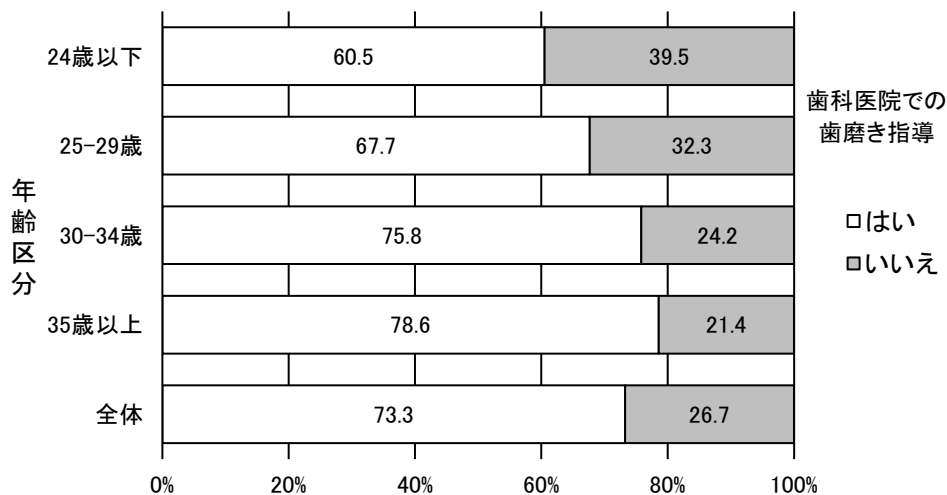


図15 歯科医院での歯みがき指導経験について

6. 歯科医院受診について

1) かかりつけ歯科医院について (回答データ数 3,312名)

かかりつけ歯科医院がある者の割合は全体で50.3%であった。年齢が高くなるほど、かかりつけ歯科医院がある者が増加する傾向にあった (コクラン=アーミテージ検定,  $p < 0.01$ )。また25歳以上の者と比較して、24歳以下ではかかりつけ歯科医院がある者が有意に少なかった (カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

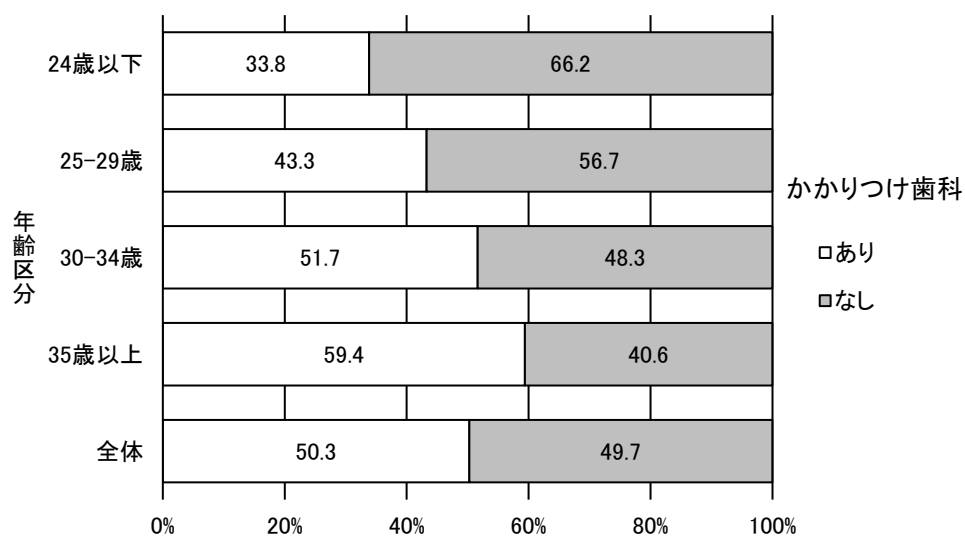


図16 かかりつけ歯科医院について

2) 年1回以上の定期受診について (回答データ数 3,236名)

「年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか」の質問に対して「はい」と答えた者の割合は全体で33.1%であった。年齢が高くなるほど定期健診を受けている者が増加する傾向にあった(コクラン=アーミテージ検定,  $p < 0.01$ )。また25歳以上の者と比較して, 24歳以下では定期健診を受けている者が有意に少なかった(カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

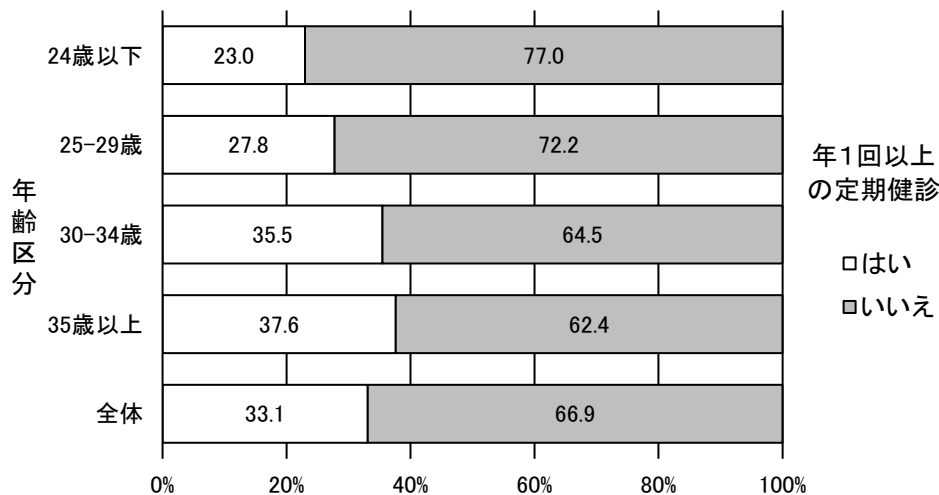


図17 年1回以上の定期受診について

3) 直近の歯科医院受診について (回答データ数 3,269名)

直近の歯科医院受診で最も多いのは半年以上前で, 全体では66.9%であった。25歳以上の者と比較して, 24歳以下では直近の歯科医院受診がない者が有意に多かった(カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

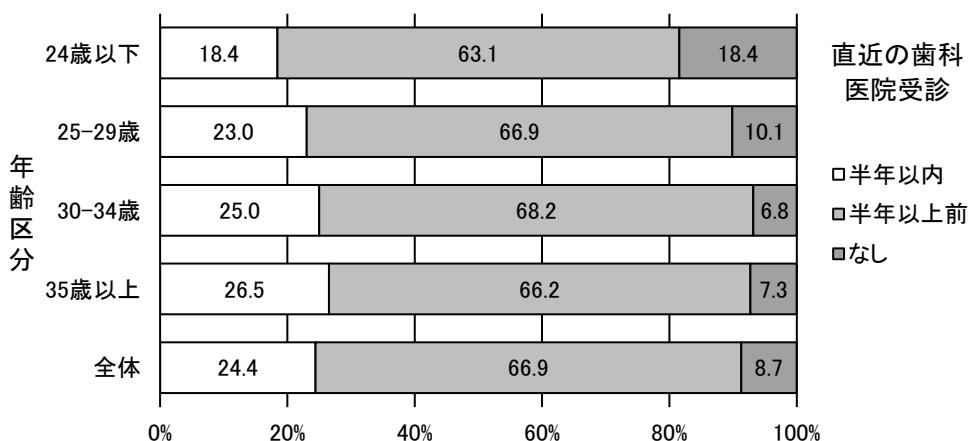


図18 直近の歯科医院受診について

4) 多忙で歯科医院に行けないことについて (回答データ数 3,322名)

「仕事が忙しかったりして、なかなか歯科医院に行けないことがありますか」の質問に対して「はい」と答えた者の割合は全体で49.7%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では多忙で歯科医院に行けない者が有意に少なかった(カイ二乗検定,  $p < 0.05$ )。

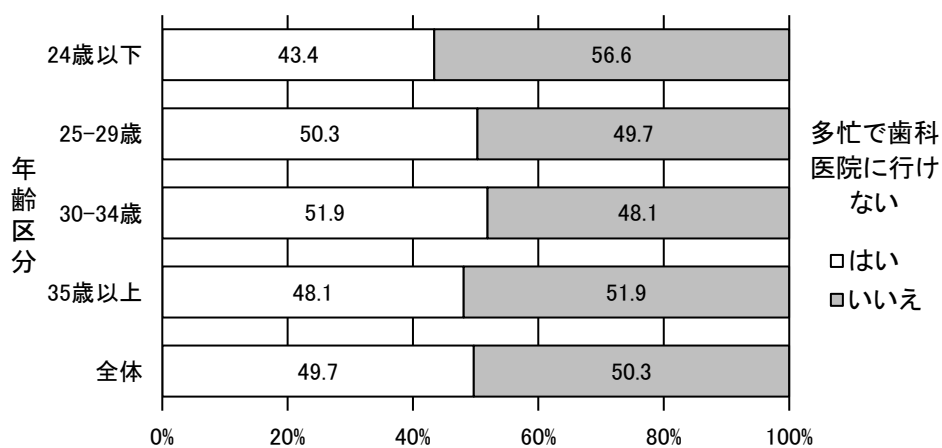


図19 多忙で歯科医院に行けないことについて

## Ⅱ-2 歯科健康調査

### 1. 歯の状況

1) 健全歯数, 未処置歯数, 処置歯数, 現在歯数 (対象データ数 3,356名)

図20のように, 全体の一人平均健全歯数は18.2, 一人平均未処置歯数は1.6, 一人平均処置歯数は8.7, 一人平均現在歯数は28.6であった。25歳以上の者と比較して, 24歳以下では未処置歯数が有意に多かった ( $t$ 検定,  $p<0.01$ )。

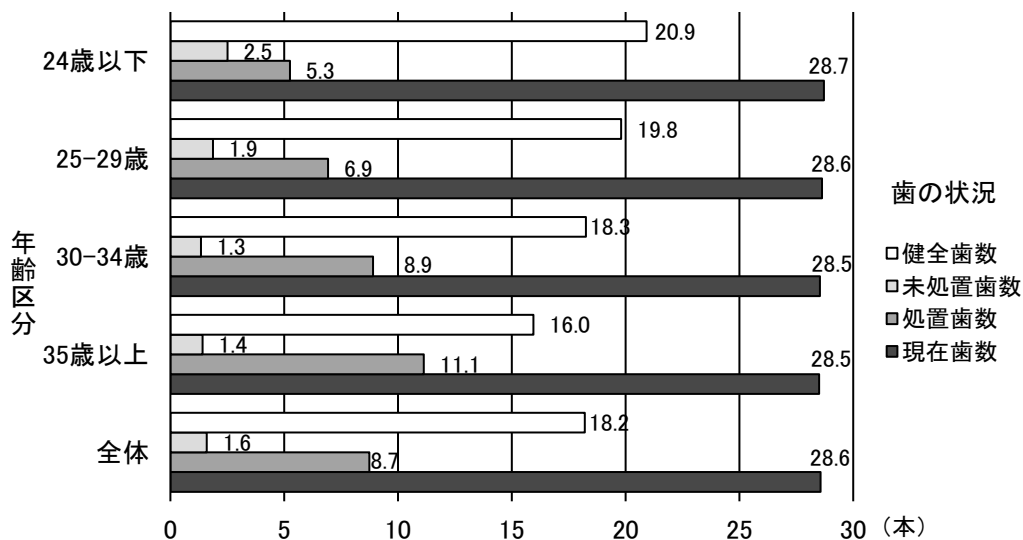


図20 歯の状況

2) 要補綴歯, 欠損補綴歯, インプラントの有無 (対象データ数 3,357名)

図21のように, 要補綴歯を有する者の割合は全体の3.1%, 欠損補綴歯を有する者の割合は全体の4.5%, インプラントを有する者の割合は全体の0.8%であった。

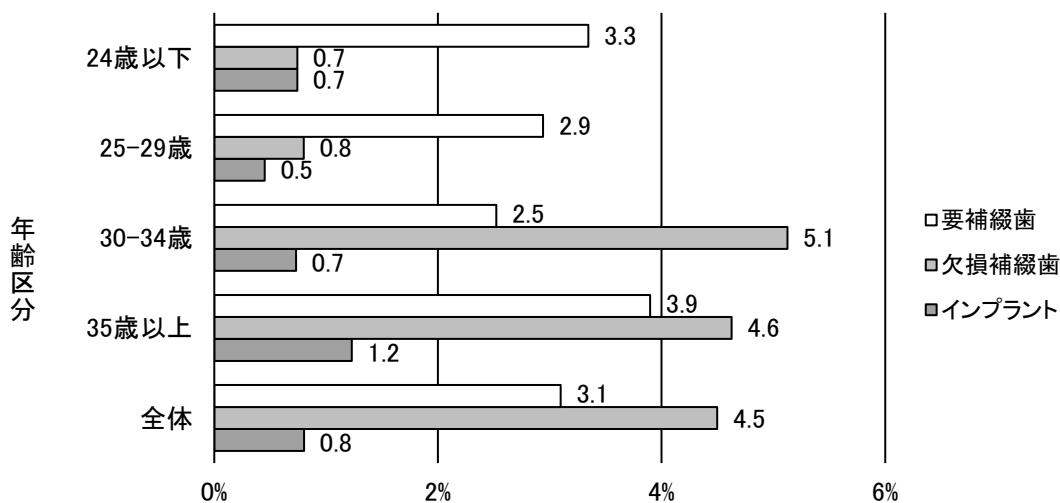


図21 要補綴歯, 欠損補綴歯, インプラントの有無

## 2. 歯肉・口腔衛生の状況

### 1) 歯肉出血の状態 (CPI) (対象データ数 3,346名)

図22のように、歯肉出血がある者 (CPI=1) の割合は全体の61.3%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では歯肉出血がある者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p<0.01$ )。

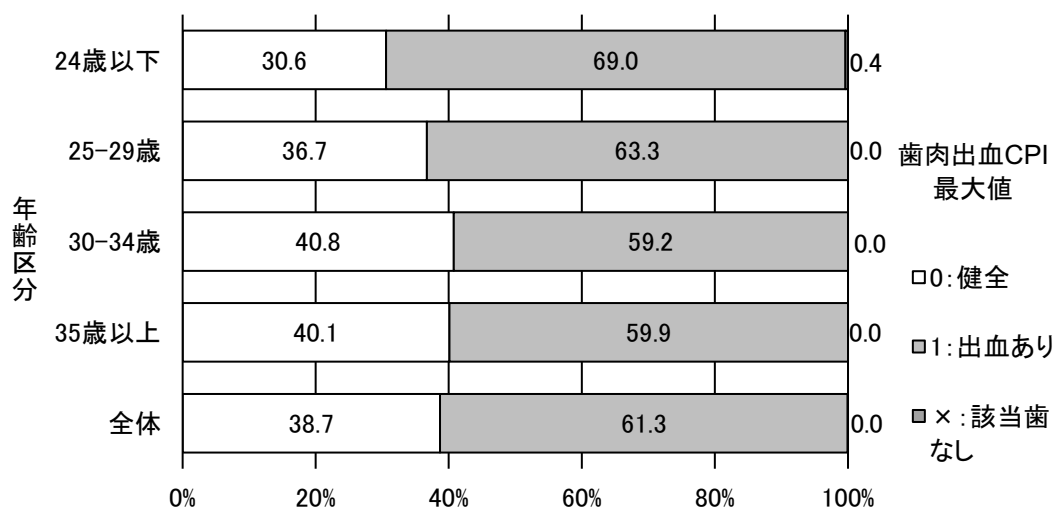


図22 歯肉出血の状況 (CPI)

### 2) 歯周ポケットの状態 (CPI) (対象データ数 3,351名)

図23のように、深い歯周ポケットがある者 (CPI=2) の割合は全体の7.0%であった。25歳以上の者と比較して、24歳以下では歯周ポケットが認められず健全である者が有意に多かった (カイ二乗検定,  $p<0.05$ )。

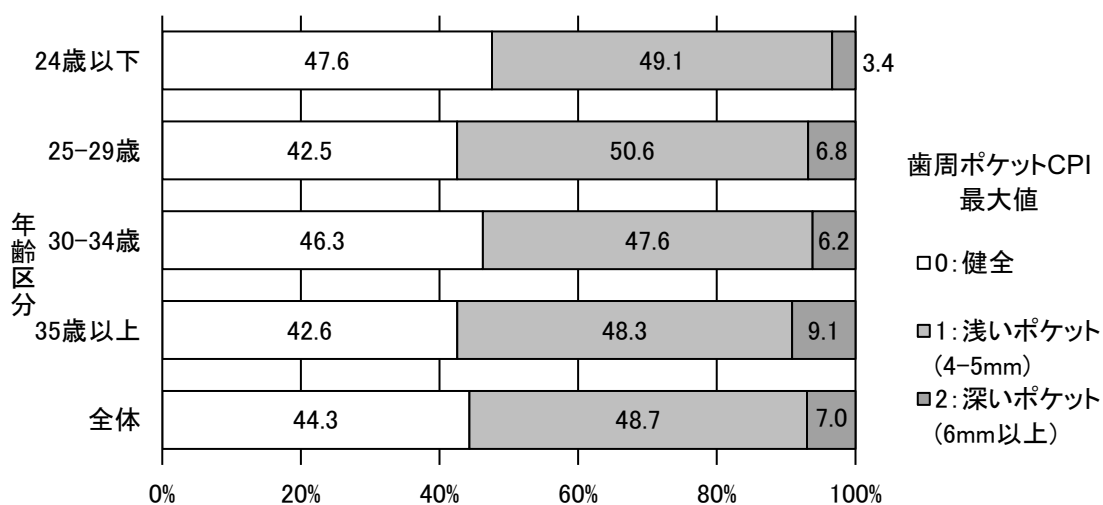


図23 歯周ポケットの状況 (CPI)

3) 口腔清掃状況 (対象データ数 3,322 名)

口腔清掃状況が良好である者の割合は全体の 38.9%で、不良である者は全体の 7.4%存在した。25 歳以上の者と比較して、24 歳以下では口腔清掃状況良好の者が有意に少なかった (カイ二乗検定,  $p < 0.01$ )。

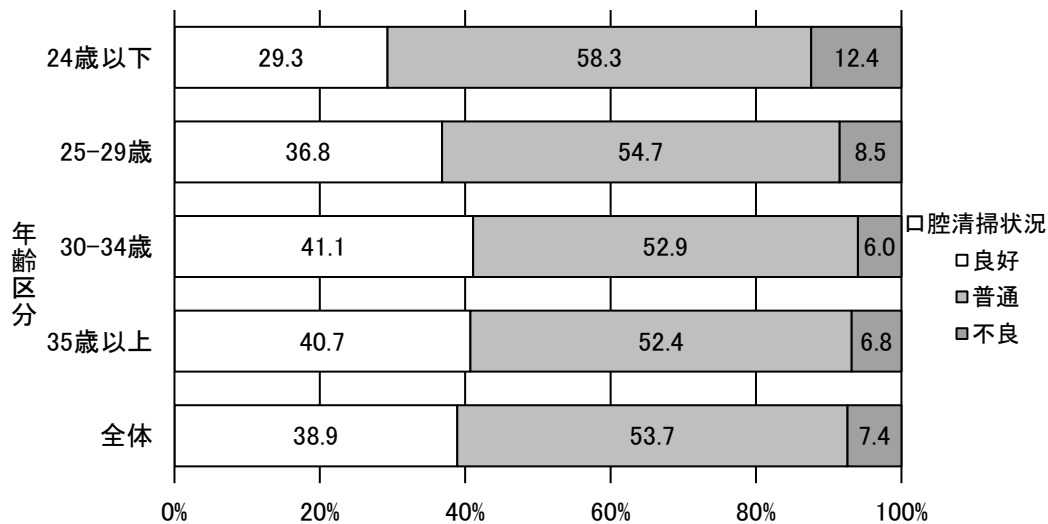


図 24 口腔清掃状況

4) 歯石の付着 (対象データ数 3,328 名)

歯石の付着がない者の割合は全体の 27.9%で、中等度 (帯状) 以上ありの者は 11.1%存在した。

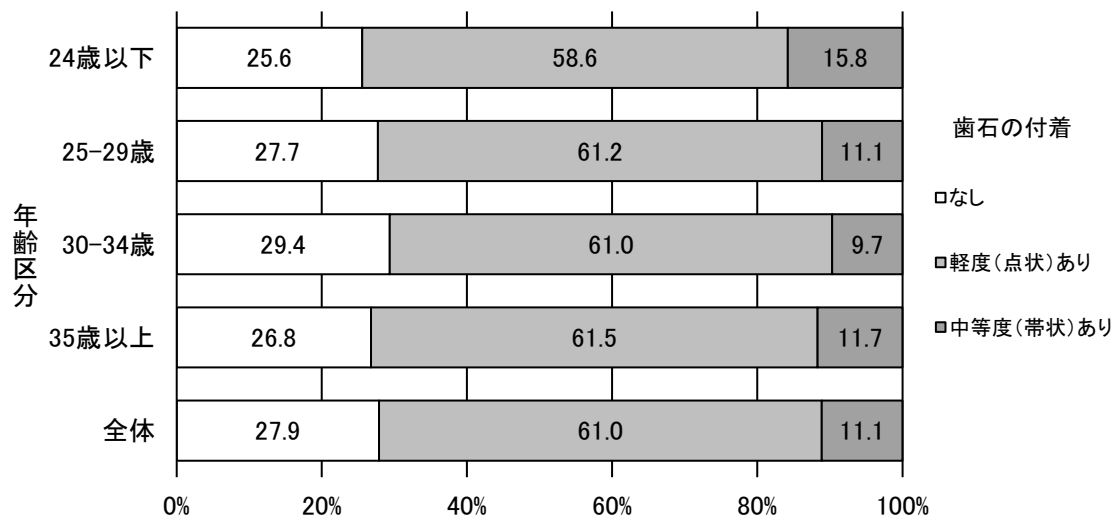


図 25 歯石の付着

### 3. その他の所見

1) 歯列咬合, 顎関節, 粘膜, その他 (対象データ数 3,301名)

歯列咬合, 顎関節, 粘膜, その他に所見がある者の割合はそれぞれ全体の19.0%, 9.2%, 2.3%, 4.5%であった。

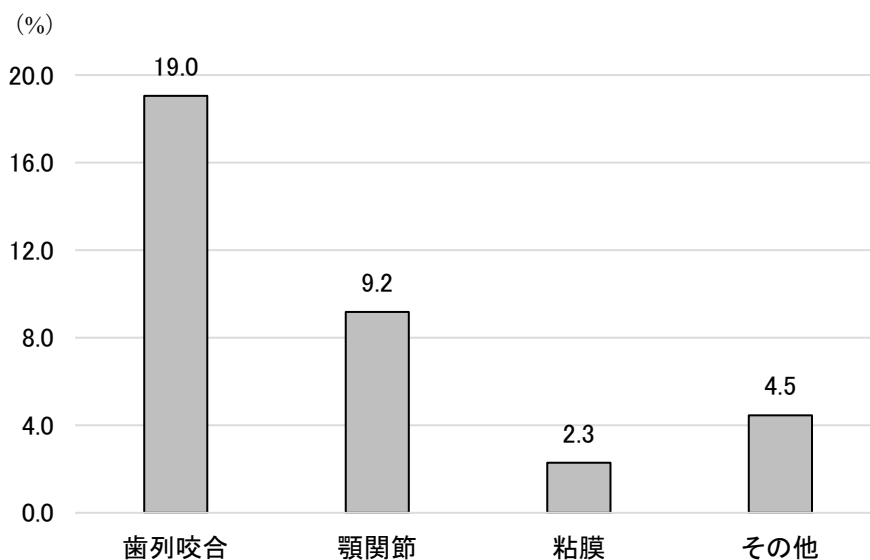


図 26 その他の所見

### 4. 判定区分

1) 判定区分 (対象データ数 3,345名)

異常なし, 要指導, 要精密検査の者はそれぞれ全体の17.0%, 37.1%, 46.0%であった。

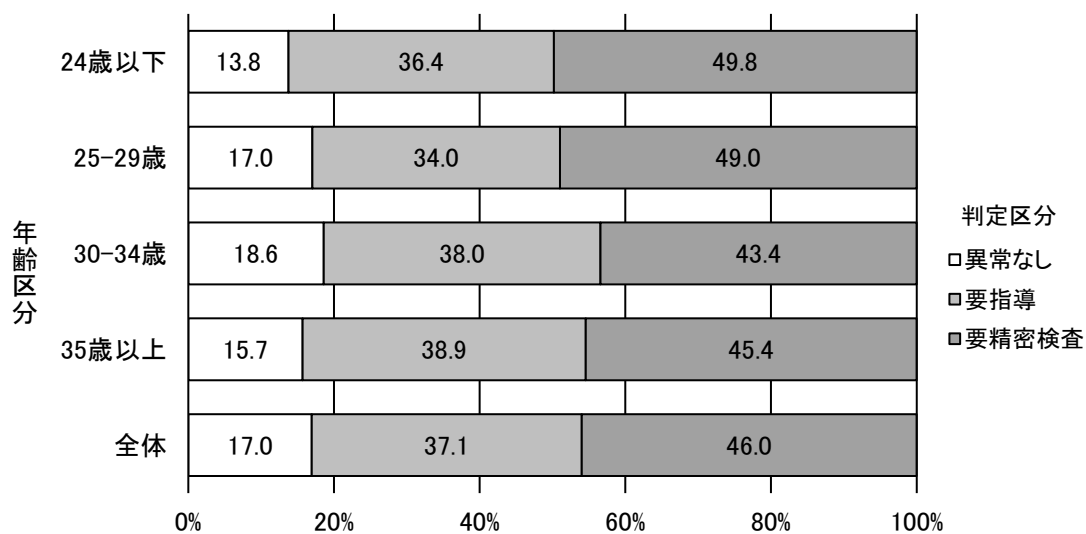


図 27 判定区分

### Ⅲ 平成 27 年度調査との比較および項目間の関連性

#### 1. かかりつけ歯科医院について

「かかりつけ歯科医院あり」と答えた者の割合は、平成 27 年度調査結果の 63.7%と比較して本調査では 50.3%であり、有意に低かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。

また、本調査において「かかりつけ歯科医院あり」と答えた者は、そうでない者と比較し、未処置歯数は少なく（マンホイットニーの U 検定、 $p<0.01$ ）、CPI（歯肉出血・歯周ポケット）のスコアや口腔清掃状況が良く、歯石の付着が少ない者の割合が有意に高かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。さらに、判定区分が「異常なし」の者の割合は「かかりつけ歯科医院あり」と答えた者で 20.3%、そうでない者では 13.5%であり、かかりつけ歯科医院がある者は、そうでない者と比較し判定区分「異常なし」の者の割合が有意に高い結果となった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。

#### 2. 喫煙習慣について

現在、喫煙習慣がある者の割合は、平成 27 年度調査結果の 2.3%と比較して本調査では 1.6%であり、有意な差は認められなかった。

また本調査において「喫煙習慣あり」と答えた者は、そうでない者と比較し、口腔清掃状況が悪く、歯石の付着が多い者の割合が有意に高かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。未処置歯数および CPI（歯肉出血・歯周ポケット）のスコアについては、有意な差は認められなかった。さらに判定区分においても、「異常なし」の者の割合は喫煙習慣の有無で有意な差は認められなかった。

#### 3. 補助清掃用具の使用について

「補助清掃用具を使用している」と答えた者の割合は、平成 27 年度調査結果の 57.7%と比較して本調査では 43.0%であり、有意に低かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。

また、本調査において「補助清掃用具を使用している」と答えた者は、そうでない者と比較し、未処置歯数は少なく（マンホイットニーの U 検定、 $p<0.01$ ）、CPI（歯肉出血）のスコアや口腔清掃状況が良く、歯石の付着が少ない者の割合が有意に高かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。CPI（歯周ポケット）のスコアについては、有意な差は認められなかった。さらに、判定区分が「異常なし」の者の割合は「補助清掃用具を使用している」と答えた者は 20.7%で、そうでない者は 14.1%であり、清掃補助用具を使用している者は、そうでない者と比較して判定区分「異常なし」の者の割合が有意に高かった（カイ二乗検定、 $p<0.01$ ）。



## IV まとめ・考察

### 1. 歯・口腔の気になる症状について

歯や口の状態について、ほぼ満足している者は全体の38.8%で、半数以上の者が何らかの不満を感じていることがわかった。また、24歳以下では、歯ぐきの腫れを自覚する者が41.8%、歯の痛みを自覚する者が35.4%存在するなど、25歳以上の者と比較して口腔状態が不良の者が多い状況がうかがえた。

### 2. 生活習慣について

間食（甘い食べ物や飲み物）をする者は9割を占めた。喫煙している者は全体の1.6%であり、特に24歳以下では5.3%存在し、25歳以上と比較して喫煙している者が多かった。また、飲酒習慣がある者は全体では2.9%だったが、35歳以上では4.5%存在した。妊娠中の喫煙や飲酒は低体重児出産や流産、先天異常等のリスクが高まることが知られていることから、改善すべき課題である。

### 3. 口腔衛生習慣について

朝起きてすぐ歯みがきをする者は全体の25.0%で、朝食後に歯みがきをする者、昼食後に歯みがきをする者、夕食後に歯みがきをする者、就寝前に歯みがきをする者はそれぞれ全体の75.2%、57.1%、47.4%、58.5%であった。24歳以下では25歳以上の者と比較して、朝起きてすぐ歯みがきをする者は多かったが、朝食後、昼食後、夕食後歯みがきをする者は少なかった。また、補助清掃用具を使用している者は全体の43.0%、歯みがき指導を受けたことがある者は全体の73.3%で、年齢が上がるにしたがってその割合は高かった。このように、特に24歳以下の者の口腔衛生習慣の習得が十分ではない状況がうかがえた。

### 4. 歯科医院の受診行動について

約半数の者がかかりつけ歯科医院があると答えたが、年1回以上の定期健診を受けている者は33.1%にとどまり、定期的な歯科受診の重要性が十分認知されていない現状がうかがえた。特に24歳以下では年1回以上の定期健診を受けている者は23.0%と低い一方で、多忙で歯科医院に行けないと答えた者は43.4%と25歳以上の者より少なく、「歯科受診しない」と「多忙である」ことは必ずしも相関していないことが明らかになった。

### 5. 歯科健康調査について

24歳以下では、歯周ポケットが認められず、健全である者が47.6%であった。これは25歳以上の者と比較すると良好な結果であったが、一方で、一人平均未処置歯数は2.5

本、歯肉出血がある者は69.0%、口腔清掃不良の者は12.4%存在し、25歳以上の者より高い比率であった。24歳以下の集団は現状のままでは、年齢があがるにつれて歯周ポケットの状態も悪くなるリスクが予測され、う蝕や歯周病予防に関する適切な歯科保健指導が必要であるといえる。

## 6. 総括

妊娠期はホルモンバランスの変化等により口腔内状況が悪化しやすく、定期的な歯科受診が重要である。調査項目間の比較から、かかりつけ歯科医院を有する者や補助清掃用具を使用している者は非該当者と比較して、口腔衛生状態が良好であり、う蝕、歯周病の指標においても良好な結果が認められたことから、歯科保健指導のポイントとなる。

本調査結果では、特に24歳以下の妊婦において、食後の歯みがき習慣、補助清掃用具の使用や定期歯科受診等の適切な口腔衛生習慣と保健行動が確保できていない者や、歯肉出血がある等の口腔衛生状況が不良である者の比率が高かった。それ故、24歳以下の妊婦へのハイリスクアプローチに加え、妊娠前の若年者を含めた幅広い年齢層へ口腔衛生意識の向上と定期的な歯科受診の重要性を啓発するポピュレーションアプローチ等の施策が必要である。また、妊婦自身だけでなく生まれてくる子供や家族を含めた健康づくりの推進も重要視されており、正確な歯科保健情報の提供と指導が求められる。



## 2. 集計結果表

### 口腔状態について

#### 1) 満足度

年齢区分	口腔状態			総数	
	ほぼ満足	やや不満	不自由		
24歳以下	度数	102	146	18	266
	%	38.3	54.9	6.8	100.0
25-29歳	度数	327	499	50	876
	%	37.3	57.0	5.7	100.0
30-34歳	度数	479	681	50	1,210
	%	39.6	56.3	4.1	100.0
35歳以上	度数	372	528	50	950
	%	39.2	55.6	5.3	100.0

総数	度数	1,280	1,854	168	3,302
	%	38.8	56.1	5.1	100.0

#### 2) 歯ぐきの腫れ

年齢区分	歯ぐきの腫れ		総数	
	あり	なし		
24歳以下	度数	112	156	268
	%	41.8	58.2	100.0
25-29歳	度数	324	552	876
	%	37.0	63.0	100.0
30-34歳	度数	391	828	1,219
	%	32.1	67.9	100.0
35歳以上	度数	340	628	968
	%	35.1	64.9	100.0

総数	度数	1,167	2,164	3,331
	%	35.0	65.0	100.0

### 3) 歯の痛み

年齢区分	歯の痛み		総数	
	あり	なし		
24歳以下	度数	95	173	268
	%	35.4	64.6	100.0
25-29歳	度数	250	627	877
	%	28.5	71.5	100.0
30-34歳	度数	369	855	1,224
	%	30.1	69.9	100.0
35歳以上	度数	257	708	965
	%	26.6	73.4	100.0

総数	度数	971	2,363	3,334
	%	29.1	70.9	100.0

### 4) 口臭

年齢区分	口臭		総数	
	あり	なし		
24歳以下	度数	88	176	264
	%	33.3	66.7	100.0
25-29歳	度数	323	554	877
	%	36.8	63.2	100.0
30-34歳	度数	469	748	1,217
	%	38.5	61.5	100.0
35歳以上	度数	378	587	965
	%	39.2	60.8	100.0

総数	度数	1,258	2,065	3,323
	%	37.9	62.1	100.0

病気の治療状況について

1) 糖尿病, 脳卒中, 心臓病, その他

項目	糖尿病	脳卒中	心臓病	その他
度数	13	3	3	81
%	0.4	0.1	0.1	2.4

生活習慣について

1) 間食について

年齢区分		間食をする		総数
		はい	いいえ	
24歳以下	度数	244	23	267
	%	91.3%	8.7%	100.0%
25-29歳	度数	800	72	872
	%	91.7%	8.3%	100.0%
30-34歳	度数	1,114	106	1,220
	%	91.2%	8.8%	100.0%
35歳以上	度数	872	92	964
	%	90.5%	9.5%	100.0%

総数	度数	3,030	293	3,323
	%	91.2%	8.8%	100.0%

## 2) 喫煙習慣について

年齢区分		喫煙をするか		総数
		はい	いいえ	
24歳以下	度数	14	252	266
	%	5.3%	94.7%	100.0%
25-29歳	度数	16	862	878
	%	1.8%	98.2%	100.0%
30-34歳	度数	10	1,213	1,223
	%	0.8%	99.2%	100.0%
35歳以上	度数	13	956	969
	%	1.3%	98.7%	100.0%

総数	度数	53	3,283	3,336
	%	1.6%	98.4%	100.0%

## 3) 飲酒習慣について

年齢区分		飲酒をするか		総数
		はい	いいえ	
24歳以下	度数	95	260	265
	%	1.9%	98.1%	100.0%
25-29歳	度数	17	858	875
	%	1.9%	98.1%	100.0%
30-34歳	度数	30	1,195	1,225
	%	2.4%	97.6%	100.0%
35歳以上	度数	43	921	964
	%	4.5%	95.5%	100.0%

総数	度数	95	3,234	3,329
	%	2.9%	97.1%	100.0%

口腔衛生習慣について

1) 朝起きてすぐの歯みがき習慣

年齢区分	起きてすぐの歯磨きをするか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下	度数 87	179	266
	% 32.7%	67.3%	100.0%
25-29歳	度数 246	631	877
	% 28.1%	71.9%	100.0%
30-34歳	度数 284	941	1,225
	% 23.2%	76.8%	100.0%
35歳以上	度数 218	754	972
	% 22.4%	77.6%	100.0%

総数	度数 835	2,505	3,340
	% 25.0%	75.0%	100.0%

2) 朝食後の歯みがき習慣

年齢区分	朝食後の歯磨きをするか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下	度数 163	102	265
	% 61.5%	38.5%	100.0%
25-29歳	度数 644	236	880
	% 73.2%	26.8%	100.0%
30-34歳	度数 940	285	1,225
	% 76.7%	23.3%	100.0%
35歳以上	度数 765	207	972
	% 78.7%	21.3%	100.0%

総数	度数 2,512	830	3,342
	% 75.2%	24.8%	100.0%



### 3) 昼食後の歯みがき習慣

年齢区分	昼食後の歯磨きをするか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下 度数	112	153	265
%	42.3%	57.7%	100.0%
25-29歳 度数	496	384	880
%	56.4%	43.6%	100.0%
30-34歳 度数	728	497	1,225
%	59.4%	40.6%	100.0%
35歳以上 度数	572	400	972
%	58.8%	41.2%	100.0%

総数 度数	1,908	1,434	3,342
%	57.1%	42.9%	100.0%

### 4) 夕食後の歯みがき習慣

年齢区分	夕食後の歯磨きをするか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下 度数	107	158	265
%	40.4%	59.6%	100.0%
25-29歳 度数	421	459	880
%	47.8%	52.2%	100.0%
30-34歳 度数	591	633	1,224
%	48.3%	51.7%	100.0%
35歳以上 度数	465	507	972
%	47.8%	52.2%	100.0%

総数 度数	1,584	1,757	3,341
%	47.4%	52.6%	100.0%

5) 就寝前の歯みがき習慣

年齢区分	就寝前の歯磨きをするか		総数	
	はい	いいえ		
24歳以下	度数	156	108	264
	%	59.1%	40.9%	100.0%
25-29歳	度数	518	362	880
	%	58.9%	41.1%	100.0%
30-34歳	度数	712	512	1,224
	%	58.2%	41.8%	100.0%
35歳以上	度数	567	406	973
	%	58.3%	41.7%	100.0%

総数	度数	1,953	1,388	3,341
	%	58.5%	41.5%	100.0%

6) 補助清掃用具の使用について

年齢区分	歯ブラシ以外の道具を使用するか		総数	
	はい	いいえ		
24歳以下	度数	62	205	267
	%	23.2%	76.8%	100.0%
25-29歳	度数	300	569	869
	%	34.5%	65.5%	100.0%
30-34歳	度数	550	655	1,205
	%	45.6%	54.4%	100.0%
35歳以上	度数	505	453	958
	%	52.7%	47.3%	100.0%

総数	度数	1,417	1,882	3,299
	%	43.0%	57.0%	100.0%

7) 歯科医院での歯みがき指導経験について

年齢区分	歯科医院で歯磨き指導を受けたことがあるか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下	度数 161	105	266
	% 60.5%	39.5%	100.0%
25-29歳	度数 590	282	872
	% 67.7%	32.3%	100.0%
30-34歳	度数 919	293	1,212
	% 75.8%	24.2%	100.0%
35歳以上	度数 760	207	967
	% 78.6%	21.4%	100.0%
総数	度数 2,430	887	3,317
	% 73.3%	26.7%	100.0%

歯科医院受診について

1) かかりつけ歯科医院について

年齢区分	かかりつけ歯科の有無		総数
	あり	なし	
24歳以下	度数 90	176	266
	% 33.8	66.2	100.0
25-29歳	度数 377	494	871
	% 43.3	56.7	100.0
30-34歳	度数 626	586	1,212
	% 51.7	48.3	100.0
35歳以上	度数 572	391	963
	% 59.4	40.6	100.0
総数	度数 1,665	1,647	3,312
	% 50.3	49.7	100.0

## 2) 年1回以上の定期受診について

年齢区分	年1回以上の定期健診をするか		総数
	はい	いいえ	
24歳以下	度数 60	201	261
	% 23.0%	77.0%	100.0%
25-29歳	度数 239	622	861
	% 27.8%	72.2%	100.0%
30-34歳	度数 430	782	1,212
	% 35.5%	64.5%	100.0%
35歳以上	度数 362	600	962
	% 37.6%	62.4%	100.0%

総数	度数 1,091	2,205	3,236
	% 33.1%	66.9%	100.0%

## 3) 直近の歯科医院受診について

年齢区分	直近の歯科医院受診			総数
	半年以内	半年以上前	なし	
24歳以下	度数 47	161	47	255
	% 18.4%	63.1%	18.4%	100.0%
25-29歳	度数 198	575	87	860
	% 23.0%	66.9%	10.1%	100.0%
30-34歳	度数 301	821	82	1,204
	% 25.0%	68.2%	6.8%	100.0%
35歳以上	度数 252	629	69	950
	% 26.5%	66.2%	7.3%	100.0%

総数	度数 798	2,186	285	3,269
	% 24.4%	66.9%	8.7%	100.0%

#### 4) 多忙で歯科医院に行けないことについて

年齢区分	多忙で歯科医院に行けない		総数
	はい	いいえ	
24歳以下	度数 116	151	267
	% 43.4%	56.6%	100.0%
25-29歳	度数 440	435	875
	% 50.3%	49.7%	100.0%
30-34歳	度数 635	588	1,223
	% 51.9%	48.1%	100.0%
35歳以上	度数 460	497	957
	% 48.1%	51.9%	100.0%

総数	度数 1,651	1,671	3,322
	% 49.7%	50.3%	100.0%

#### 歯の状況

##### 1) 健全歯数, 未処置歯数, 処置歯数, 現在歯数

年齢区分	一人平均 健全歯数	一人平均 未処置歯数	一人平均 処置歯数	一人平均 現在歯数
24歳以下	20.9	2.5	5.3	28.7
25-29歳	19.8	1.9	6.9	28.6
30-34歳	18.3	1.3	8.9	28.5
35歳以上	16.0	1.4	11.1	28.5

総数	18.2	1.6	8.7	28.6
----	------	-----	-----	------

2) 要補綴歯の有無

年齢区分	要補綴歯		総数
	有	無	
24歳以下	度数 9	260	269
	% 3.3%	96.7%	100.0%
25-29歳	度数 26	858	884
	% 2.9%	97.1%	100.0%
30-34歳	度数 31	1,198	1,229
	% 2.5%	97.5%	100.0%
35歳以上	度数 38	937	975
	% 3.9%	96.1%	100.0%

総数	度数 104	3,253	3,357
	% 3.1%	96.9%	100.0%

3) 欠損補綴歯の有無

年齢区分	欠損補綴歯		総数
	有	無	
24歳以下	度数 2	267	269
	% 99.3%	0.7%	100.0%
25-29歳	度数 7	866	873
	% 99.2%	0.8%	100.0%
30-34歳	度数 63	1,166	1,229
	% 94.9%	5.1%	100.0%
35歳以上	度数 44	907	951
	% 95.4%	4.6%	100.0%

総数	度数 151	3,206	3,357
	% 95.5%	4.5%	100.0%

4) インプラントの有無

年齢区分	インプラント		総数
	有	無	
24歳以下	度数 2	267	269
	% 0.7%	99.3%	100.0%
25-29歳	度数 4	880	884
	% 0.5%	99.5%	100.0%
30-34歳	度数 9	1,220	1,229
	% 0.7%	99.3%	100.0%
35歳以上	度数 12	963	975
	% 1.2%	98.8%	100.0%

総数	度数 27	3,330	3,357
	% 0.8%	99.2%	100.0%

歯肉・口腔衛生の状況

1) 歯肉出血の状態 (CPI)

年齢区分		歯肉出血CPI最大値			総数
		0:健全	1:出血あり	×:該当歯なし	
24歳以下	度数	82	185	1	268
	%	30.6%	69.0%	0.4%	100.0%
25-29歳	度数	322	555	0	877
	%	36.7%	63.3%	0.0%	100.0%
30-34歳	度数	501	728	0	1,229
	%	40.8%	59.2%	0.0%	100.0%
35歳以上	度数	390	582	0	972
	%	40.1%	59.9%	0.0%	100.0%
総数	度数	1,295	2,050	1	3,346
	%	38.7%	61.3%	0.0%	100.0%

2) 歯周ポケットの状態 (CPI)

年齢区分		歯周ポケットCPI最大値			総数
		0:健全	1:浅いポケット	2:深いポケット	
24歳以下	度数	127	131	9	267
	%	47.6%	49.1%	3.4%	100.0%
25-29歳	度数	374	445	60	879
	%	42.5%	50.6%	6.8%	100.0%
30-34歳	度数	569	585	76	1,230
	%	46.3%	47.6%	6.2%	100.0%
35歳以上	度数	415	471	89	975
	%	42.6%	48.3%	9.1%	100.0%
総数	度数	1,485	1,632	234	3,351
	%	44.3%	48.7%	7.0%	100.0%

### 3) 口腔清掃状況

年齢区分	口腔清掃状況			総数
	良好	普通	不良	
24歳以下	78	155	33	266
度数	29.3%	58.3%	12.4%	100.0%
25-29歳	321	477	74	872
度数	36.8%	54.7%	8.5%	100.0%
30-34歳	501	645	73	1,219
度数	41.1%	52.9%	6.0%	100.0%
35歳以上	393	506	66	965
度数	40.7%	52.4%	6.8%	100.0%
総数	1,293	1,783	246	3,322
度数	38.9%	53.7%	7.4%	100.0%

### 4) 歯石の付着

年齢区分	歯石の付着			総数
	なし	軽度(点状)	中等度(帯状)	
24歳以下	68	156	42	266
度数	25.6%	58.6%	15.8%	100.0%
25-29歳	243	536	97	876
度数	27.7%	61.2%	11.1%	100.0%
30-34歳	358	743	118	1,219
度数	29.4%	61.0%	9.7%	100.0%
35歳以上	259	595	113	967
度数	26.8%	61.5%	11.7%	100.0%
総数	928	2,030	370	3,328
度数	27.9%	61.0%	11.1%	100.0%



### その他の所見

		歯列咬合	顎関節	粘膜	その他	総数
総数	度数	626	301	75	147	1,149
	%	54.5%	26.2%	6.5%	12.8%	100.0%

### 判定区分

年齢区分		判定区分			総数
		異常なし	要指導	要精密検査	
24歳以下	度数	37	98	134	269
	%	13.8%	36.4%	49.8%	100.0%
25-29歳	度数	150	299	431	880
	%	17.0%	34.0%	49.0%	100.0%
30-34歳	度数	227	464	530	1,221
	%	18.6%	38.0%	43.4%	100.0%
35歳以上	度数	153	379	443	975
	%	15.7%	38.9%	45.4%	100.0%
総数	度数	567	1,240	1,538	3,345
	%	17.0%	37.1%	46.0%	100.0%

## 2 がん連携に関する医療機関調査報告書

### 目次

I 調査の概要	35
1. 調査の目的	35
2. 調査方法	35
3. 調査対象	35
4. 調査実施日	35
5. 回収数（率）	35
6. 調査主体	35
7. 結果の集計	35
II 調査結果の詳細	36
1. 回答者・医療機関の属性と病床規模	36
2. 歯科/歯科口腔外科標榜の有無	37
3. 歯科専門職の雇用	37
4. がん患者に対する口腔ケアの啓発活動	38
5. 入院がん患者に対する口腔管理の現状と今後の予定	40
6. 歯科との連携の現状（歯科/歯科口腔外科を標榜していない医療機関）	42
III まとめ・考察	45
1. 歯科・口腔外科の設置状況，歯科医療職の雇用状況	45
2. がん患者に対する啓発活動	45
3. 入院がん患者に対する口腔管理の実施状況	45
4. 歯科/口腔外科を持たない医療機関と歯科との連携の現状	46
5. 総括	46
IV 資料	47
1. 調査票	47
2. 集計結果表	49



## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

がん患者の口腔管理は医科および歯科医療職にとって積極的に取り組まなければならない重点課題である。周術期の口腔管理を行うことで、がん治療における副作用の予防や軽減、術後の早期回復や入院期間の短縮、術後肺炎の減少などにつながる。

医科歯科連携による口腔ケアの推進や歯科医師との連携強化によるがん周術期の口腔管理が重要である。しかし、周術期の口腔管理の理解や体制が病院および地域医療機関の隅々まで浸透し、十分に機能しているとは言えないのが現状である。今後ますます医科歯科連携を推進し、質の高い周術期医療を提供するためには、関係者が周術期の口腔管理が重要であることを理解して連携を深めていくことが求められている。

そこで本調査では、がん患者を診療している高知県下の医療機関を対象とし、がん患者の口腔管理や啓発活動などに関する実態を調査し、現状を把握することにより、実効性のある医科歯科連携の方策を検討するための基礎資料を得ることを目的とした。

### 2. 調査方法

高知県が委託した民間事業者から対象施設に調査票を郵送し、各施設からの郵送及びFAXによる回答を民間事業者がとりまとめた。

### 3. 調査対象

県内の医療機関（歯科診療所を除く）のうち、平成23年度高知県医療機関診療体制調査において、「がん診療を行っていない」と回答した医療機関を除く263施設を対象とした。

### 4. 調査実施日

令和2年7月1日から令和2年7月31日までの1か月間

### 5. 回収数（率）

発送数：263施設、有効回収数：175施設、回収率：66.5%

### 6. 調査主体

高知県健康政策部健康長寿政策課

### 7. 結果の集計

結果の集計は、高知県健康政策部健康長寿政策課の委託を受け、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野が行った。

## Ⅱ 調査結果の詳細

### 1. 回答者・医療機関の属性と病床規模

#### 1) 回答者職種

図1に示すとおり，病床規模の小さい医療機関では医師が回答した割合が高く，病床数300～499の群では看護師が回答した割合が高かった。

平成27年度と比較して，医師，看護師の割合がわずかに減少した。一方，医療ソーシャルワーカー，事務職の割合が増加した。

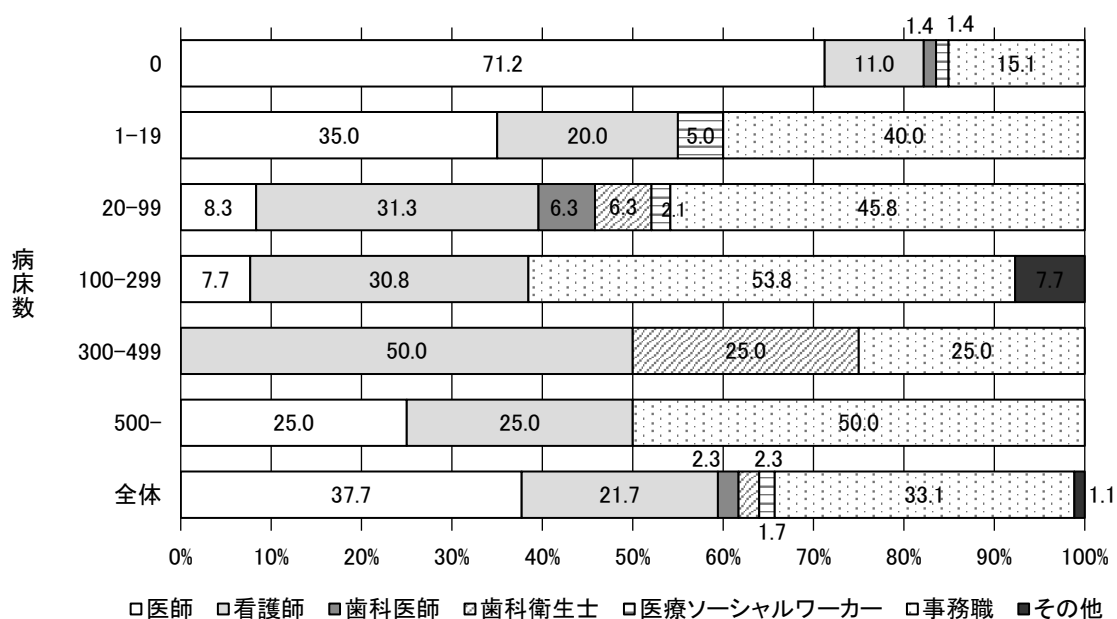


図1 回答者の属性 (複数回答)

#### 2) 対象医療機関の病床規模

病床数の規模の内訳を表1に示す。対象医療機関の41.7%が病床を持たない診療所であり，38.8%が病床数1～99の病院もしくは診療所であった。

平成27年度と比較して，病床を持たない診療所の割合が増加した。

表1 対象医療機関の病床規模

病床数	施設数	(%)
0	73	41.7%
1-19	20	11.4%
20-99	48	27.4%
100-299	26	14.9%
300-499	4	2.3%
500-	4	2.3%
全体	175	100.0%

## 2. 歯科/歯科口腔外科標榜の有無

対象医療機関の歯科/歯科口腔外科標榜の有無の内訳を表2に示す。標榜しているのは10施設のみで、病床数299以下の医療機関で歯科/歯科口腔外科を有している医療機関は非常に少ないことがわかった。

平成27年度と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

表2 歯科/歯科口腔外科の標榜

病床数	している	(%)	していない	(%)	合計
0	2	2.7%	71	97.3%	73
1-19	0	0.0%	20	100.0%	20
20-99	4	8.3%	44	91.7%	48
100-299	0	0.0%	26	100.0%	26
300-499	1	25.0%	3	75.0%	4
500-	3	75.0%	1	25.0%	4
全体	10	5.7%	165	94.3%	175

## 3. 歯科専門職の雇用

歯科医師・歯科衛生士の雇用について調べた結果、歯科医師を雇用しているのは9施設(5.1%)、歯科衛生士を雇用しているのは23施設(13.1%)であった。歯科/歯科口腔外科を標榜していない医療機関においても、14施設では歯科衛生士を雇用しており、そのうち半数は病床数20-99規模の病院での雇用であった。

平成27年度と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

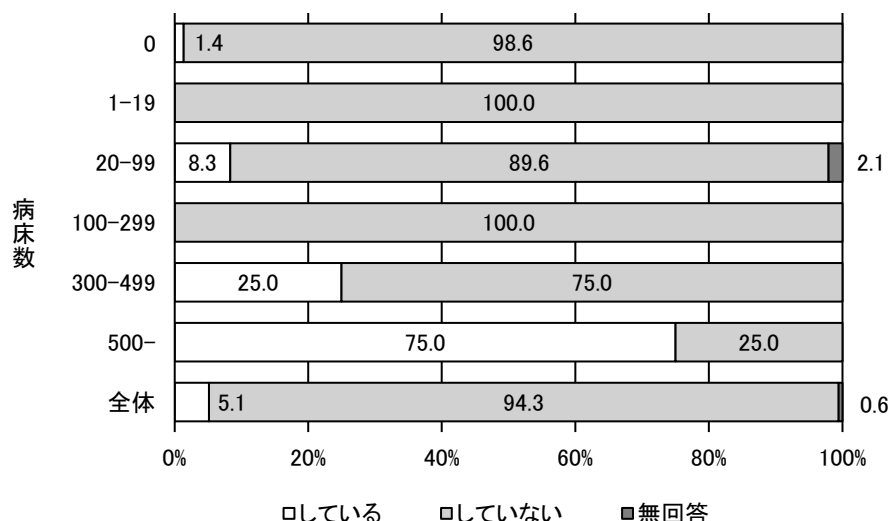


図2 歯科医師の雇用

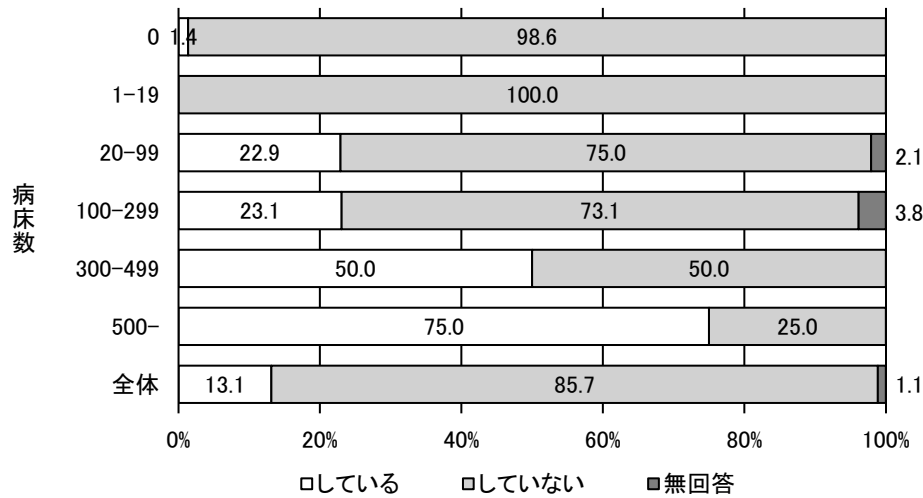


図3 歯科衛生士の雇用

#### 4. がん患者に対する口腔ケアの啓発活動

##### 1) 啓発活動の実施状況

がん患者に対する口腔ケアの啓発活動を行っている医療機関は全体の12.0%であった。病床規模別にみると、病床規模が500床以上の大きな病院で実施されている率が高かったが、病床数1～99の医療機関では8.8%と低かった。

平成27年度と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

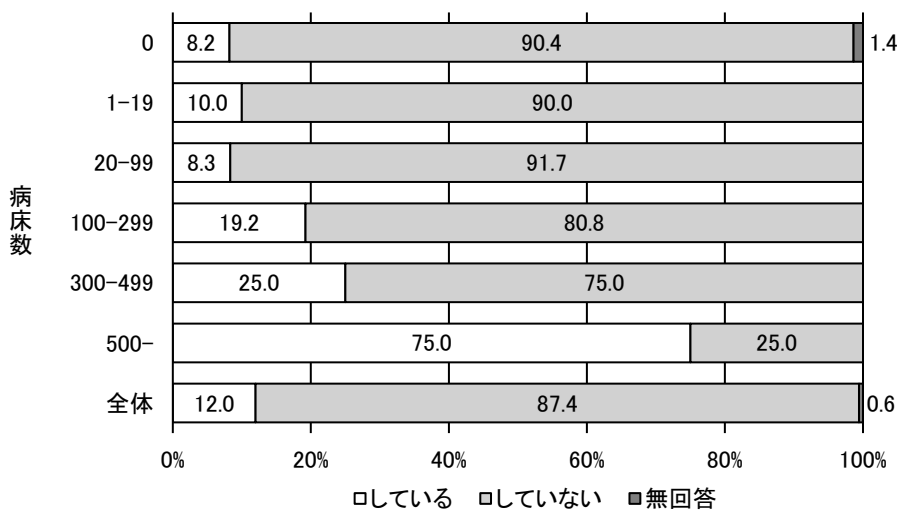


図4 がん患者に対する口腔ケアの啓発活動の実施状況

## 2) 啓発活動の具体的内容

啓発活動の内容としては、「個別指導」を行っている医療機関が16施設(9.1%)、「媒体等による情報提供」が4施設(2.3%)、「患者教室などでの情報提供」と「入院日数短縮の周知」はそれぞれ1施設(0.6%)であった。啓発活動を行っている医療機関だけでみると、21施設中16施設(76.2%)は「個別指導」という形態で啓発活動を行っていることがわかった。その他の内容として「外来患者来院時に患者教育を実施」「がん相談員による啓発指導」「院内研修会」等が挙げられた。

平成27年度と比較して、「その他」の項目への回答が16.6%増加し、「媒体等による情報提供」がわずかに減少した。

表3 啓発活動を行っている施設数とその内容（複数回答）

病床数	媒体等による 情報提供	患者教室等	個別指導	入院日数短縮 の周知	その他	施設数
0	1	0	5	0	1	6
1-19	0	0	1	0	1	2
20-99	1	0	4	0	0	4
100-299	0	1	5	0	2	5
300-499	0	0	1	0	0	1
500-	2	0	0	1	3	3
全体	4	1	16	1	7	21
割合	19.0%	4.8%	76.2%	4.8%	33.3%	

## 3) 啓発活動を行っていない理由

啓発活動を行っていない理由については、39.2%が「マンパワー不足」、32.0%が「場面の設定が難しい」と答えた。「その他」の回答として「対象となるがん患者がいない」等が挙げられた。各医療機関でがん患者を診ているものの、がんの専門病院でないため、がん患者に特化した取り組みを行うまでに至らないという背景があると考えられる。

平成27年度と比較して、「マンパワー不足」および「コストがかかる」が5%程度増加した。「その他」の回答内容や比率に変化は認められない。

表4 啓発活動を行っていない施設数とその理由（複数回答）

病床数	マンパワー 不足	コストが かかる	場面の設定 が難しい	その他	施設数
0	33.3%	3.0%	24.2%	57.6%	66
1-19	50.0%	16.7%	38.9%	27.8%	18
20-99	40.9%	13.6%	40.9%	36.4%	44
100-299	42.9%	9.5%	28.6%	42.9%	21
300-499	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	3
500-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
全体	39.2%	8.5%	32.0%	45.1%	153



## 5. 入院がん患者に対する口腔管理の現状と今後の予定

### 1) 入院がん患者に対する口腔管理の実施状況（病床数1以上の医療機関）

入院がん患者に対する口腔管理は54.9%の施設で実施されており，規模が大きいほど実施している割合が高くなる傾向がみられた。図5に示すように，病床規模が19以下の診療所では，入院がん患者に対する口腔管理を実施している割合は25.0%であった。

平成27年度と比較して，実施している施設の割合が7.6%減少した。

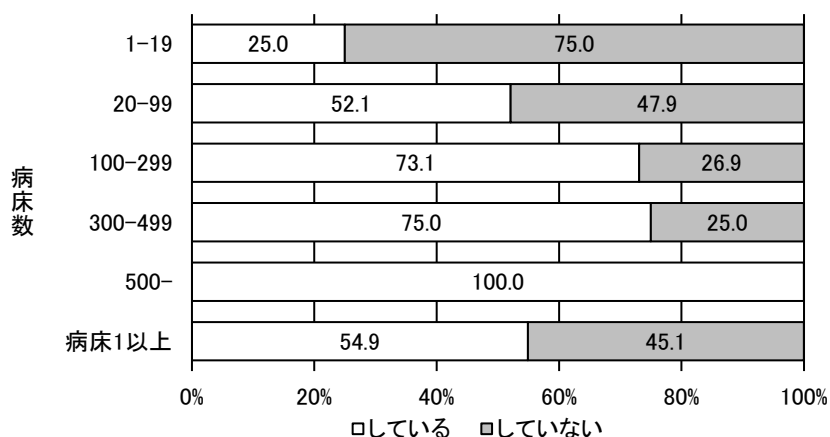


図5 入院がん患者に対する口腔管理（口腔ケアを含む）の実施状況

### 2) 口腔管理の担当職種（病床数1以上の医療機関）

表5に示すように，口腔管理を行っている施設の80.4%で，看護師が担当していると回答し，続いて院内歯科専門職が33.9%と多かった。また，看護助手・ヘルパー，言語聴覚士，外部の歯科専門職はそれぞれ32.1%，28.6%，23.2%であった。

平成27年度と比較して，院内歯科専門職，外部の歯科専門職の割合がそれぞれ13.9%および4.7%増加し，看護師，看護助手・ヘルパー，言語聴覚士の割合が減少した。

表5 口腔管理を行っている職種（複数回答）（口腔管理を行っている施設に対する割合）

病床数	院内歯科専門職	外部の歯科専門職	看護師	看護助手・ヘルパー	言語聴覚士	その他	施設数
1-19	0.0%	20.0%	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5
20-99	44.0%	20.0%	80.0%	28.0%	28.0%	0.0%	25
100-299	26.3%	31.6%	78.9%	47.4%	42.1%	0.0%	19
300-499	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	3
500-	75.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	4
病床1以上	33.9%	23.2%	80.4%	32.1%	28.6%	1.8%	56

### 3) がん患者の口腔管理に関する取り組みについての今後の予定

がん患者の口腔管理に関する今後の予定については、全体の53.4%の施設で何らかの取り組みの意向があることがわかった。但し、病床を持たない診療所では取り組みの予定があるのは26.9%と、がん患者の口腔管理に関する取り組みに対して消極的であることが分かった。取り組みの内容については、「職員が行う口腔ケアの質を向上させたい」が34.4%と最も多く、「口腔ケア研修を定期的で開催したい」が18.4%でこれに続いた。一方、周術期口腔機能管理については「開始したい」、「件数を増やしたい」ともに4%未満と少なく、保険点数対象となる周術期口腔機能管理に関するハードルは高いことが伺えた。また、「その他」の記入内容には、「対象となる患者がいないため取り組みの予定は無い」という回答が多く認められた。

平成27年度と比較して、「質を向上させたい」、「研修を定期開催したい」、「予定あり」の割合がそれぞれ8.8%、2.2%、6.6%減少した。周術期口腔機能管理を「開始したい」「件数を増やしたい」の割合に大きな変化は認められない。

表6 がん患者の口腔管理の取り組みの予定（複数回答）

病床数	周管を開始したい	周管を増やしたい	ケア対象者を増やしたい	質を向上させたい	研修を定期開催したい	その他	予定あり(1-6)	施設数
0	1.5%	0.0%	1.5%	4.5%	10.4%	82.1%	26.9%	67
1-19	0.0%	0.0%	5.6%	27.8%	11.1%	61.1%	44.4%	18
20-99	2.2%	2.2%	13.3%	55.6%	22.2%	31.1%	68.9%	45
100-299	4.0%	4.0%	32.0%	72.0%	32.0%	12.0%	88.0%	25
300-499	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	4
500-	0.0%	75.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	100.0%	4
全体	2.5%	3.7%	11.0%	34.4%	18.4%	50.9%	53.4%	163

## 6. 歯科との連携の現状（歯科/歯科口腔外科を標榜していない医療機関）

### 1) 歯科との連携状況

歯科/歯科口腔外科を標榜していない医療機関における歯科との連携については、全体の49.4%が「連携していない」、26.9%が「連携しているが不十分」、23.8%が「十分連携できている」と答えた。図6に示すように、特に病床を持たない診療所では7割以上の施設が連携しておらず、十分連携できている施設は7.4%にとどまった。病院では規模が大きくなるほど連携は進んでいるとみられ、病床規模が大きくなるほど歯科との連携の必要性が高まることが伺えた。

平成27年度と比較して、全体の比率の相違はあまり認められなかった。

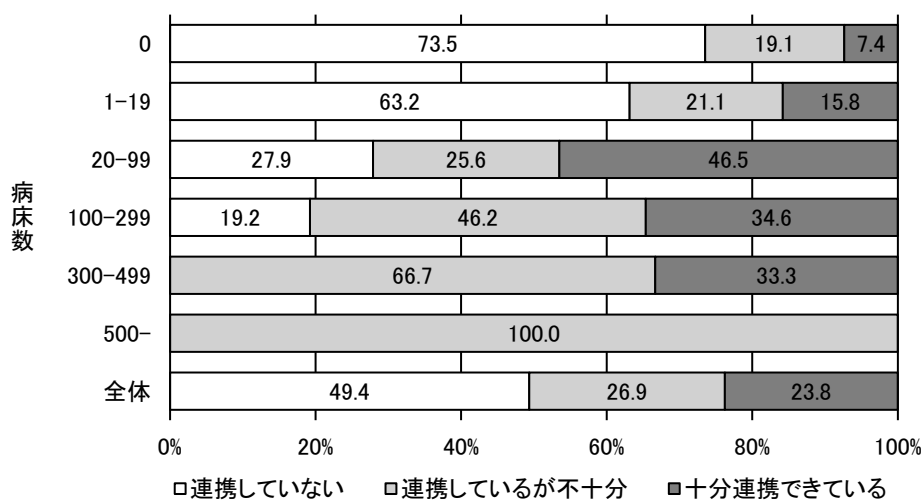


図6 歯科との連携の現状

2) 歯科との連携をしていない/不十分である理由（複数回答）

歯科との連携をしていないもしくは不十分である理由としては、病床数が小さいほど「必要性を感じない」の割合が高く、規模の大きい病院では「人手がかかる」の割合が高かった。また、「その他」では「対象患者が少ない」の回答が多かった。「必要があれば往診を依頼しており、常時連携してはいない」、「タイムリーに連携できていない」の回答も複数認められた。

平成27年度と比較して、全体における「必要性を感じない」「人手がかかる」の割合はそれぞれ6.7%、4.2%増加し、「適切な連絡先歯科医療機関がない」の割合は6.5%減少した。

表7 歯科との連携をしていない/不十分である理由は何か（複数回答）

病床数	必要性を感じない	人手がかかる	適切な連携先 歯科医療機関 がない	その他	施設数
0	46.0%	12.7%	12.7%	31.7%	63
1-19	31.3%	37.5%	6.3%	25.0%	16
20-99	26.1%	26.1%	17.4%	39.1%	23
100-299	11.8%	41.2%	17.6%	35.3%	17
300-499	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2
500-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1
全体	34.4%	23.8%	13.1%	32.8%	122

### 3) 歯科との連携の具体的内容（複数回答）

歯科との「連携をしているが不十分」もしくは「十分連携している」と答えた医療機関における歯科との連携の具体的内容は、表8に示すとおりであった。「口腔衛生管理や歯科治療について患者を紹介もしくは往診を依頼」が全体の69.1%であり、「患者情報について個別に照会」が40.7%、「職員の研修や勉強会などを開催」が9.9%と続いた。「患者教室などを協力して開催」している施設および「連絡協議会などを定期的で開催」している施設はないことから、歯科部門のない医療機関が外部の歯科医療機関と協力して定期的になにかを行うことは非常に難しい現状であることが伺えた。「その他」の内容には、「月一回歯科医師による口腔内健診、衛生指導あり」等の回答が認められた。

平成27年度と比較して、全体では「患者情報について個別に照会」の割合が3.9%増加した。一方、「紹介や往診」「研修・勉強会」の割合はそれぞれ7.2%、3.3%減少した。

表8 歯科との連携の具体的内容（複数回答）（歯科と連携している施設に対する割合）

病床数	個別の照会	紹介や往診	患者教室等	協議会等	研修・勉強会	その他	施設数
0	72.2%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	18
1-19	42.9%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7
20-99	38.7%	83.9%	0.0%	0.0%	12.9%	3.2%	31
100-299	23.8%	81.0%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%	21
300-499	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	3
500-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
全体	40.7%	69.1%	0.0%	0.0%	9.9%	8.6%	81

### Ⅲ まとめ・考察

#### 1. 歯科・口腔外科の設置状況，歯科医療職の雇用状況

令和元年全国医療施設調査によると，全国の一般病院の 15.2%が歯科を，13.6%が歯科口腔外科を標榜している。本調査の対象医療機関施設(175 施設)においては，歯科/歯科口腔外科を標榜しているのは 10 施設(5.7%)にとどまった。一方，歯科医療職の雇用については，歯科医師は 9 施設(5.1%)で，歯科衛生士は 23 施設(13.1%)で雇用されており，歯科部門がない医療機関で歯科衛生士のみを雇用している施設が 14 施設あることがわかった。

有病者の口腔管理が全身状態に影響するという意識の高まりは，病院でもある程度浸透しているとみられ，“歯科部門はないが歯科衛生士を雇用している”という状況はその表れではないかと推察される。

#### 2. がん患者に対する啓発活動

がん患者に対する口腔ケアの啓発活動を行っている医療機関は全体の 12.0%であり，啓発活動が十分とは言えないのが現状である。取り組んでいる啓発活動としては，「個別指導」や「媒体等による情報提供」が主であり，「患者教室などでの情報提供」など集団に対するアプローチを行っているのは 1 施設であった。啓発活動を行っていない理由としては「マンパワー不足」及び「場面の設定が難しい」がそれぞれ約 4 割，約 3 割を占めたが，「その他」の記載にあったように特化した形での取り組みを行うほど，自院にがん患者がいないということもわかった。

#### 3. 入院がん患者に対する口腔管理の実施状況

入院がん患者に対する口腔管理は約 5 割の施設で実施されており，その 8 割で看護師が担当していることがわかった。平成 27 年度と比較すると，院内および外部の歯科専門職が口腔管理を行っている割合は増加しているものの，現状においてもそれぞれ 3 割および 2 割にとどまっている。日常的な口腔管理の質を高めるためには，歯科専門職以外の病院スタッフのレベルアップを図るとともに，歯科専門職の積極的介入も必要であると考えられる。

今後の取り組みについては，「職員の口腔ケアの質を向上させたい」という意向を持つ施設が最も多く，これに応えるようなサポート体制が必要であることが示唆された。一方，「周術期口腔機能管理を開始したい」「周術期口腔機能管理を増やしたい」という施設はそれぞれ，2.5%および 3.7%と少なく，職員の質の向上には意欲的ではあるものの，特に 300 床以下の病院においては歯科専門職を雇用した周術期口腔機能管理の導入には消極的であると推察される。

#### 4. 歯科/口腔外科を持たない医療機関と歯科との連携の現状

歯科との連携については半数近くの機関が連携できておらず、26.9%は連携しているが不十分であることがわかった。その理由は、病床を持たない診療所では「必要性を感じない」、規模の大きな病院では「人手がかかる」ということであった。『全国公私病院連盟における病院医療と病院歯科との連携に関するアンケート調査』の結果によれば、歯科部門のない病院が連携しているのは歯科診療所、歯科医師会がほとんどであり、その地域に病院歯科が無い場合には地域の歯科診療所もしくは歯科医師会との連携がスムーズに進むような方策を検討することが必要であると考えられる。

また、「必要性を感じない」という回答のあった医療機関に対しては、口腔管理が全身管理にとっていかに大切であるかを医師やその他の医療関係者にも啓発していく必要があると考えられる。さらに、具体的な内容をみても、多くの施設が個別の照会や往診依頼等にとどまっていることから、今後は医科との組織的な連携を推進することも必要ではないかと考える。

#### 5. 総括

がん罹患患者数は平均寿命の延伸に伴い、年々増加している。2013年がん罹患・死亡データに基づくと、一生のうちにおよそ2人に1人が罹患するとも言われている。がん治療の過程では、口腔粘膜炎、口腔乾燥、味覚異常等の合併症が生じることが多く、患者のQOLを著しく低下させる。これらの予防と軽減のために、周術期の患者の口腔管理は重要であり、今後ますます需要が高まると考えられる。医科歯科連携を進め、がん治療開始前から切れ目なく口腔管理を行うことが求められる。

#### IV 資料

##### 1. 調査票

#### 高知県 がん連携に関する医療機関調査

医療機関名			
記入(担当)者 氏名		電話番号	- -

該当する番号に○をつけてください。また、( ) に該当事項を記入してください。

1. このアンケートに回答して下さる方の職種を教えてください。

- (1) 医師                      (2) 看護師                      (3) 歯科医師                      (4) 歯科衛生士  
(5) 医療ソーシャルワーカー                      (6) 事務職                      (7) その他 (                      )

2. 貴医療機関の規模(病床数)を教えてください。

- (1) 0                      (2) 1-19                      (3) 20-99                      (4) 100-199  
(5) 200-299                      (6) 300-399                      (7) 400-499                      (8) 500以上

3. 貴医療機関は歯科、歯科口腔外科を標榜していますか。

- (1) 標榜している                      (2) 標榜していない

4. 貴医療機関に歯科医師、歯科衛生士は雇用されていますか？

- 歯科医師：(1) いる                      (2) いない  
歯科衛生士：(1) いる                      (2) いない

5-1. 貴医療機関ではがん患者に対して感染予防や疼痛緩和を目的とした口腔ケアについての啓発活動を行っていますか？

- (1) はい                      (2) いいえ

⇒5-1で (1) はい と回答した機関にお尋ねします。

5-2. 啓発活動の内容を教えてください。(複数回答可)

- (1) パンフレットや映像媒体等による情報提供  
(2) 患者教室などでの情報提供  
(3) 個別指導  
(4) 入院日数の短縮が繋がることの周知活動  
(5) その他 (                      )

⇒5-1で (2) いいえ と回答した機関にお尋ねします。

5-3. 行っていない理由を教えてください。(複数回答可)

- (1) マンパワー不足  
(2) コストがかかる  
(3) 場面の設定が難しい  
(4) その他 (                      )

アンケートは裏面にも続きます。最後までお答えいただきますようご協力をお願いいたします。



6-1. 貴医療機関では、がんの入院患者に対する口腔管理（口腔ケアを含む）を行っていますか？

- (1) はい (2) いいえ

⇒6-1で (1) はい と回答した機関にお尋ねします。

6-2. 口腔管理を行っている職種に○をつけてください。(複数回答可)

- (1) 院内の歯科専門職 (2) 外部の歯科専門職  
(3) 看護師 (4) 看護助手・ヘルパー  
(5) 言語聴覚士 (6) その他 ( )

7. がん患者の口腔管理についての取り組みについて今後の予定を教えてください。

該当するもの全てに○をつけてください。

- (1) (保険点数対象となる) 周術期口腔機能管理を開始したい  
(2) (保険点数対象となる) 周術期口腔機能管理の件数を増やしたい  
(3) 職員が行う口腔ケアの対象患者を増やしたい  
(4) 職員が行う口腔ケアの質を向上させたい  
(5) 職員の口腔ケア研修を定期的に開催したい  
(6) その他 ( )

以下の質問は、3. で (2) 標榜していない と回答した機関にお尋ねします。

8-1. 歯科との連携に関して、現状を教えてください。いずれか一つに○をつけてください。

- (1) 連携していない ⇒8-2にお答えください  
(2) 連携しているが不十分である ⇒8-2と8-3の両方にお答えください  
(3) 十分連携できている ⇒8-3にお答えください

⇒8-1で (1) 連携していない (2) 連携しているが不十分であると回答した機関にお尋ねします。

8-2. その理由は何ですか？あてはまるものに○をつけてください。

- (1) 連携の必要性を感じない  
(2) 連携には人手がかかる  
(3) 連携先として適当な歯科医療機関がない  
(4) その他 ( )

⇒8-1で (2) 連携しているが不十分である (3) 十分連携できていると回答した機関にお尋ねします。

8-3. 具体的にどのようなことをされていますか？あてはまるものに○をつけてください。

- (1) 患者情報について個別に照会  
(2) 口腔衛生管理や歯科治療について患者を紹介もしくは往診を依頼  
(3) 患者教室などを協力して開催  
(4) 連絡協議会などを定期的に開催  
(5) 職員の研修や勉強会などを開催  
(6) その他 ( )

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

## 2. 集計結果表

### 設問 1

#### 回答者の職種（人数）

病床数	医師	看護師	歯科医師	歯科 衛生士	医療 ソーシャル ワーカー	事務職	その他	施設数
0	52	8	1	0	1	11	0	73
1-19	7	4	0	0	1	8	0	20
20-99	4	15	3	3	1	22	0	48
100-199	2	7	0	0	0	11	1	21
200-299	0	1	0	0	0	3	1	5
300-399	0	1	0	0	0	1	0	2
400-499	0	1	0	1	0	0	0	2
500-	1	1	0	0	0	2	0	4
全体	66	38	4	4	3	58	2	175

#### 回答者の職種（割合）

病床数	医師	看護師	歯科医師	歯科 衛生士	医療 ソーシャル ワーカー	事務職	その他	施設数
0	71.2%	11.0%	1.4%	0.0%	1.4%	15.1%	0.0%	73
1-19	35.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%	40.0%	0.0%	20
20-99	8.3%	31.3%	6.3%	6.3%	2.1%	45.8%	0.0%	48
100-199	9.5%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	52.4%	4.8%	21
200-299	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	5
300-399	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
400-499	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
500-	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
全体	37.7%	21.7%	2.3%	2.3%	1.7%	33.1%	1.1%	175

### 設問 2

#### 対象医療機関の病床規模

病床数	施設数	(%)
0	73	41.7%
1-19	20	11.4%
20-99	48	27.4%
100-199	21	12.0%
200-299	5	2.9%
300-399	2	1.1%
400-499	2	1.1%
500-	4	2.3%
全体	175	100.0%

### 設問 3

#### 歯科/歯科口腔外科の標榜

病床数	している (%)	していない (%)	施設数
0	2 2.7%	71 97.3%	73
1-19	0 0.0%	20 100.0%	20
20-99	4 8.3%	44 91.7%	48
100-199	0 0.0%	21 100.0%	21
200-299	0 0.0%	5 100.0%	5
300-399	0 0.0%	2 100.0%	2
400-499	1 50.0%	1 50.0%	2
500-	3 75.0%	1 25.0%	4
全体	10 5.7%	165 94.3%	175

### 設問 4

#### 歯科医師の雇用

病床数	している (%)	していない (%)	無回答 (%)	施設数
0	1 1.4%	72 98.6%	0 0.0%	73
1-19	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%	20
20-99	4 8.3%	43 89.6%	1 2.1%	48
100-199	0 0.0%	21 100.0%	0 0.0%	21
200-299	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	5
300-399	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2
400-499	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2
500-	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4
全体	9 5.1%	165 94.3%	1 0.6%	175

#### 歯科衛生士の雇用

病床数	している (%)	していない (%)	無回答 (%)	施設数
0	1 1.4%	72 98.6%	0 0.0%	73
1-19	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%	20
20-99	11 22.9%	36 75.0%	1 2.1%	48
100-199	4 19.0%	16 76.2%	1 4.8%	21
200-299	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	5
300-399	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2
400-499	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2
500-	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4
全体	23 13.1%	150 85.7%	2 1.1%	175

設問 5 - 1

口腔ケアの啓発活動

病床数	している (%)		していない (%)		無回答 (%)	
0	6	8.2%	66	90.4%	1	1.4%
1-19	2	10.0%	18	90.0%	0	0.0%
20-99	4	8.3%	44	91.7%	0	0.0%
100-199	4	19.0%	17	81.0%	0	0.0%
200-299	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%
300-399	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
400-499	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
500-	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%
全体	21	12.0%	153	87.4%	1	0.6%

設問 5 - 2

啓発活動の内容（人数：複数回答）

病床数	媒体等による 情報提供	患者教室等	個別指導	入院日数短縮 の周知	その他	施設数
0	1	0	5	0	1	6
1-19	0	0	1	0	1	2
20-99	1	0	4	0	0	4
100-199	0	1	4	0	1	4
200-299	0	0	1	0	1	1
300-399	0	0	0	0	0	0
400-499	0	0	1	0	0	1
500-	2	0	0	1	3	3
全体	4	1	16	1	7	21

啓発活動の内容（割合：複数回答）

病床数	媒体等による 情報提供	患者教室等	個別指導	入院日数短縮 の周知	その他	施設数
0	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	6
1-19	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	2
20-99	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4
100-199	0.0%	25.0%	100.0%	0.0%	25.0%	4
200-299	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	1
300-399	—	—	—	—	—	0
400-499	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1
500-	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	3
全体	19.0%	4.8%	76.2%	4.8%	33.3%	21

設問 5 - 3

啓発活動を行っていない理由（人数：複数回答）

病床数	マンパワー 不足	コストが かかる	場面の設定 が難しい	その他	施設数
0	22	2	16	38	66
1-19	9	3	7	5	18
20-99	18	6	18	16	44
100-199	8	1	3	8	17
200-299	1	1	3	1	4
300-399	1	0	2	0	2
400-499	0	0	0	1	1
500-	1	0	0	0	1
全体	60	13	49	69	153

啓発活動を行っていない理由（割合：複数回答）

病床数	マンパワー 不足	コストが かかる	場面の設定 が難しい	その他	施設数
0	33.3%	3.0%	24.2%	57.6%	66
1-19	50.0%	16.7%	38.9%	27.8%	18
20-99	40.9%	13.6%	40.9%	36.4%	44
100-199	47.1%	5.9%	17.6%	47.1%	17
200-299	25.0%	25.0%	75.0%	25.0%	4
300-399	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2
400-499	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1
500-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
全体	39.2%	8.5%	32.0%	45.1%	153

設問 6 - 1

がん患者に対する口腔管理を行っているか

病床数	している	(%)	していない	(%)	施設数
0	2	2.7%	71	97.3%	73
1-19	5	25.0%	15	75.0%	20
20-99	25	52.1%	23	47.9%	48
100-199	15	71.4%	6	28.6%	21
200-299	4	80.0%	1	20.0%	5
300-399	2	100.0%	0	0.0%	2
400-499	1	50.0%	1	50.0%	2
500-	4	100.0%	0	0.0%	4
全体	58	33.1%	117	66.9%	175
病床1以上	56	54.9%	46	45.1%	102

設問 6 - 2

口腔管理を行っている職種（人数：複数回答）

病床数	院内 歯科専門職	外部の 歯科専門職	看護師	看護助手・ ヘルパー	言語聴覚士	その他	施設数
0	0	1	1	0	0	0	2
1-19	0	1	5	2	0	0	5
20-99	11	5	20	7	7	0	25
100-199	3	6	11	8	8	0	15
200-299	2	0	4	1	0	0	4
300-399	0	1	1	0	1	0	2
400-499	0	0	1	0	0	0	1
500-	3	0	4	0	0	1	4
全体	19	14	46	18	16	1	58
病床1以上	19	13	45	18	16	1	56

口腔管理を行っている職種（割合：複数回答）

病床数	院内 歯科専門職	外部の 歯科専門職	看護師	看護助手・ ヘルパー	言語聴覚士	その他	施設数
0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
1-19	0.0%	20.0%	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5
20-99	44.0%	20.0%	80.0%	28.0%	28.0%	0.0%	25
100-199	20.0%	40.0%	73.3%	53.3%	53.3%	0.0%	15
200-299	50.0%	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	4
300-399	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
400-499	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
500-	75.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	4
全体	32.8%	24.1%	79.3%	31.0%	27.6%	1.7%	58
病床1以上	33.9%	23.2%	80.4%	32.1%	28.6%	1.8%	56

設問 7

がん患者の口腔管理の取り組みの予定（人数：複数回答）

病床数	周管を開始したい	周管を増やしたい	ケア対象者を増やしたい	質を向上させたい	研修を定期開催したい	その他	予定あり(1-6)	施設数
0	1	0	1	3	7	55	18	67
1-19	0	0	1	5	2	11	8	18
20-99	1	1	6	25	10	14	31	45
100-199	1	1	8	16	7	1	19	20
200-299	0	0	0	2	1	2	3	5
300-399	0	0	0	1	1	0	2	2
400-499	1	1	0	1	0	0	2	2
500-	0	3	2	3	2	0	4	4
全体	4	6	18	56	30	83	87	163

がん患者の口腔管理の取り組みの予定（割合：複数回答）

病床数	周管を開始したい	周管を増やしたい	ケア対象者を増やしたい	質を向上させたい	研修を定期開催したい	その他	予定あり(1-6)	施設数
0	1.5%	0.0%	1.5%	4.5%	10.4%	82.1%	26.9%	67
1-19	0.0%	0.0%	5.6%	27.8%	11.1%	61.1%	44.4%	18
20-99	2.2%	2.2%	13.3%	55.6%	22.2%	31.1%	68.9%	45
100-199	5.0%	5.0%	40.0%	80.0%	35.0%	5.0%	95.0%	20
200-299	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	60.0%	5
300-399	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	2
400-499	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	2
500-	0.0%	75.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	100.0%	4
全体	2.5%	3.7%	11.0%	34.4%	18.4%	50.9%	53.4%	163

設問 8 - 1

歯科との連携状況

病床数	連携していない	(%)	連携しているが不十分	(%)	十分連携できている	(%)	施設数
0	50	73.5%	13	19.1%	5	7.4%	68
1-19	12	63.2%	4	21.1%	3	15.8%	19
20-99	12	27.9%	11	25.6%	20	46.5%	43
100-199	3	14.3%	10	47.6%	8	38.1%	21
200-299	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%	5
300-399	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
400-499	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1
500-	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
全体	79	49.4%	43	26.9%	38	23.8%	160

設問 8 - 2

歯科との連携をしていない/不十分である理由は何か（人数：複数回答）

病床数	必要性を感じない	人手がかかる	適当な連携先 歯科医療機関 がない	その他	施設数
0	29	8	8	20	63
1-19	5	6	1	4	16
20-99	6	6	4	9	23
100-199	2	6	2	4	13
200-299	0	1	1	2	4
300-399	0	2	0	0	2
400-499	—	—	—	—	0
500-	0	0	0	1	1
全体	42	29	16	40	122

歯科との連携をしていない/不十分である理由は何か（割合：複数回答）

病床数	必要性を感じない	人手がかかる	適当な連携先 歯科医療機関 がない	その他	施設数
0	46.0%	12.7%	12.7%	31.7%	63
1-19	31.3%	37.5%	6.3%	25.0%	16
20-99	26.1%	26.1%	17.4%	39.1%	23
100-199	15.4%	46.2%	15.4%	30.8%	13
200-299	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	4
300-399	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2
400-499	—	—	—	—	0
500-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1
全体	34.4%	23.8%	13.1%	32.8%	122



設問 8 - 3

歯科との連携の具体的内容（人数：複数回答）

病床数	個別の照会	紹介や往診	患者教室等	協議会等	研修・勉強会	その他	施設数
0	13	4	0	0	1	3	18
1-19	3	6	0	0	0	1	7
20-99	12	26	0	0	4	1	31
100-199	5	15	0	0	3	0	18
200-299	0	2	0	0	0	1	3
300-399	0	1	0	0	0	1	2
400-499	0	1	0	0	0	0	1
500-	0	1	0	0	0	0	1
全体	33	56	0	0	8	7	81

歯科との連携の具体的内容（割合：複数回答）

病床数	個別の照会	紹介や往診	患者教室等	協議会等	研修・勉強会	その他	施設数
0	72.2%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	18
1-19	42.9%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7
20-99	38.7%	83.9%	0.0%	0.0%	12.9%	3.2%	31
100-199	27.8%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	18
200-299	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	3
300-399	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	2
400-499	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
500-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
全体	40.7%	69.1%	0.0%	0.0%	9.9%	8.6%	81

### 3 高齢者の歯と口の健康づくりに関する施設調査報告書

#### 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	57
1. 調査の目的 .....	57
2. 調査方法 .....	57
3. 調査対象 .....	57
4. 調査実施日 .....	57
5. 回収数（率） .....	57
6. 調査主体 .....	57
7. 結果の集計 .....	57
<b>II 調査結果の詳細</b> .....	58
1. 施設について .....	58
2. 施設の定員 .....	59
3. 定期的な歯科健康診査の実施状況 .....	60
4. フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施状況 .....	61
5. フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果に関する知識について .....	61
6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動 .....	62
7. 利用者の口腔ケアの実施状況 .....	63
8. 利用者の口腔ケアの実施主体 .....	65
9. 利用者の口腔の観察状況 .....	65
10. 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況 .....	66
11. 利用者やその家族への口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防啓発状況 .....	68
12. 具体的な口腔ケアの内容について .....	69
<b>III まとめ、考察</b> .....	70
1. 口腔管理の現状 .....	70
2. 職員対象の口腔ケア研修会と利用者やその家族への啓発活動の現状 .....	70
3. 総括 .....	71
<b>IV 資料</b> .....	72
1. 調査票 .....	72
2. 集計結果表 .....	74



## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

「高知県歯と口の健康づくり基本計画」に基づく高齢者の歯科保健対策を推進するため、高知県下の高齢者施設を対象として、施設利用者の口腔管理および関連する職員研修の実態や歯科医療機関との連携の実態を調査して現状を把握する。これにより、今後の高齢者施設利用者に対する適切な歯科治療および口腔ケアの推進や、高齢者施設と歯科医療機関との連携による実効性のある方策を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査方法

高知県が委託した民間事業者から対象施設に調査票を郵送し、各施設からの郵送及びFAXによる回答を民間事業者がとりまとめた。

### 3. 調査対象

令和2年4月時点で、介護保険サービス提供事業者に登録されている高齢者施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）139施設を対象とした。

### 4. 調査実施日

令和2年7月1日～令和2年7月31日までの1か月間

### 5. 回収数（率）

発送数：139施設

有効回収数：116施設

回収率：83.5%

### 6. 調査主体

高知県健康政策部健康長寿政策課

### 7. 結果の集計

結果の集計は、高知県健康政策部健康長寿政策課の委託を受け、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野が行った。

## Ⅱ 調査結果の詳細

### 1. 施設について

アンケート調査で回答のあった全 116 施設の内訳は、介護老人福祉施設が 56 施設 (48.3%)、介護老人保健施設が 27 施設 (23.3%)、介護療養型医療施設が 11 施設 (9.5%)、介護医療院が 22 施設 (19.0%) であった。

2018 (平成 30) 年 4 月に「介護医療院」が創設されるとともに、介護療養型医療施設に関する経過措置の期限は 2024 (令和 6) 年 3 月末まで延長されており、介護療養型医療施設についてはこの期間内に介護医療院などの施設への移行等が必要になる。したがって介護療養型医療施設が平成 27 年度では 23 施設 (22.3%) だったのに対し、今回調査では 11 施設 (9.5%) に減少している。

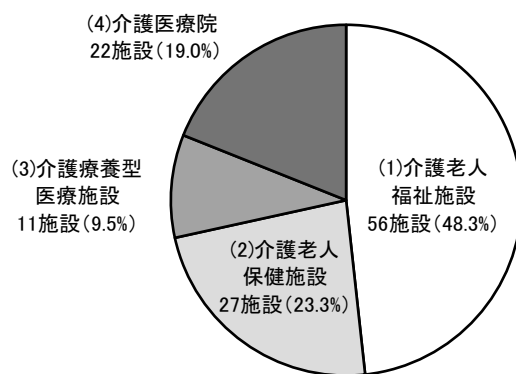


図 1 アンケート調査を行った全 116 施設の内訳

## 2. 施設の定員

### 1) 入所定員

平均入所定員は  $64.6 \pm 30.9$  名であった。最も多かったのは、40～59 名で 38 施設 (32.8%)、次いで 80～99 名で 26 施設 (22.4%)、60～79 名で 15 施設 (12.9%) の順であった。

また、平成 27 年度調査では 100 名以上の施設が 9 施設 (8.8%) であったのに対し、今回の調査では 17 施設 (14.7%) と増加が認められた。

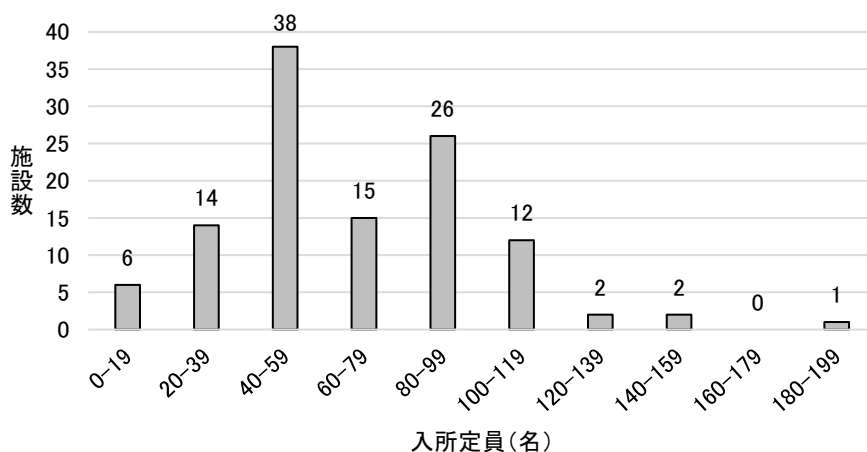


図 2 - 1 全 116 施設の入所定員の内訳

### 2) 通所定員

平均通所定員は  $11.7 \pm 17.6$  名で、最も多かったのは、0～19 名で 81 施設 (69.8%)、次いで 20～39 名で 19 施設 (16.4%)、40～59 名で 14 施設 (12.1%) の順であった。

平成 27 年度調査では 0～19 名の施設が 21 施設 (39.6%) であったのに対し、今回の調査では 81 施設 (69.8%) と大幅な増加が認められる。しかし平成 27 年度調査では無回答が 50 施設あったため、実際に施設数が増加したか比較できない。

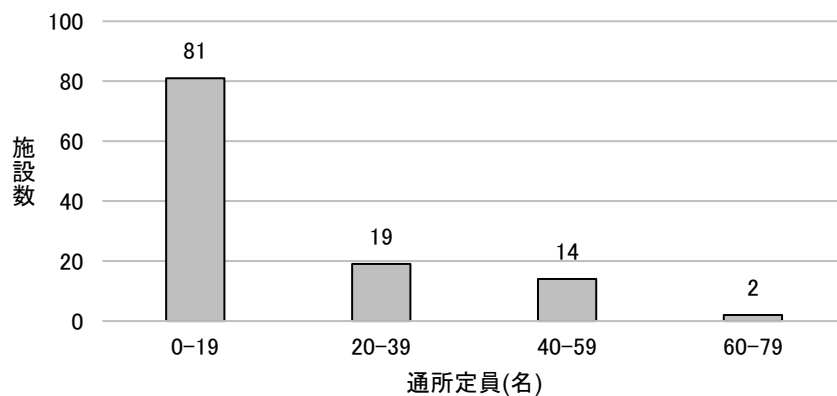


図 2 - 2 全 116 施設の通所定員の内訳

### 3. 定期的な歯科健康診査の実施状況

#### 1) 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）実施の有無

協力歯科医等による定期的な歯科健康診査を年1回以上、「全員に実施している」と回答した施設は18施設（15.5%）と少なく、「一部に実施している」と回答した36施設（31.0%）を含めても、「実施していない」と回答した施設数（62施設、53.4%）に及ばない結果であった。

平成27年度調査と比較して比率の相違は、ほとんど認められなかった。

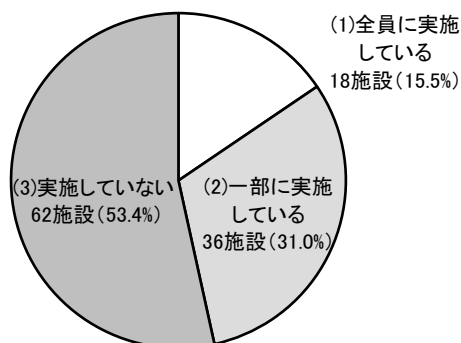


図3-1 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）実施の有無

#### 2) 歯科健康診査の実施場所

（図3-1の(1)または(2)に該当した施設を対象）

協力歯科医等による定期的な歯科健康診査を年1回以上、「全員に実施している」または「一部に実施している」と回答した54施設のうち53施設が「施設内で実施」と回答した。一方、「歯科診療所で実施」と回答した施設はなかった。なお、「その他」は役場の歯科健診室であった。

平成27年度調査と比較して比率の相違は、ほとんど認められなかった。

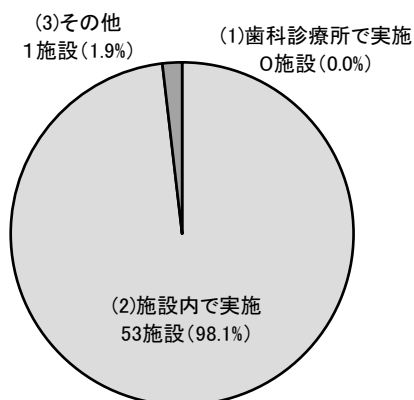


図3-2 定期的な歯科健康診査の実施場所の内訳

#### 4. フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施状況

フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防を「実施していない」と回答した施設が 106 施設（91.4%）を占めた。一方、「実施している」と回答した施設は 10 施設（8.6%）と少ない結果であった。

平成 27 年度調査では「実施している」と回答した施設が 7 施設（6.8%）であったのに対し、今回の調査では 10 施設（8.6%）とわずかに増加が認められる。

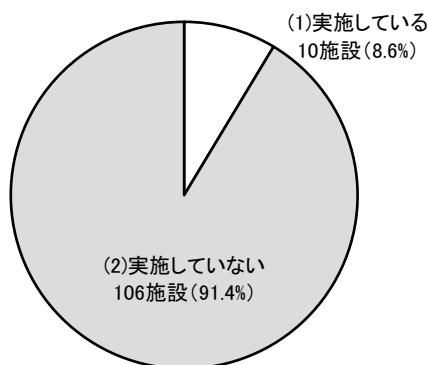


図4 フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施の有無

#### 5. フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果に関する知識について

フッ化物（フッ素）はむし歯予防に有効だと「思う」と回答した施設は 68 施設（58.6%）にとどまった。一方、「思わない」と回答した施設が 4 施設（3.4%）、「わからない」と回答した施設が 44 施設（37.9%）であった。

平成 27 年度調査では「思う」と回答した施設が 52 施設（50.5%）であったのに対し、今回の調査では 68 施設（58.6%）とわずかに増加が認められる。しかしながら平成 27 年度調査では「思わない」と回答した施設が 0 施設であったのに対し、今回の調査では 4 施設（3.4%）とフッ化物（フッ素）をむし歯予防に有効だと思わない施設が存在することも明らかに

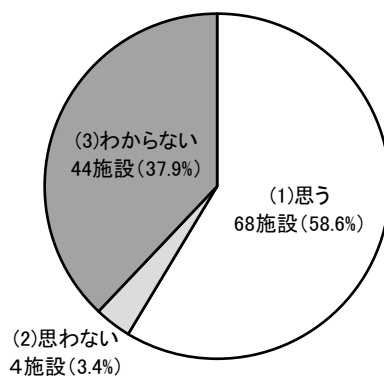


図5 フッ化物（フッ素）がむし歯予防に有効だと思うかどうかの内訳



## 6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動

「職員による歯磨き指導や介助」と回答した施設が 68 施設で最も多く、次いで「職員の口腔ケア研修会の開催」(66 施設)、「口腔機能向上の取り組み」(61 施設)、「歯科専門職との連携による口腔ケア」(55 施設)の順に多かった。一方、「フッ化物を用いたむし歯予防」と回答した施設は 10 施設と少ない結果であった。なお、「その他」には、「年 1 回は入所者全員の歯科検診」、「DVD や Web 等を使った研修」、「職員による積極的な口腔ケアの継続」、「口腔清拭の技術向上」、「歯科医との連携によるオーラルフレイル、口腔機能低下症へのアプローチ」と回答した。

なお、上位 4 項目は平成 27 年度調査結果と同じであった。

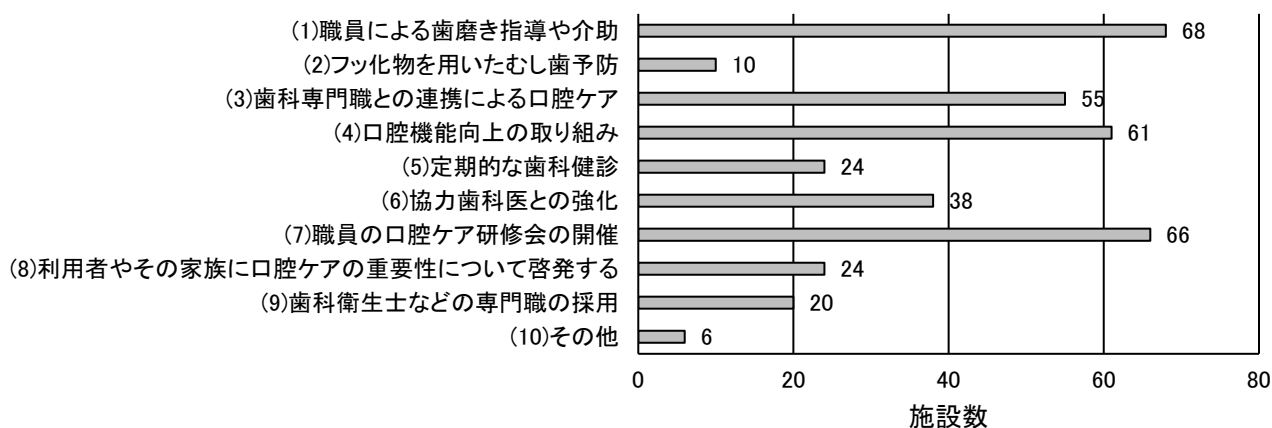


図6 利用者の歯や口腔の健康管理のために  
「今後強化したい」または「取り入れたい」活動（複数回答）

## 7. 利用者の口腔ケアの実施状況

### 1) 利用者の口腔ケアの実施状況

115 施設 (99.1%) が利用者の口腔ケアを行っているかどうかの質問に「はい」と回答した。一方、「いいえ」と回答した施設は1施設 (0.9%) のみであった。

平成 27 年度調査では「いいえ」と回答した施設がなかったのに対し、今回の調査では1施設 (0.9%) 存在することも明らかになった。

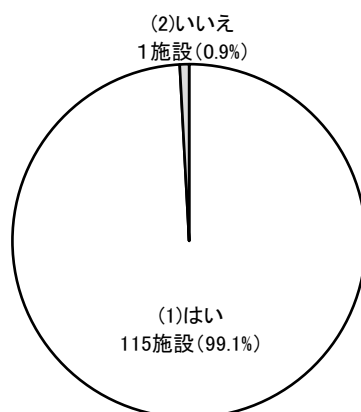


図 7-1 利用者の口腔ケアを行っているかどうかの内訳

### 2) 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうか

(図 7-1 の(1)に該当した施設を対象)

利用者の口腔ケアを行っていると回答した 115 施設のうち、現在行っている口腔ケアで十分だと「思う」と回答した施設は 13 施設 (11.3%)、「少し思う」と回答した施設は 65 施設 (56.5%) であった。一方、「思わない」と回答した施設は 37 施設 (32.2%) に及んだ。

平成 27 年度調査と比較して比率の相違はほとんど認められなかった。

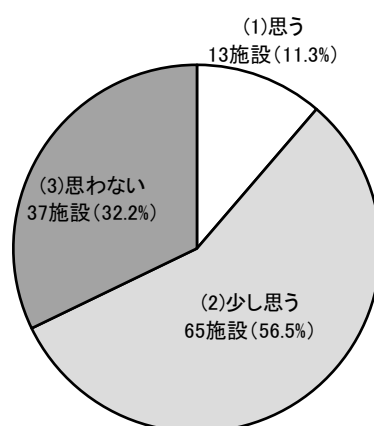


図 7-2 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうかの内訳

### 3) 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけている時間

(図7-1の(1)に該当した施設を対象)

利用者の口腔ケアを行っているという回答した115施設の一人当たりにかけている口腔ケアの平均時間は $4.8 \pm 4.2$ 分であった。最も多かった回答は5分以上6分未満で27施設(23.5%)、次いで1分以上2分未満、2分以上3分未満、3分以上4分未満でいずれも19施設(16.5%)であった。約半数の64施設(55.7%)は5分未満という結果であった。

平成27年度調査では5分未満と回答した施設が54施設(52.9%)であったのに比べ、比率の相違はほとんど認められなかった。

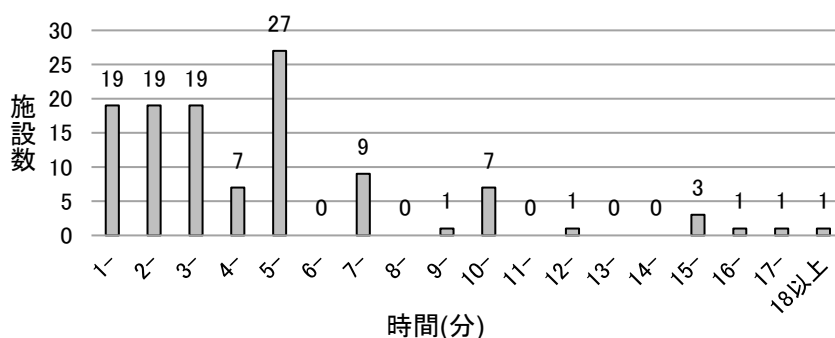


図7-3 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけている時間(単位:分)

### 4) 一人当たりの「口腔ケア」にかけたいと思っている時間

(図7-1の(1)に該当した施設を対象)

利用者の口腔ケアを行っているという回答した115施設の一人当たりにかける時間と希望している口腔ケアの平均時間は $6.9 \pm 4.8$ 分であった。最も多かった回答は5分以上6分未満で38施設(33.0%)、次いで10分以上11分未満で22施設(19.1%)であった。

平成27年度調査の平均時間は $7.3 \pm 5.0$ 分であり、今回の調査ではわずかに減少した。一方、平成27年度調査で15分以上と回答した施設が4施設(3.9%)であったのに対し、今回の調査では11施設(9.6%)と口腔ケアに15分以上時間をかけたい施設の増加が認められる。

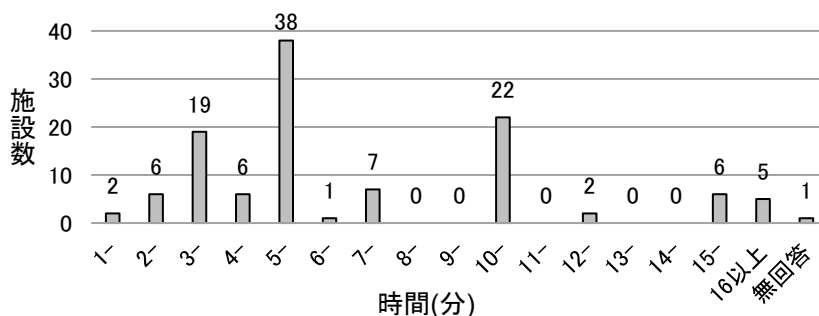


図7-4 一人当たりの「口腔ケア」にかけたいと思っている時間(単位:分)

## 8. 利用者の口腔ケアの実施主体

「介護職」と回答した施設が108施設で最も多く、次いで「看護職」(80施設)、「歯科衛生士」(25施設)、「言語聴覚士」(20施設)の順に多い結果であった。なお、「その他」には、「介護支援専門員」、「不定期で訪問している歯科衛生士」、「本人・家族」、「施設長」の回答があった。

なお、上位の4職種は平成27年度調査結果と同じであった。

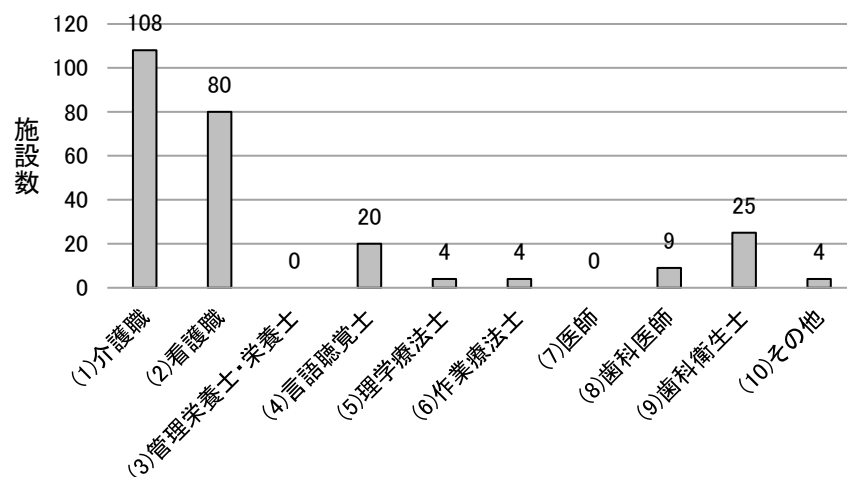


図8 利用者の口腔ケアを行っている職種（複数回答）

## 9. 利用者の口腔の観察状況

「全員にしている」と回答した施設が72施設(62.1%)、「少しでも気になった場合はしている」と回答した施設が29施設(25.0%)であった。一方、「していない」と回答した施設が1施設(0.9%)存在することも明らかになった。

平成27年度調査では「全員にしている」と回答した施設が57施設(55.3%)であったのに対し、今回の調査では72施設(62.1%)とわずかに増加が認められる。

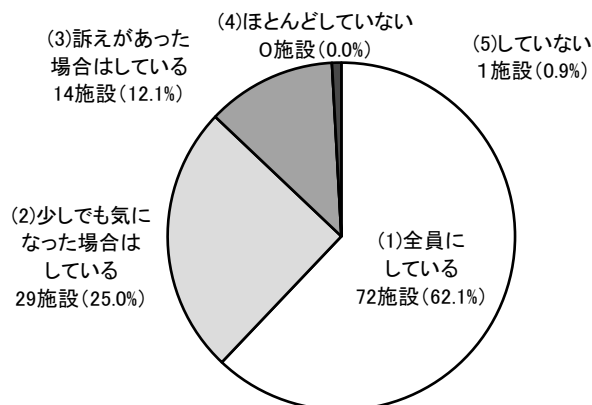


図9 利用者の口腔の観察をしているかどうかの内訳

## 10. 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況

### 1) 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況

職員対象の口腔ケアに関する研修会を「定期的で開催」していると回答した施設は21施設（18.1%）、「不定期に開催」していると回答した施設は58施設（50.0%）であり、定期・不定期いずれかで研修会を開催している施設が約7割であった。一方、「行っていない」と回答した施設が37施設（31.9%）存在することも明らかになった。

平成27年度調査では「定期的で開催」していると回答した施設が13施設（12.6%）であったのに対し、今回の調査では21施設（18.1%）とわずかに増加が認められる。

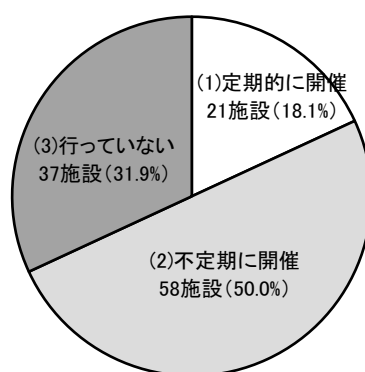


図 10-1 職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催しているかどうかの内訳

## 2) 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由

(図 10-1 の(3)に該当した施設を対象)

職員対象の口腔ケアに関する研修会を「行っていない」と回答した 37 施設のうち、その理由として「時間が足りない」と回答した施設が 17 施設 (45.9%), 「人手不足」と回答した施設が 12 施設 (32.4%), 「必要がない」と回答した施設が 3 施設 (8.1%) であった。なお、「その他」には、「必要性は感じているが、講師や内容などの検討に至っていない」、「研修を行う人材がいない」、「4～8月は様々な研修があり、なかなか時間がない」、「併設病院で研修を行っている」、「専門職がいない」、「他のテーマと比べて優先順位が低い」、「毎月の歯科検診時に指導を受けているので、研修会を行う考えに至らなかった」、「毎月、協力歯科が指導してくれている」、「講師の依頼先が不明」、「他の研修との兼ね合い」、「集団研修は現在実施していない」、「知識不足」があげられた。

平成 27 年度調査では「時間が足りない」と回答した施設が 8 施設 (27.6%) であったのに対し、今回の調査では 17 施設 (45.9%) と大幅な増加が認められる。

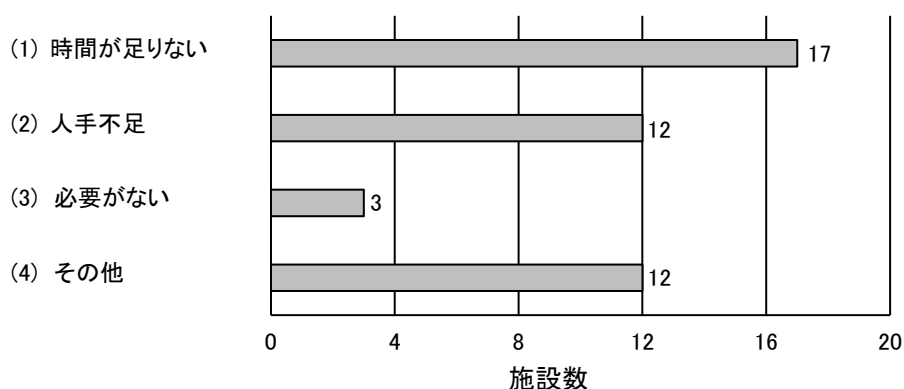


図 10-2 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由 (複数回答)

### 11. 利用者やその家族への口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防啓発状況

啓発活動を「行っていない」と回答した施設が75施設（64.7%）に上った。「口腔ケアについて啓発している」と回答した施設は41施設（35.3%）、「フッ化物（フッ素）によるむし歯予防について啓発している」と回答した施設は1施設（0.9%）であった。

平成27年度調査では「口腔ケアについて啓発している」と回答した施設が30施設（29.4%）であったのに対し、今回の調査では41施設（35.3%）とわずかに増加が認められる。

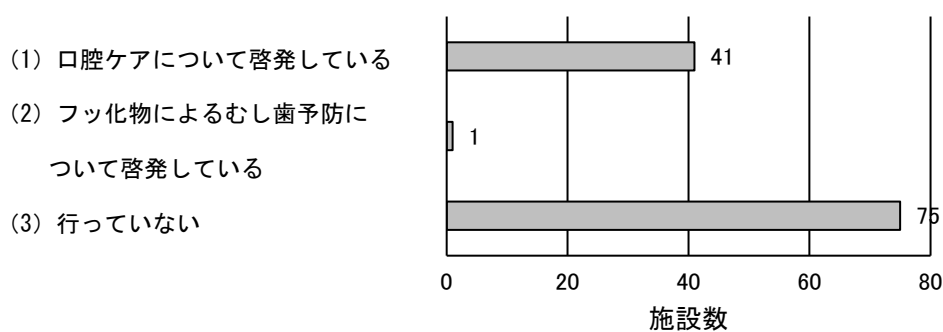


図11 利用者やその家族に口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防について啓発活動をしているかどうか（複数回答）

## 12. 具体的な口腔ケアの内容について

(図 11 の(1)に該当した施設を対象)

「舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔を保つ取り組みを行っている」と回答した施設が 34 施設 (82.9%) で最も多く、次いで「義歯 (入れ歯) の手入れを行っている」と回答した施設が 31 施設 (75.6%)、「歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れている」と回答した施設が 24 施設 (58.5%) であった。なお、「その他」には、「在宅歯科診療の利用」、「寝たきり利用者に対する口腔ケアの指導」、「口腔ケアを推進する職員を中心とした口腔ケアの指導」、「誤嚥性肺炎予防」があげられた。

上位 2 項目は平成 27 年度調査結果と同様に高い傾向がある。

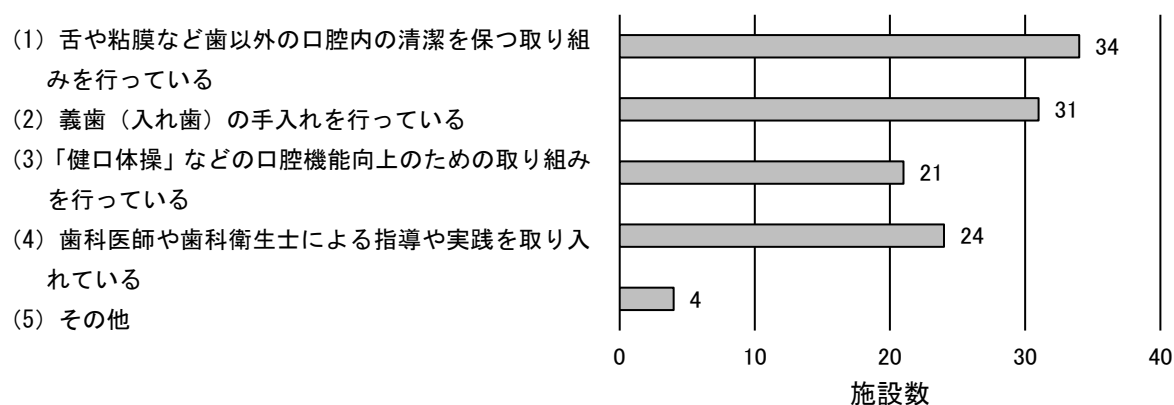


図 12 具体的な口腔ケア (口腔機能向上の取り組みを含む) の内容について (複数回答)



### Ⅲ まとめ, 考察

#### 1. 口腔管理の現状

##### 1) 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査

定期的な歯科健康診査を実施している施設は46.5%（うち全員に実施している施設は15.5%）、全く実施していない施設は53.4%であった。関係者に対する定期的な歯科健康診査の重要性の啓発を徹底していく必要がある。

##### 2) フッ化物を用いたう蝕予防

調査施設のうち、フッ化物を用いたう蝕予防を実施していると回答した施設はわずかに8.6%であり、フッ化物がう蝕予防に有効と回答した施設も58.6%にとどまった。高齢期は唾液の減少、歯根面の露出および口腔清掃不良などにより同部へう蝕が増加しやすくなるため、フッ化物入り歯磨剤の使用やフッ化物塗布などエビデンスに基づく効果的なう蝕予防が重要である。施設関係者へう蝕予防の効果を一層周知していく必要がある。

##### 3) 口腔ケアの実施状況

調査対象のほぼ全施設において利用者の口腔ケアを実施しているが、現在行っている口腔ケアで十分だと思いと回答した施設は11.3%であった。さらに、利用者全員の口腔の観察をしている施設は62.1%であり、十分な口腔内観察を行わず口腔ケアを実施している施設も存在する。口腔管理のために強化したい活動として、職員による歯磨き指導や介助が58.6%で最も多く、次いで職員の口腔ケア研修会の開催、口腔機能向上の取り組み、歯科専門職との連携による口腔ケアであった。

口腔ケアを行っている職種では介護職が最も多く、次いで看護職、歯科衛生士、言語聴覚士であった。また、口腔ケアの一人当たりの平均時間は4.8分の現状に対して、口腔ケアにかけたい平均時間は6.9分であり、2.1分の差が認められた。以上のことから口腔ケア時の口腔内観察の重要性を含めた研修会の開催や歯科専門職の指導、更には歯科医療機関との連携強化などが望まれる。

#### 2. 職員対象の口腔ケア研修会と利用者やその家族への啓発活動の現状

調査を行った施設のうち、31.9%の施設は口腔ケアに関する研修会を行っておらず、その理由として時間が足りないおよび人手不足との回答がそれぞれ45.9%と32.4%であった。また、口腔ケアに関する利用者やその家族への啓発活動は35.3%で実施しており、舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔を保つ取り組みが最も多かった。しかし、6割以上の施設では啓発活動を実施しておらず、フッ化物のう蝕予防については1施設のみでの実施であった。

### 3. 総括

一人当たりの口腔ケアにかかる時間が5分未満と回答した施設は約半数であり、平成27年度調査とほぼ同程度であった。また、フッ化物を用いたむし歯予防を実施している施設およびフッ化物がむし歯予防に有効だと思いと回答した施設の割合はわずかに増加がみられたものの、いまだ十分な数とは言えず、今後さらに、その方法や有効性、定期的な歯科健康診査の重要性について啓発していく必要がある。

近年、高齢者が保有する現在歯数は増加傾向にあり、これに伴い歯周疾患に罹患するリスクも高まると考えられる。実際、歯科疾患実態調査によると80-84才の進行した歯周病を有する者の割合は、平成23年度は42.6%であったのに対して、平成28年度は47.7%と増加している。歯周病は歯を喪失する最大の原因であり、歯の喪失は、咀嚼力が低下することによる栄養状態の悪化を招くだけでなく、食事や会話の楽しみが失われるなど、ADLやQOLの低下にもつながる。このため、高齢者施設職員に対し、口腔ケアを始めとした利用者の口腔管理が重要であることを一層周知し、技術向上をはかっていく必要がある。また、歯科医療機関と連携した職員への指導に加えて、利用者家族への啓発活動も重要であると考えられる。

#### IV 資料

##### 1. 調査票

#### 高知県 高齢者の歯と口の健康づくりに関する施設調査

施設名			
記入(担当)者 氏名		電話番号	— —

該当する番号に○をつけてください。また、( ) に該当事項を記入してください。

##### 1. 貴施設について教えてください。

- (1) 介護老人福祉施設                      (2) 介護老人保健施設                      (3) 介護療養型医療施設  
(4) 介護医療院

##### 2. 施設の定員について教えてください。

入所定員 (                      名)                      通所定員 (                      名)

下記の質問は、貴施設利用者に対する歯や口腔の管理に関する状況についてお答えください。

##### 3-1. 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）を実施していますか。

- (1) 全員に実施している                      (2) 一部に実施している                      (3) 実施していない

⇒3-1の(1)、(2)に該当した施設にお尋ねします。

##### 3-2. 歯科健康診査はどのような場所で実施していますか

- (1) 歯科診療所で実施                      (2) 施設内で実施                      (3) その他 (                      )

##### 4. フッ化物塗布など、フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防を実施していますか。

- (1) 実施している                      (2) 実施していない

##### 5. フッ化物（フッ素）は、むし歯予防に有効だと思いますか。

- (1) 思う                      (2) 思わない                      (3) わからない

##### 6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動をお答えください。

(複数回答可)

- (1) 職員による歯磨き指導や介助  
(2) フッ化物を用いたむし歯予防  
(3) 歯科専門職との連携による口腔ケア  
(4) 口腔機能向上の取り組み  
(5) 定期的な歯科健診  
(6) 協力歯科医との強化  
(7) 職員の口腔ケア研修会の開催  
(8) 利用者やその家族に口腔ケアの重要性について啓発する  
(9) 歯科衛生士などの専門職の採用  
(10) その他 (                      )

アンケートは裏面にも続きます。最後までお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

7-1. 利用者の口腔ケアを行っていますか。

- (1) はい (2) いいえ

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-2. 貴施設で現在行っている「口腔ケア」で十分だと思いますか？

- (1) 思う (2)少し思う (3)思わない

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-3. 貴施設では、現在一人当たりに「口腔ケア」にどのくらいの時間をかけていますか？

約 ( ) 分

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-4. 貴施設では、一人当たりの「口腔ケア」に、どのくらいの時間をかけたいと思いますか？

約 ( ) 分

8. 利用者の口腔ケアを行うのは誰ですか。(見守り介助を含む)(複数回答可)

- (1) 介護職 (2) 看護職 (3) 管理栄養士・栄養士 (4) 言語聴覚士  
(5) 理学療法士 (6) 作業療法士 (7) 医師 (8) 歯科医師 (9) 歯科衛生士  
(10) その他 ( )

9. 利用者の口腔の観察をしていますか。

- (1) 全員にしている (2) 少しでも気になった場合はしている  
(3) 訴えがあった場合はしている (4) ほとんどしていない  
(5) していない

10-1. 貴施設において職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催していますか。

- (1) 定期的に開催 (2) 不定期に開催 (3) 行っていない

⇒10-1で(3)行っていないと回答された施設にお尋ねします。

10-2. その理由をお答えください。

- (1)時間が足りない (2)人手不足 (3)必要がない (4)その他 ( )

11. 利用者やその家族に、口腔ケアやフッ化物(フッ素)によるむし歯予防について啓発活動をしていますか

(複数回答可)

- (1)口腔ケアについて啓発している (2)フッ化物によるむし歯予防について啓発している  
(3)行っていない

⇒11で(1)と回答した施設にお尋ねします。

12. 具体的な口腔ケアの啓発内容(口腔機能向上の取組を含む)について教えてください。(複数回答可)

- (1) 舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔保持の方法やその重要性について  
(2) 義歯(入れ歯)の手入れの方法やその重要性について  
(3) 「健口体操」など口腔機能維持向上の方法やその重要性について  
(4) 歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れた啓発  
(5) その他 ( )

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

## 2. 集計結果表

表1 アンケート調査を行った全116施設の内訳

施設の内訳	
(1)介護老人福祉施設	56
(2)介護老人保健施設	27
(3)介護療養型医療施設	11
(4)介護医療院	22
総数	116

表2 全116施設の定員の内訳

	定員	施設数
入所定員	0-19	6
	20-39	14
	40-59	38
	60-79	15
	80-99	26
	100-119	12
	120-139	2
	140-159	2
	160-179	0
	180-199	1
	総数	116
通所定員	0-19	81
	20-39	19
	40-59	14
	60-79	2
	総数	116

表3-1 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）実施の有無

質問項目	回答数
(1)全員に実施している	18
(2)一部に実施している	36
(3)実施していない	62
総数	116

表3-2 定期的な歯科健康診査の実施場所の内訳

質問項目	回答数
(1)歯科診療所で実施	0
(2)施設内で実施	53
(3)その他	1
総数	54

表4 フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施の有無

質問項目	回答数
(1)実施している	10
(2)実施していない	106
総数	116

表5 フッ化物（フッ素）がむし歯予防に有効だと思うかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)思う	68
(2)思わない	4
(3)わからない	44
総数	116

表6 利用者の歯や口腔の健康管理のために「今後強化したい」または「取り入れたい」活動

質問項目	回答数
(1)職員による歯磨き指導や介助	68
(2)フッ化物を用いたむし歯予防	10
(3)歯科専門職との連携による口腔ケア	55
(4)口腔機能向上の取り組み	61
(5)定期的な歯科健診	24
(6)協力歯科医との強化	38
(7)職員の口腔ケア研修会の開催	66
(8)利用者やその家族に口腔ケアの重要性について啓発する	24
(9)歯科衛生士などの専門職の採用	20
(10)その他	6
総数	372

表7-1 利用者の口腔ケアを行っているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)はい	115
(2)いいえ	1
総数	116

表7-2 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)思う	13
(2)少し思う	65
(3)思わない	37
総数	115

表7-3 現在一人あたりに「口腔ケア」にかけている時間（単位：分）

「口腔ケア」にかけている時間	施設数
1分以上2分未満	19
2分以上3分未満	19
3分以上4分未満	19
4分以上5分未満	7
5分以上6分未満	27
6分以上7分未満	0
7分以上8分未満	9
8分以上9分未満	0
9分以上10分未満	1
10分以上11分未満	7
11分以上12分未満	0
12分以上13分未満	1
13分以上14分未満	0
14分以上15分未満	0
15分以上16分未満	3
16分以上17分未満	1
17分以上18分未満	1
18分以上	1
総数	115

表7-4 一人あたりに「口腔ケア」にかけたいと思っている時間（単位：分）

「口腔ケア」にかけたい時間	施設数
1分以上2分未満	2
2分以上3分未満	6
3分以上4分未満	19
4分以上5分未満	6
5分以上6分未満	38
6分以上7分未満	1
7分以上8分未満	7
8分以上9分未満	0
9分以上10分未満	0
10分以上11分未満	22
11分以上12分未満	0
12分以上13分未満	2
13分以上14分未満	0
14分以上15分未満	0
15分以上16分未満	6
16分以上	5
無回答	1
総数	115

表8 利用者の口腔ケアを行っている職種

質問項目	回答数
(1)介護職	108
(2)看護職	80
(3)管理栄養士・栄養士	0
(4)言語聴覚士	20
(5)理学療法士	4
(6)作業療法士	4
(7)医師	0
(8)歯科医師	9
(9)歯科衛生士	25
(10)その他	4
総数	254

表9 利用者の口腔の観察をしているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)全員にしている	72
(2)少しでも気になった場合はしている	29
(3)訴えがあった場合はしている	14
(4)ほとんどしていない	0
(5)していない	1
総数	116

表10-1 職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催しているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)定期的を開催	21
(2)不定期に開催	58
(3)行っていない	37
総数	116

表10-2 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由の内訳

質問項目	回答数
(1)時間が足りない	17
(2)人手不足	12
(3)必要がない	3
(4)その他	12
総数	44



表 11 利用者やその家族に口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防について啓発活動をしているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1) 口腔ケアについて啓発している	41
(2) フッ化物によるむし歯予防について啓発している	1
(3) 行っていない	75
総数	117

表 12 具体的な口腔ケア（口腔機能向上の取り組みを含む）の内容についての内訳

質問項目	回答数
(1) 舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔を保つ取り組みを行っている	34
(2) 義歯（入れ歯）の手入れを行っている	31
(3) 「健口体操」などの口腔機能向上のための取り組みを行っている	21
(4) 歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れている	24
(5) その他	4
総数	114

## 4 障害者の歯と口の健康づくりに関する施設調査報告書

### 目次

<b>I 調査の概要</b>	79
1. 調査の目的	79
2. 調査方法	79
3. 調査対象	79
4. 調査実施日	79
5. 回収数（率）	79
6. 調査主体	79
7. 結果の集計	79
<b>II 調査結果の詳細</b>	80
1. 主として支援している施設利用者の障害について	80
2. 施設の定員	80
3. 定期的な歯科健康診査の実施状況	81
4. フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施状況	82
5. フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果に関する知識について	82
6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動	83
7. 利用者の口腔ケアの実施状況	83
8. 利用者の口腔ケアの実施主体	85
9. 利用者の口腔の観察状況	86
10. 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況	86
11. 利用者やその家族への口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防啓発状況	88
12. 具体的な口腔ケアについて	89
<b>III まとめ、考察</b>	90
1. 口腔管理の現状	90
2. 職員対象の口腔ケア研修会と利用者やその家族への啓発活動の現状	90
3. 総括	91
<b>IV 資料</b>	92
1. 調査票	92
2. 集計結果表	94



## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

「高知県歯と口の健康づくり基本計画」に基づく歯科保健対策を推進するため、高知県下の障害者施設を対象として、施設利用者の口腔管理および関連する職員研修や歯科医療機関との連携の実態を調査して現状を把握する。これにより、今後の障害者施設利用者に対する適切な歯科治療および口腔ケアの推進や、障害者施設と歯科医療機関との連携等による実効性のある方策を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査方法

高知県が委託した民間事業者から対象施設に調査票を郵送し、各施設からの郵送及びFAXによる回答を民間事業者でとりまとめた。

### 3. 調査対象

令和2年4月時点で、高知県指定障害福祉サービス事業者に登録されている障害児・者入所施設（33施設）を対象とした。

### 4. 調査実施日

令和2年7月1日～令和2年7月31日までの1か月間

### 5. 回収数（率）

発送数：33施設

有効回収数：31施設

回収率：93.9%

### 6. 調査主体

高知県健康政策部健康長寿政策課

### 7. 結果の集計

結果の集計は、高知県健康政策部健康長寿政策課の委託を受け、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野が行った。

## Ⅱ 調査結果の詳細

### 1. 主として支援している施設利用者の障害について

主として支援している施設利用者の障害は「知的障害」と回答した施設が 27 施設、「身体障害」と回答した施設が 10 施設、「精神障害」と回答した施設が 6 施設、「難病」と回答した施設が 5 施設であった。

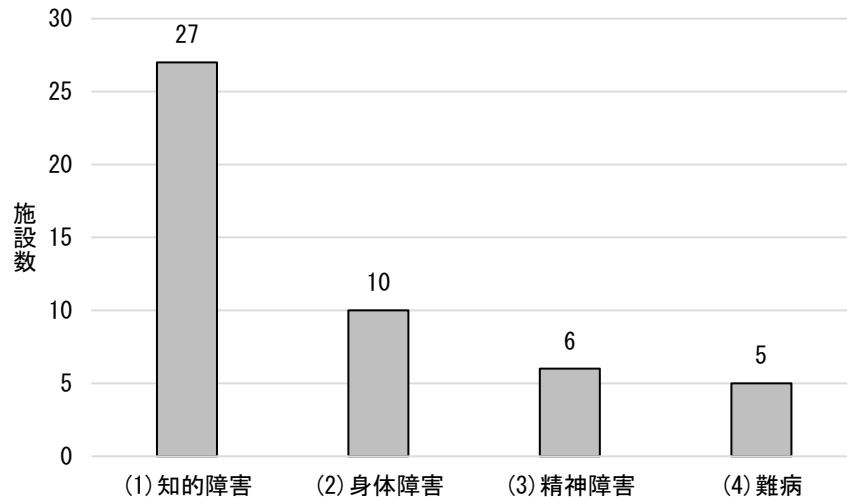


図 1 主として支援している施設利用者の障害について（複数回答）

### 2. 施設の定員

平均施設定員は  $51.9 \pm 27.7$  名であった。最も多かったのは、40-59 名で 15 施設 (48.4%)、次いで 20-39、60-79 名で各 4 施設 (12.9%) の順であった。

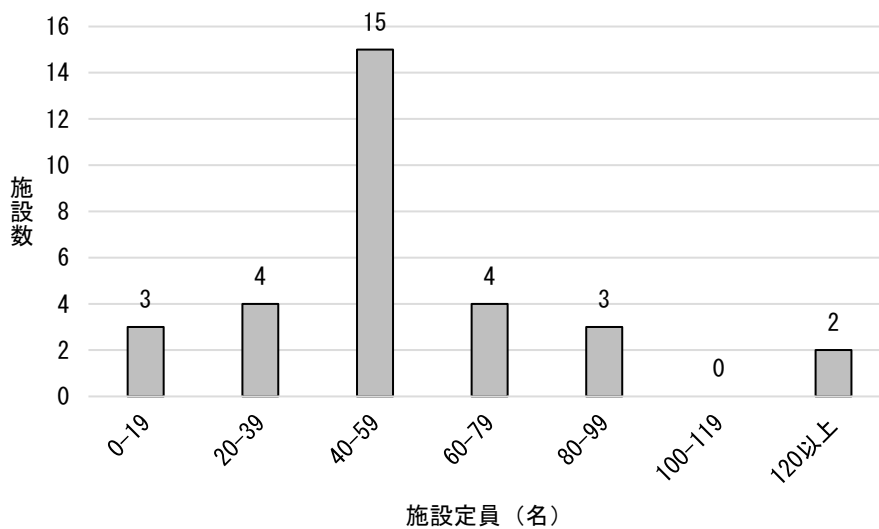


図 2 31 施設の定員の内訳

### 3. 定期的な歯科健康診査の実施状況

#### 1) 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査実施の有無

協力歯科医等による定期的な歯科健康診査を年1回以上、「全員に実施している」と回答した施設は18施設（58.1%）と過半数を占めた。「一部に実施している」と回答した8施設（25.8%）を含めると、8割以上にあたる施設で、年1回以上、何らかの歯科健康診査を実施しているという結果が得られた。

平成27年度調査と比較して、定期的な歯科健康診査を全員または一部に実施している施設の割合がわずかに増加した（8.1%）。

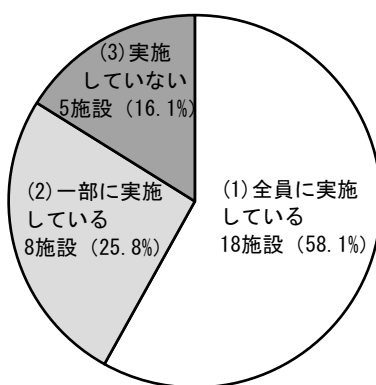


図3-1 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）実施の有無

#### 2) 定期的な歯科健康診査の実施場所

（図3-1の(1)または(2)に該当した施設を対象）

協力歯科医等による定期的な歯科健康診査を年1回以上、「全員に実施している」または「一部に実施している」と回答した26施設において、「施設内で実施」していると回答した施設が21施設（72.4%）で最も多かった。「歯科診療所で実施」していると回答した施設も8施設（27.6%）存在した。

平成27年度調査と比較して、歯科診療所で実施している施設の割合が18.5%増加した。

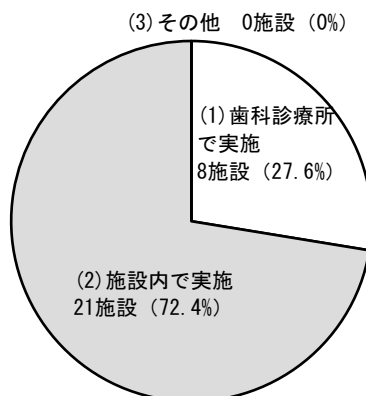


図3-2 定期的な歯科健康診査の実施場所（複数回答）

#### 4. フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施状況

フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防を「実施していない」と回答した施設が23施設（74.2%）を占めた。一方、「実施している」と回答した施設は8施設（25.8%）との結果であった。

平成27年度調査と比較して、フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防を実施している施設の割合がわずかに増加した（8.6%）。

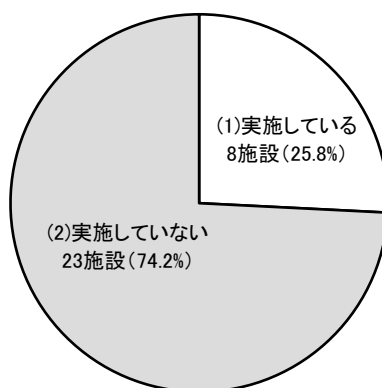


図4 フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施の有無

#### 5. フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果に関する知識について

フッ化物（フッ素）はむし歯予防に有効だと「思う」と回答した施設は19施設（61.3%）であった。一方、「わからない」と回答した施設も12施設（38.7%）と4割程度にとどまった。

平成27年度調査と比較して、「思う」と回答した施設の割合が13.0%増加した。

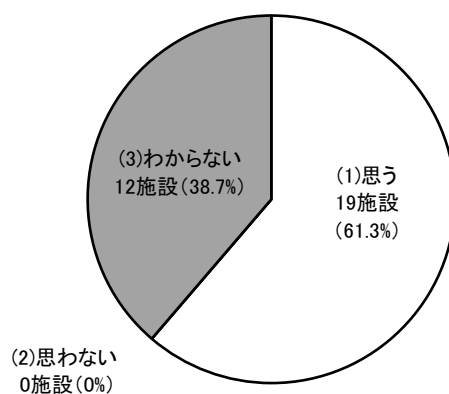


図5 フッ化物（フッ素）がむし歯予防に有効だと思うかどうかの内訳

## 6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動

「職員による歯磨き指導や介助」と回答した施設が21施設で最も多く、次いで「歯科専門職との連携による口腔ケア」(15施設)、「定期的な歯科健診」(13施設)、「職員の口腔ケア研修会の開催」(12施設)の順に多かった。なお、「その他」の2施設は「拒否が強い利用者さんの歯磨き」と回答した。

平成27年度調査と比較して増加数が多かったのは「職員による歯磨き指導や介助」「定期的な歯科健診」「利用者やその家族に口腔ケアの重要性について啓発する」であった。

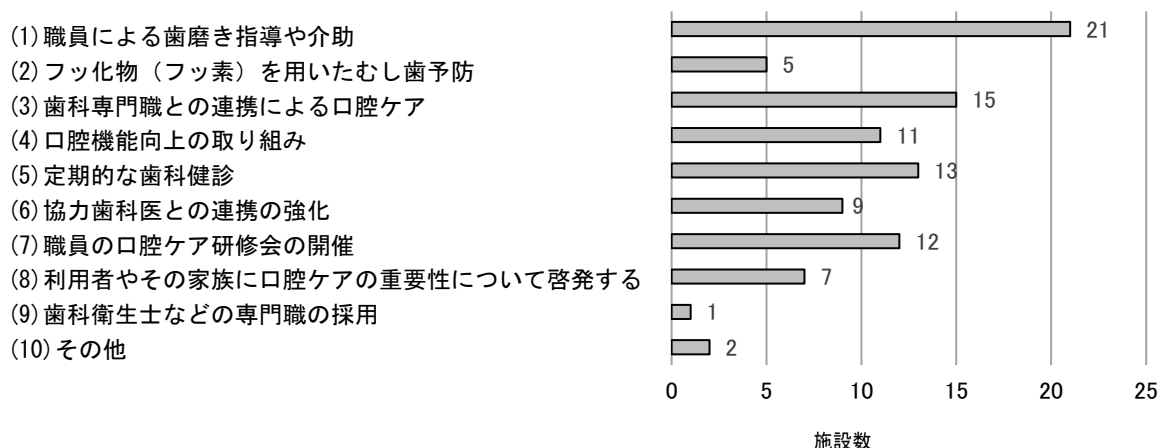


図6 利用者の歯や口腔の健康管理のために「今後強化したい」または「取り入れたい」活動（複数回答）

## 7. 利用者の口腔ケアの実施状況

### 1) 利用者の口腔ケアの実施状況

利用者の口腔ケアを行っているかどうかの質問に対して全ての施設が「はい」と回答した。

平成27年度調査では、利用者の口腔ケアを「行っていない」と回答した施設が2施設(6.9%)存在したが、今回は全ての施設が行っていた。

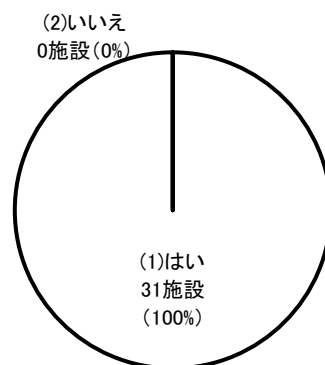


図7-1 利用者の口腔ケアを行っているかどうかの内訳



2) 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうか

現在行っている口腔ケアで十分だと「少し思う」と回答した施設は10施設(32.3%)と少なく、一方、「思わない」と回答した施設は21施設(67.7%)に及んだ。

平成27年度調査と比較して、比率の相違はほとんど認められなかった。

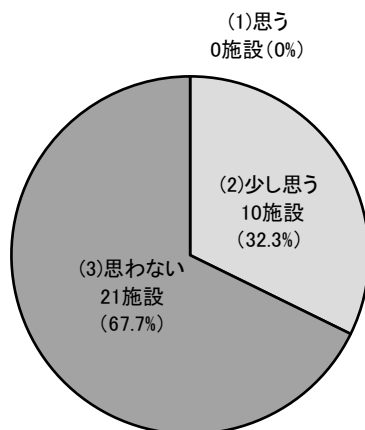


図7-2 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうかの内訳

3) 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけている時間

一人当たりにかけている口腔ケアの平均時間は3.2±2.3分であった。最も多かった回答は2分以上3分未満が11施設(35.5%),次いで1分以上2分未満が7施設(22.6%)であった。10分以上と回答した施設が2施設(6.5%)存在したものの、24施設(77.4%)は5分未満という結果であった。

平成27年度調査と比較して、大きな差は認められなかった。

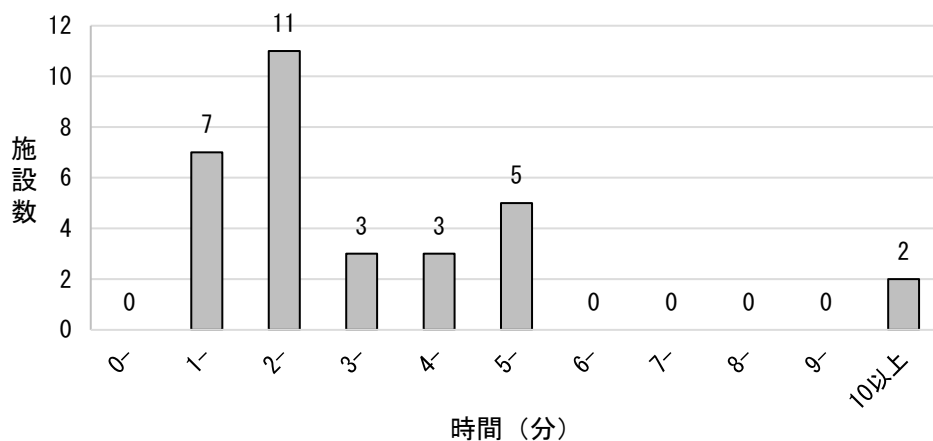


図7-3 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけている時間(単位:分)

4) 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけたいと思っている時間

一人当たりにかける時間とされている口腔ケアの平均時間は5.3±2.8分であった。最も多かった回答は5分以上6分未満で9施設(29.0%),次いで10分以上で7施設(22.6%)であった。

平成27年度調査と比較して、口腔ケアに10分以上時間をかけたいと思っている施設の割合が18.9%増加した。

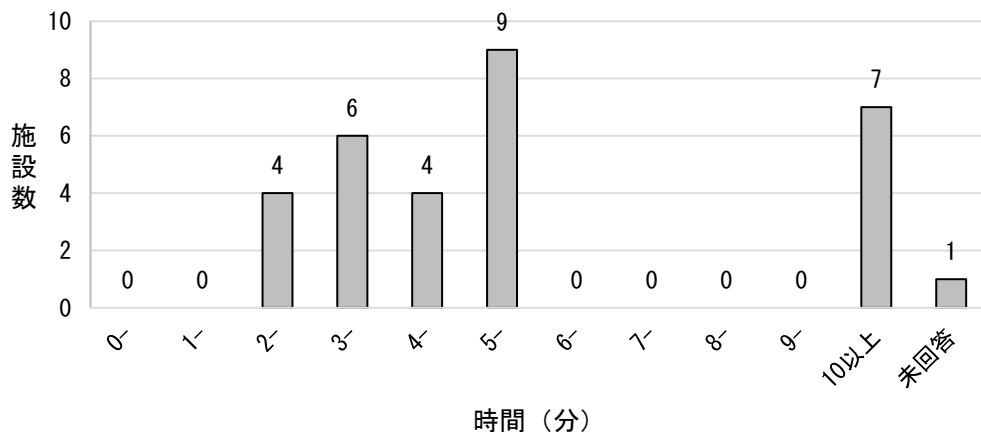


図7-4 一人当たりの「口腔ケア」にかけたいと思っている時間 (単位:分)

8. 利用者の口腔ケアの実施主体

「介護職」と回答した施設が27施設で最も多く、次いで「看護職」と回答した施設が11施設であった。一方、「歯科医師」、「歯科衛生士」と回答した施設は、ともに1施設であった。なお、「その他」の内訳は、「生活支援員」が4施設、「保育士」が3施設、「協力歯科の歯科衛生士」、「介護助手」、「児童指導員」がそれぞれ1施設であった。

上位2職種は、平成27年度調査の結果と同様であった。

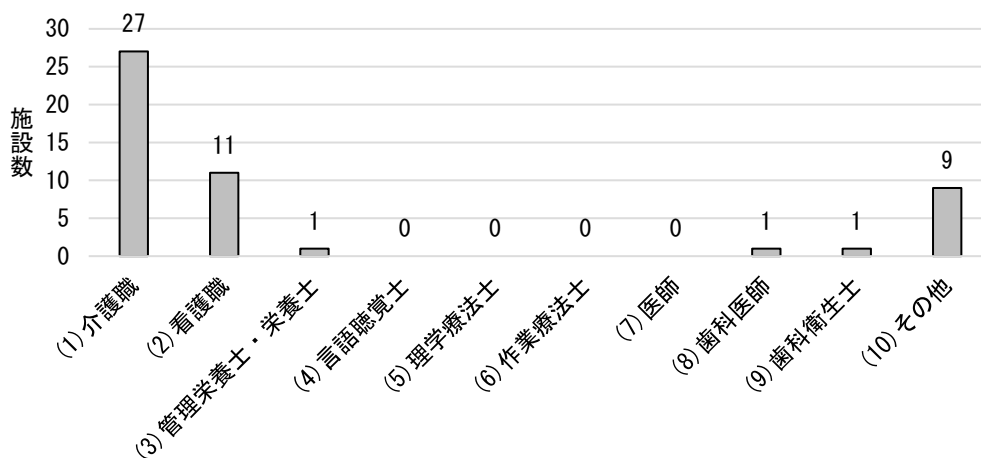


図8 利用者の口腔ケアを行っている職種 (複数回答)

## 9. 利用者の口腔の観察状況

「全員にしている」と回答した施設は3施設（9.7%）と少なかった。また、「ほとんどしていない」と回答した施設が1施設（3.2%）存在した。なお、「その他」の2施設は、「可能な場合は口腔ケア時にしている」、「介助が必要な者は全員に実施し、自立している者は訴えがあった場合のみしている」と回答した。

平成27年度調査では、「全員にしている」と回答した施設が34.5%であったのに対し、本調査では9.7%と減少した。しかし、「ほとんどしていない」と回答した施設も6.9%から3.2%へと減少した。

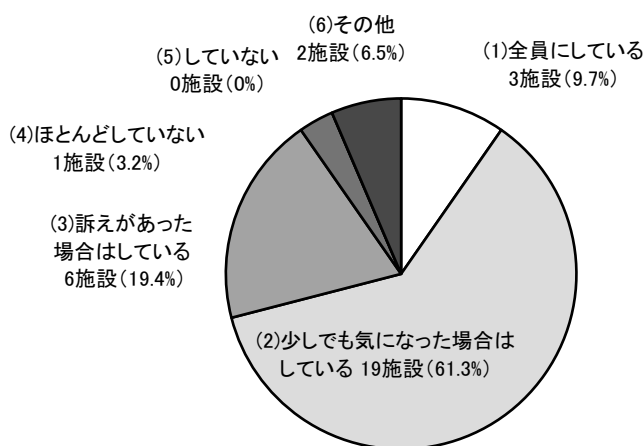


図9 利用者の口腔の観察をしているかどうかの内訳

## 10. 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況

### 1) 職員対象の口腔ケアに関する研修会の開催状況

職員対象の口腔ケアに関する研修会を「定期的で開催」していると回答した施設は1施設（3.2%）のみであった。一方、「行っていない」と回答した施設が22施設（71.0%）と約7割を占めることも明らかになった。

平成27年度調査と比較して、比率の相違はほとんど認められなかった。

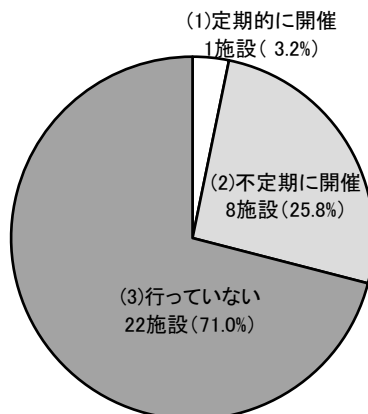


図10-1 職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催しているかどうかの内訳

## 2) 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由

(図10-1の(3)に該当した施設を対象)

職員対象の口腔ケアに関する研修会を「行っていない」と回答した22施設のうち、その理由として「時間が足りない」と回答した施設は8施設(36.4%)、「人手不足」としたのは6施設(27.3%)であった。なお、「その他」には、「情報が不十分」、「機会がない」、「年1回の歯科健診や、定期通院での指導で十分と考えている」、「委員会を立ち上げている途中のため」、「緊急性からみて、今は特に行う予定はない」、「個々に応じたケア方法等を検診時等に歯科医師等に、直接指導をもらっているため」、「前例がないため」、「必要とは考えているが、外部の講師としてどなたにアプローチしていいか不明」があげられた。

平成27年度調査と比較して、比率の相違はほとんど認められなかった。

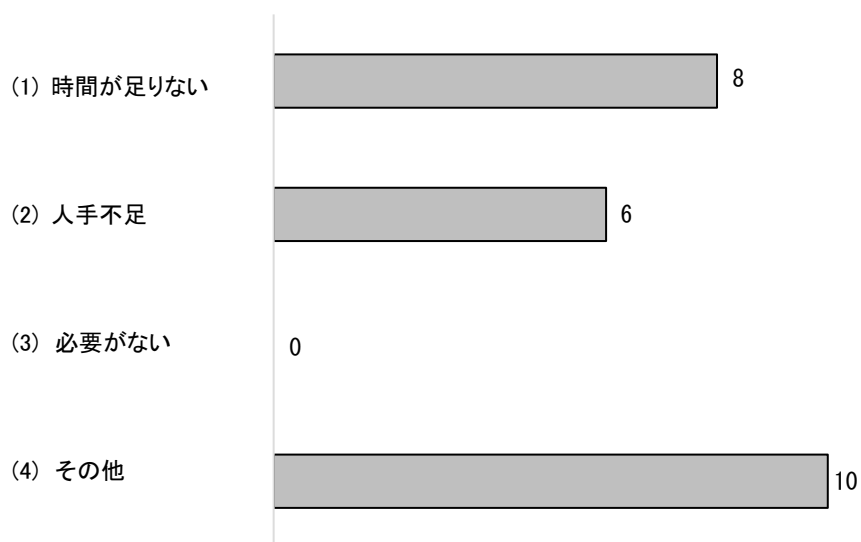


図10-2 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由(複数回答あり)

## 11. 利用者やその家族への口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防啓発状況

1 施設では口腔ケアとフッ化物（フッ素）によるむし歯予防啓発の両方を実施しており、2 施設では口腔ケアについてのみ啓発しているという回答であった。残りの 28 施設はいずれも行っていないという回答であった。

平成 27 年度調査と比較して、各項目の回答割合は同様の傾向を示した。

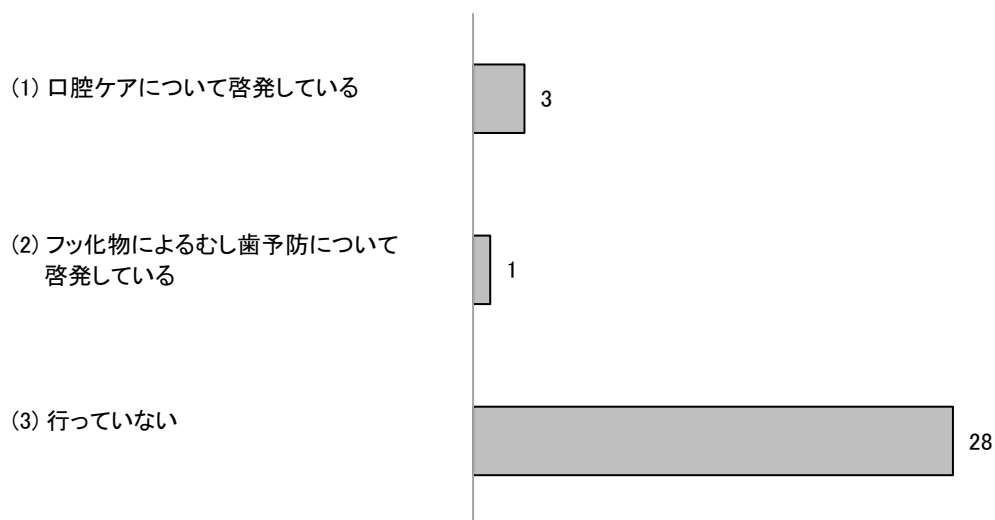


図 11 利用者やその家族に口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防について啓発活動をしているかどうか（複数回答）

## 12. 具体的な口腔ケアについて

(図 11 の(1)に該当した施設を対象)

「舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔保持の方法やその重要性について」, 「歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れた啓発」と回答した施設がともに 2 施設 (66.7%), 「義歯 (入れ歯) の手入れの方法やその重要性について」と回答した施設が 1 施設 (33.3%) であった。

平成 27 年度調査と比較して, 「義歯 (入れ歯) の手入れやその重要性について」と答えた施設の割合が減少した。

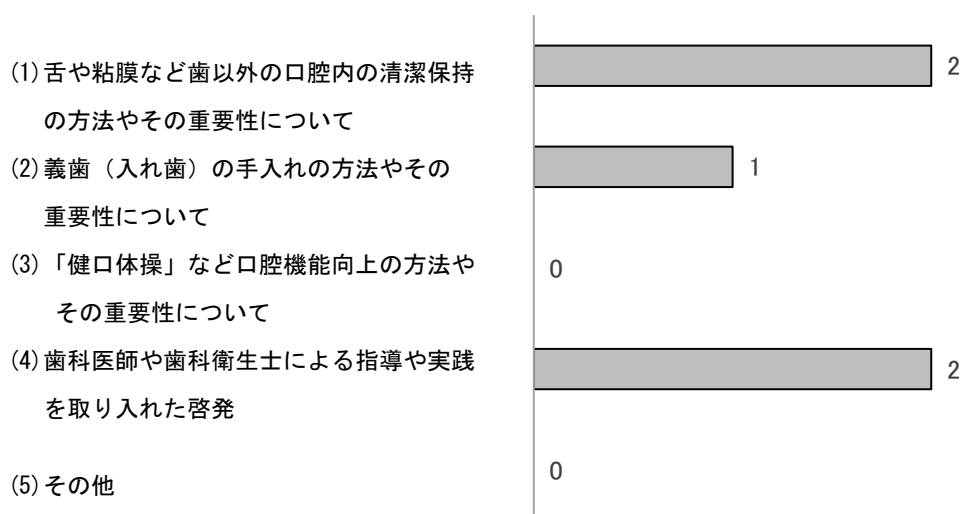


図 12 具体的な口腔ケア (口腔機能向上の取り組みを含む) の内容について (複数回答)

### Ⅲ まとめ、考察

#### 1. 口腔管理の現状

##### 1) 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査

83.9%にあたる施設で、年1回以上、協力歯科医等による歯科健康診査を実施しており、主に施設内で実施している現状であった。一方、定期的な歯科健康診査を全く実施していない施設が16.1%存在した。施設関係者に対する定期的な歯科健康診査の重要性を一層啓発していく必要がある。

##### 2) フッ化物（フッ素）を用いたう蝕予防

調査を行った施設のうち、フッ化物（フッ素）を用いたう蝕予防を実施していると回答した施設はわずかに25.8%であり、フッ化物（フッ素）がう蝕予防に有効と回答した施設は61.3%であった。フッ化物（フッ素）の応用を推進するためにも、施設関係者へう蝕予防の効果を一層周知していく必要がある。

##### 3) 口腔ケアの実施状況

全ての調査施設において利用者の口腔ケアが実施されているが、現在行っている口腔ケアで十分だと少しでも思うと回答した施設は32.3%であった。更に、利用者全員の口腔を観察している施設は9.7%と少なく、十分な口腔内観察を行わず口腔ケアを実施している施設が多いことが明らかになった。口腔管理のために強化したい活動として、「職員による歯磨き指導や介助」が最も多く、次いで「歯科専門職との連携による口腔ケア」、「定期的な歯科健診」であった。

現在口腔ケアを行っている職種は介護職が最も多く、次いで看護職であった。また、口腔ケアの1人当たりの平均時間は現状の3.2分に対して、口腔ケアにかけたい平均時間は5.3分であり、2.1分の差が認められた。以上のことから、口腔内観察の重要性を含めた研修会の開催や歯科専門職による指導、歯科医療機関との連携強化も望まれる。

#### 2. 職員対象の口腔ケア研修会と利用者やその家族への啓発活動の現状

調査を行った施設のうち、71.0%の施設は口腔ケア研修会を行っておらず、その理由は「時間が足りない」(36.4%)および「人手不足」(27.4%)等の回答だった。

また、口腔ケアに関する利用者やその家族への啓発活動は90.3%の施設で実施していない現状が明らかとなった。実施している施設では、3施設が口腔ケアについて、1施設がフッ化物によるむし歯予防について啓発しているという回答であった。

### 3. 総括

平成 27 年度調査と比較して、一人当たりの口腔ケアに 10 分以上時間をかけたいと思っている施設の割合は増加したものの、実際には 8 割弱が 5 分未満であり、理想と現実乖離があるという実情がうかがえた。さらに、利用者全員に口腔の観察を実施していると回答した施設は大きく減少していることから、口腔観察をすることの重要性や効果的な口腔ケアの手法についての普及啓発を行い、歯科疾患の予防を図ることが求められる。

また、障害者施設利用者の口腔管理を一層推進するためにも、定期的な歯科健康診査の重要性およびフッ化物によるう蝕予防の効果を施設職員に周知することと併せて、利用者家族への啓発活動を実施する必要がある。



#### IV 資料

##### 1. 調査票

###### 高知県 障害者の歯と口の健康づくりに関する施設調査

施設名			
記入(担当)者 氏名		電話番号	— —

該当する番号に○をつけてください。また、( ) に該当事項を記入してください。

1. 貴施設にて主として支援している施設利用者の障害について教えてください。

- (1) 知的障害            (2) 身体障害            (3) 精神障害            (4) 難病

2. 施設の定員について教えてください。

入所定員 (                      名)

下記の質問は、貴施設利用者に対する歯や口腔の管理に関する状況についてお答えください。

3-1. 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査(年1回以上)を実施していますか。

- (1) 全員に実施している            (2) 一部に実施している            (3) 実施していない

⇒3-1の(1)、(2)に該当した施設にお尋ねします。

3-2. 歯科健康診査はどのような場所で実施していますか

- (1) 歯科診療所で実施            (2) 施設内で実施            (3) その他 (                                      )

4. フッ化物塗布など、フッ化物(フッ素)を用いたむし歯予防を実施していますか。

- (1) 実施している            (2) 実施していない

5. フッ化物(フッ素)は、むし歯予防に有効だと思いますか。

- (1) 思う            (2) 思わない            (3) わからない

6. 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動をお答えください。  
(複数回答可)

- (1) 職員による歯磨き指導や介助  
(2) フッ化物(フッ素)を用いたむし歯予防  
(3) 歯科専門職との連携による口腔ケア  
(4) 口腔機能向上の取り組み  
(5) 定期的な歯科健診  
(6) 協力歯科医との強化  
(7) 職員の口腔ケア研修会の開催  
(8) 利用者やその家族に口腔ケアの重要性について啓発する  
(9) 歯科衛生士などの専門職の採用  
(10) その他 (                                      )

アンケートは裏面にも続きます。最後までお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

7-1. 利用者の口腔ケアを行っていますか。

- (1) はい (2) いいえ

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-2. 貴施設で現在行っている「口腔ケア」で十分だと思いますか？

- (1) 思う (2) 少し思う (3) 思わない

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-3. 貴施設では、現在一人当たりに「口腔ケア」にどのくらいの時間をかけていますか？

約 ( ) 分

⇒7-1で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。

7-4. 貴施設では、一人当たりの「口腔ケア」に、どのくらいの時間をかけたいと思いますか？

約 ( ) 分

8. 利用者の口腔ケアを行うのは誰ですか。(見守り介助を含む)(複数回答可)

- (1) 介護職 (2) 看護職 (3) 管理栄養士・栄養士 (4) 言語聴覚士  
(5) 理学療法士 (6) 作業療法士 (7) 医師 (8) 歯科医師 (9) 歯科衛生士  
(10) その他 ( )

9. 利用者の口腔の観察をしていますか。

- (1) 全員にしている (2) 少しでも気になった場合はしている  
(3) 訴えがあった場合はしている (4) ほとんどしていない  
(5) していない

10-1. 貴施設において職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催していますか。

- (1) 定期的に開催 (2) 不定期に開催 (3) 行っていない

⇒10-1で(3)行っていないと回答された施設にお尋ねします。

10-2. その理由をお答えください。

- (1) 時間が足りない (2) 人手不足 (3) 必要がない (4) その他 ( )

11. 利用者やその家族に、口腔ケアやフッ化物(フッ素)によるむし歯予防について啓発活動をしていますか。

(複数回答可)

- (1) 口腔ケアについて啓発している (2) フッ化物によるむし歯予防について啓発している  
(3) 行っていない

12. 具体的な口腔ケア啓発内容(口腔機能向上の取組を含む)について教えてください。(複数回答可)

- (1) 舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔保持の方法やその重要性について  
(2) 義歯(入れ歯)の手入れの方法やその重要性について  
(3) 「健口体操」など口腔機能維持向上の方法やその重要性について  
(4) 歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れた啓発  
(5) その他 ( )

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

## 2. 集計結果表

表1 主として支援している施設利用者の障害について（複数回答）

施設利用者の障害の内訳	施設数
(1)知的障害	27
(2)身体障害	10
(3)精神障害	6
(4)難病	5
総数	48

表2 有効回答のあった31施設の施設定員の内訳

定員	施設数
0-19	3
20-39	4
40-59	15
60-79	4
80-99	3
100-119	0
120-	2
総数	31

表3-1 協力歯科医等による定期的な歯科健康診査（年1回以上）実施の有無

質問項目	回答数
(1)全員に実施している	18
(2)一部に実施している	8
(3)実施していない	5
総数	31

表3-2 定期的な歯科健康診査の実施場所（複数回答）

質問項目	回答数
(1) 歯科診療所で実施	8
(2) 施設内で実施	21
(3) その他	0
総数	29

表4 フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防の実施の有無

質問項目	回答数
(1) 実施している	8
(2) 実施していない	23
総数	31

表5 フッ化物（フッ素）がむし歯予防に有効だと思うかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1) 思う	19
(2) 思わない	0
(3) わからない	12
総数	31

表6 利用者の歯や口腔の健康管理のために「今後強化したい」または「取り入れたい」活動（複数回答）

質問項目	回答数
(1) 職員による歯磨き指導や介助	21
(2) フッ化物（フッ素）を用いたむし歯予防	5
(3) 歯科専門職との連携による口腔ケア	15
(4) 口腔機能向上の取り組み	11
(5) 定期的な歯科健診	13
(6) 協力歯科医との強化	9
(7) 職員の口腔ケア研修会の開催	12
(8) 利用者やその家族に口腔ケアの重要性について啓発する	7
(9) 歯科衛生士などの専門職の採用	1
(10) その他	2
総数	96

表 7-1 利用者の口腔ケアを行っているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)はい	31
(2)いいえ	0
総数	31

表 7-2 現在行っている「口腔ケア」で十分だと思うかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)思う	0
(2)少し思う	10
(3)思わない	21
総数	31

表 7-3 現在一人当たりの「口腔ケア」にかけている時間

口腔ケアにかけている時間	施設数
0分以上1分未満	0
1分以上2分未満	7
2分以上3分未満	11
3分以上4分未満	3
4分以上5分未満	3
5分以上6分未満	5
6分以上7分未満	0
7分以上8分未満	0
8分以上9分未満	0
9分以上10分未満	0
10分以上11分未満	2
総数	31

表7-4 一人当たりの「口腔ケア」にかけたいと思っている時間

口腔ケアに かけたい時間	施設数
0分以上1分未満	0
1分以上2分未満	0
2分以上3分未満	4
3分以上4分未満	6
4分以上5分未満	4
5分以上6分未満	9
6分以上7分未満	0
7分以上8分未満	0
8分以上9分未満	0
9分以上10分未満	0
10分以上11分未満	7
未回答	1
総数	31

表8 利用者の口腔ケアを行っている職種（複数回答）

質問項目	回答数
(1)介護職	27
(2)看護職	11
(3)管理栄養士・栄養士	1
(4)言語聴覚士	0
(5)理学療法士	0
(6)作業療法士	0
(7)医師	0
(8)歯科医師	1
(9)歯科衛生士	1
(10)その他	9
総数	50

表 9 利用者の口腔の観察をしているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)全員にしている	3
(2)少しでも気になった場合はしている	19
(3)訴えがあった場合はしている	6
(4)ほとんどしていない	1
(5)していない	0
(6)その他	2
総数	31

表 10-1 職員対象の口腔ケアに関する研修会を開催しているかどうかの内訳

質問項目	回答数
(1)定期的に開催	1
(2)不定期に開催	8
(3)行っていない	22
総数	31

表 10-2 職員対象の口腔ケアに関する研修会を行っていない理由

質問項目	回答数
(1)時間が足りない	8
(2)人手不足	6
(3)必要がない	0
(4)その他	10
総数	24

表 11 利用者やその家族に口腔ケアやフッ化物（フッ素）によるむし歯予防について啓発活動をしているかどうか（複数回答）

質問項目	回答数
(1)口腔ケアについて啓発している	3
(2)フッ化物によるむし歯予防について啓発している	1
(3)行っていない	28
総数	32

表 12 具体的な口腔ケア（口腔機能向上の取り組みを含む）の内容について  
（複数回答）

質問項目	回答数
(1) 舌や粘膜など歯以外の口腔内の清潔保持の方法やその重要性について	2
(2) 義歯（入れ歯）の手入れに方法やその重要性について	1
(3) 「健口体操」など口腔機能維持向上の方法やその重要性について	0
(4) 歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れた啓発	2
(5) その他	0
総数	5





## 目次

<b>I 調査の概要</b>	101
1. 調査の目的	101
2. 調査方法	101
3. 調査対象	101
4. 調査実施期間	101
5. 調査主体	101
6. 診査基準	101
7. 結果の集計	103
<b>II 調査結果の詳細</b>	104
<b>II-1 質問調査</b>	104
1. 調査対象者の属性	104
1) 対象者数と性・年齢	104
2) 対象者の BMI	105
2. 咀嚼状況	106
3. 口腔衛生習慣	107
1) 1日における歯磨き回数	107
2) 清掃補助用具の使用状況	108
4. 口腔内に対する自覚症状	109
1) 歯みがき時の出血の有無	109
2) 歯ぐきの状態	109
3) 自分は歯周病だと思うか	110
5. フッ化物塗布経験	111
6. 歯科医院での歯科保健指導の実施状況	112
1) 歯磨き	112
2) 歯間部清掃	113
3) フッ化物配合歯磨剤	114
4) フッ化物洗口	115
7. 歯科医院の受診状況	116
1) 歯科医院受診の間隔	116
2) 定期受診の有無	117

8. 既往歴について .....	118
9. 喫煙状況 .....	119
10. 歯科に関する知識 .....	120
1) 歯周病と糖尿病の関連性 .....	120
2) がん治療時の口腔ケアの効果 .....	121
11. 周囲の人々の歯科への健康関心度 .....	122
<b>II-2 歯科健康診査</b> .....	123
1. 調査対象者の属性 .....	123
2. 歯の状況（永久歯） .....	124
1) 有病状況 .....	124
2) 歯の喪失 .....	127
3. 歯肉の状況 .....	133
1) CPI（歯周ポケット）の状況 .....	133
2) CPI（歯肉出血）の状況 .....	134
3) 歯肉の炎症・進行した歯周炎の状況 .....	135
4. 歯列・咬合の状況 .....	136
5. 口腔清掃状態 .....	137
<b>III 保健行動と口腔状況との関連性</b> .....	138
1. 口腔衛生習慣 .....	138
2. フッ化物の応用 .....	138
3. 喫煙習慣 .....	139
4. 定期歯科受診 .....	139
<b>IV まとめ・考察</b> .....	140
1. 調査対象者の全身状況 .....	140
2. 歯の状況 .....	140
3. 歯肉の状況 .....	141
4. 歯科医院の受診状況 .....	141
5. 口腔衛生習慣の状況 .....	142
6. 口腔機能の状況 .....	142
7. 総括 .....	143

V 資料	144
V-1 調査票	144
V-2 集計結果表	146
① 質問調査	146
② 歯科健康診査	158
③ 保健行動と口腔状況との関連性	176



## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

「高知県歯と口の健康づくり基本計画」に基づく歯科保健医療対策を推進するため、高知県内の歯科医院へ通院している患者の歯科保健状況を把握し、今後の歯周病対策を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査方法

この調査は、高知県歯科医師会に所属する82の歯科医院の協力を得て実施した。具体的な調査方法として、各歯科医院へ調査票（別紙の資料参照）を配布し、各歯科医院にて年代、性別に偏りがないように留意のうえ、通院患者に、問診および歯科健康診査を行った。結果は高知県歯科医師会で郵送にて回収し、データ入力を実施した。

### 3. 調査対象

高知県内の歯科医院通院中の患者1,577名のうち、17歳未満の者および年齢または性別の不明な76名を除いた1,501名を調査対象とした。

### 4. 調査実施期間

令和2年6月～令和2年10月までの5か月間

### 5. 調査主体

高知県健康政策部健康長寿政策課、高知県歯科医師会

### 6. 診査基準

本調査は、次に掲げる基準に従って診査する（診査票に示す内容に従って記載する）。なお、集計において智歯は歯数に含めない。

#### 1) 現在歯

(1) 現在歯は、(i) 健全歯 (ii) 未処置歯 (iii) 処置歯の3種に分類する。現在歯とは、歯の全部または一部が口腔に現れているものをいう。

(2) 過剰歯はこれに含めないこととし、癒合歯は1歯として取り扱う。

#### (i) 健全歯

◆健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないもの（下記に記す未処置歯および処置歯の項に該当しないもの）をいう。

◆咬耗、摩耗、着色、外傷、酸蝕症、発育不全、歯周炎、形態異常、エナメル質形成不全等の歯であっても、それらにう蝕のないものは健全歯とする。

(注) 歯質の変化がなく、単に小窩裂溝が黒褐色に着色しているもの、平滑面で表面に淡褐色の着色を認めるが歯質は透明で滑沢なもの、エナメル質形成不全と考えられるも

のなどは、すべて健全歯とする。

◆予防充填（フィッシャー・シーラント）は健全歯に含める。

(ii) 未処置歯

◆フッ化ジアンミン銀（サホライド）のみを塗布したと考えられる歯は未処置歯とする。

◆歯冠部のう蝕については、明らかなう窩、脱灰・浸食されたエナメル質、軟化底、軟化壁が探知できる小窩裂溝、平滑面の病変をう蝕とする。また、根面部のう蝕については、病変部にソフト感あるいはざらついた感じがあれば未処置歯とする。

◆治療が完了していない歯、2次う蝕や他の歯面で未処置歯う蝕が認められた処置歯は未処置歯として取り扱う。

(iii) 処置歯

◆処置歯とは歯の一部または全部に充填、クラウン等を施しているものをいう。

◆根面板は処置歯とする。

ア. 充填歯

セメント充填、レジン充填、アマルガム充填、ポーセレンインレー、合金（インレー、アンレーおよび3/4冠を含む）等により、充填または一部歯冠修復しているものはこれに含める。ブリッジの支台歯であっても、一部修復しているものはこれに含める。

イ. クラウン

全部鑄造冠、陶材焼付鑄造冠、レジン前装鑄造冠、ジャケットクラウン等、歯冠のすべてを修復しているものをいい、ブリッジの支台歯であってもこれに含める。

## 2) 喪失歯

抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。ただし、智歯は含めない。

(注)・受診者の年齢を考慮する。

・インプラントは喪失歯とする。

## 3) 歯肉の状況

永久歯列について、各歯（67┐, 1┐, ┐67, 76┑, ┑1, ┑67）の歯肉の状況（20歳未満の場合、第2大臼歯を除外）をWHOのCPI（Community Periodontal Index 2013, 地域歯周疾患指数）により、WHOプローブを用いて、上顎、下顎とも頬・唇側面（近・遠心）および舌側面（近・遠心）の4点について以下の基準で診査する。ただし、同顎、同側の第1、第2大臼歯については、両歯の最高点を記入する。

### (1) 歯周ポケット

0：歯周ポケット（4mm以上）は認められない

1：ポケットの深さが4mm以上6mm未満

2：ポケットの深さが6mm以上

9：除外歯

## (2) 歯肉出血

0：歯肉に炎症の所見が認められない

1：プロービング後 10～30 秒以内に出血が認められる

9：除外歯

### (注)

◆対象中切歯の欠損により診査が不能な際は、反対側同名歯を診査する。両側とも欠損している場合、あるいは臼歯部で2歯とも対象歯が欠損している場合には、検査対象外として「×」を該当する代表歯の欄に記入する。

◆プロービングは、WHO プローブ先端の球を歯の表面に沿って滑らせる程度の軽い力（20g）で操作し、遠心の接触点直下から、やさしく上下に動かしながら近心接触点直下まで移動させる。

## 4) 歯列・咬合の状況

歯列不正または不正咬合が認められる場合は所見あり、認められない場合は所見なしと記載する。

## 5) 口腔清掃状態

噛み合わせた状態で前歯部の歯垢の付着状態を診査する。

ほとんどなし→良好

1 / 3 以下→普通

1 / 3 以上→不良

## 7. 結果の集計

結果の集計は、高知県健康政策部健康長寿政策課の委託を受け、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野が行った。



## Ⅱ 調査結果の詳細

### Ⅱ－１ 質問調査

#### 1. 調査対象者の属性

##### 1) 対象者数と性・年齢

年齢階級および性別にて区分した質問調査の対象者(1,501名)の属性を表1に示す。  
全体として女性が全体の57.7%を占める。

表1 対象者と性・年齢(質問調査)

被調査者数(人)		
総数	性別	
	男	女
115	47	68
64	27	37
81	31	50
109	49	60
109	44	65
143	67	76
111	49	62
98	32	66
100	46	54
143	59	84
174	82	92
120	50	70
83	36	47
51	16	35
1,501	635 (42.3%)	866 (57.7%)

2) 対象者のBMI

表2 BMI区分

BMI区分	度数
やせ	18.5未満
標準	18.5-25.0未満
肥満	25.0以上

調査対象者を表2のようにBMIにて区分した。図1に示す分布から、やせの者は、60-64歳を除いて女性に多く認められ、女性全体では12.5%であった。一方、肥満の者は、80-84歳を除いて男性に多く認められ、男性全体では28.6%であった。

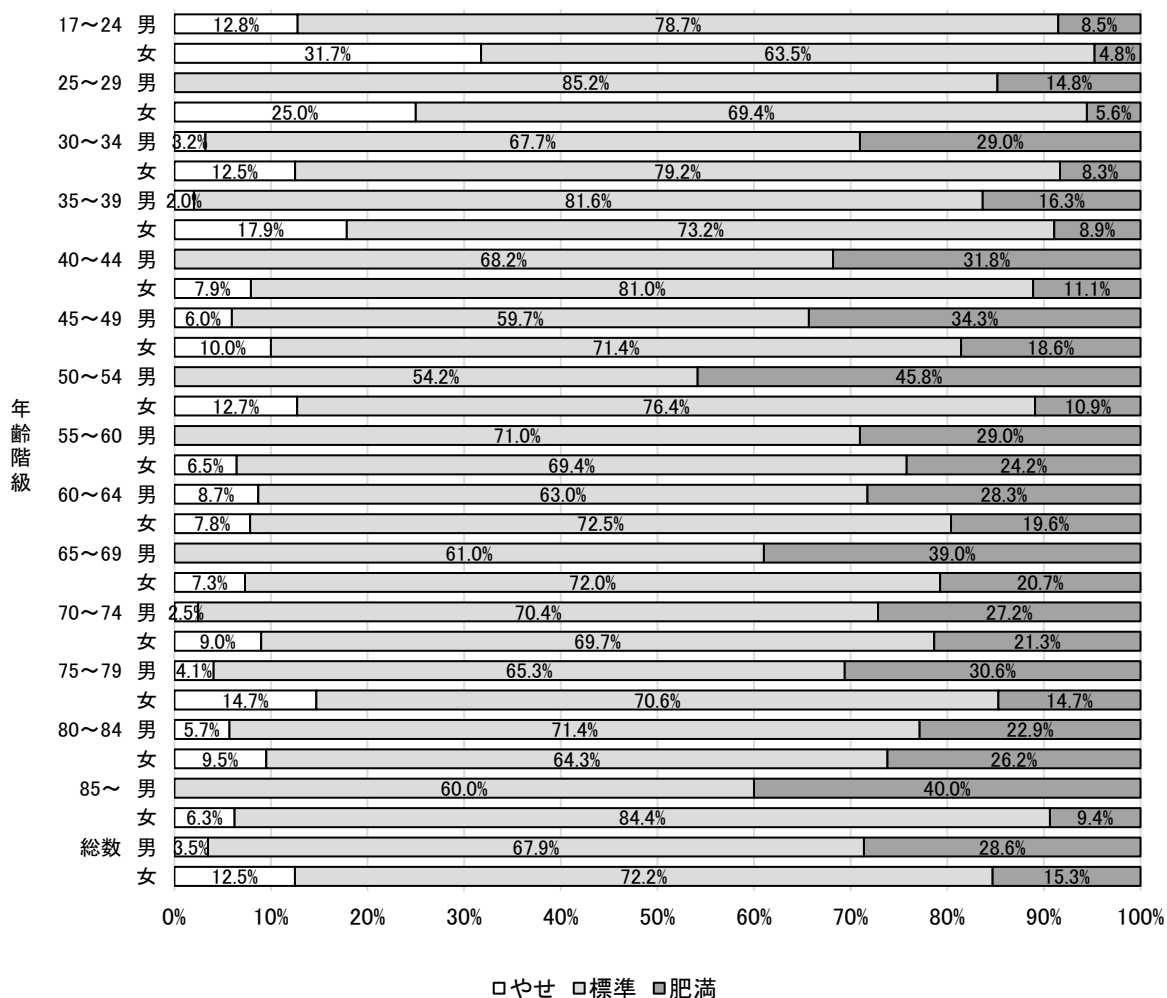


図1 年齢階級・性別のBMIの状況

## 2. 咀嚼状況

「何でも噛んで食べられる」と回答した者の割合は、年齢が上がるにつれて減少する傾向がみられ、60～64歳で68.0%、65～69歳では63.6%であった。両者を統合した60歳代では65.4%であり、健康日本21（第2次）の“60歳代における咀嚼良好者”のベースライン値である86.7%（平成23年）および平成27年度調査の68.8%を下回った。

また、令和元年国民健康・栄養調査の結果と比較すると、「何でも噛んで食べられる」と回答した者の割合は、40歳代から60歳代の年代で全国値を下回っている。平成27年度調査では85歳以上で「何でも噛んで食べられる」と回答した者の割合が67.6%であったのに対し、今回の調査では52.1%と15.5%の減少が認められる。

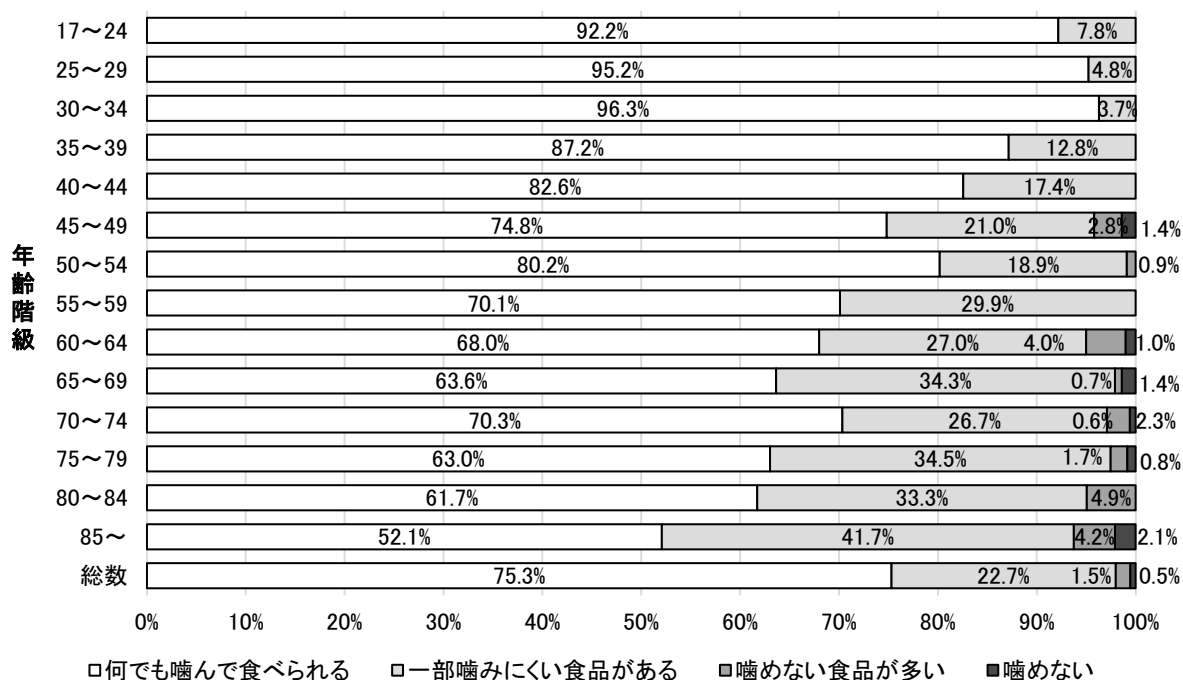


図2 何でも噛んで食べられる者の割合

### 3. 口腔衛生習慣

#### 1) 1日における歯磨き回数

1日に2回以上歯をみがく者の割合は全体の88.7%であった。全ての年代で、8割以上が「1日に2回」または「3回以上」歯をみがいているという回答であったが、25-29歳、75-79歳、80-84歳および85歳以上で、「みがかない」と回答した者が存在した。

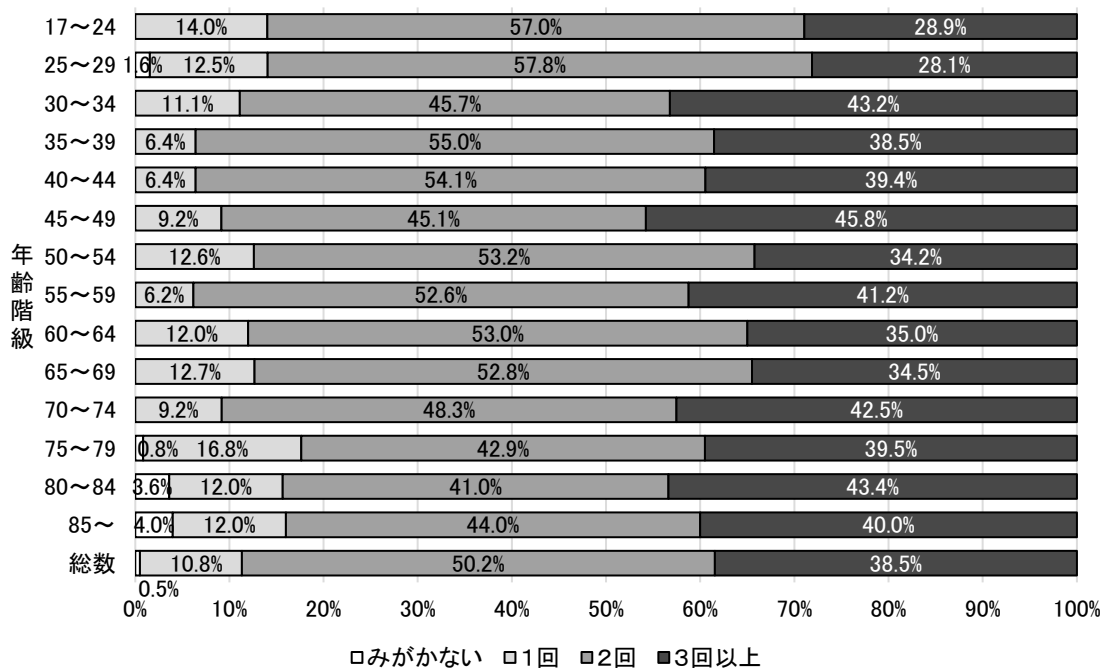


図3-1 1日における歯みがき回数

## 2) 清掃補助用具の使用状況

デンタルフロス（糸ようじ）や歯間ブラシなどの歯間補助清掃用具を「ほぼ毎日使っている」と回答した者の割合は、70歳代まで、年齢があがるにつれて増加する傾向にあった。17-24歳では「使っていない」と回答した者の割合が72.2%と他の年代と比較して高く、若年層に対して歯間清掃用具の使用を啓発する必要がある。

平成27年度調査では「使っていない」と回答した者の割合が41.8%であったのに対し、今回の調査では35.6%と減少が認められる。

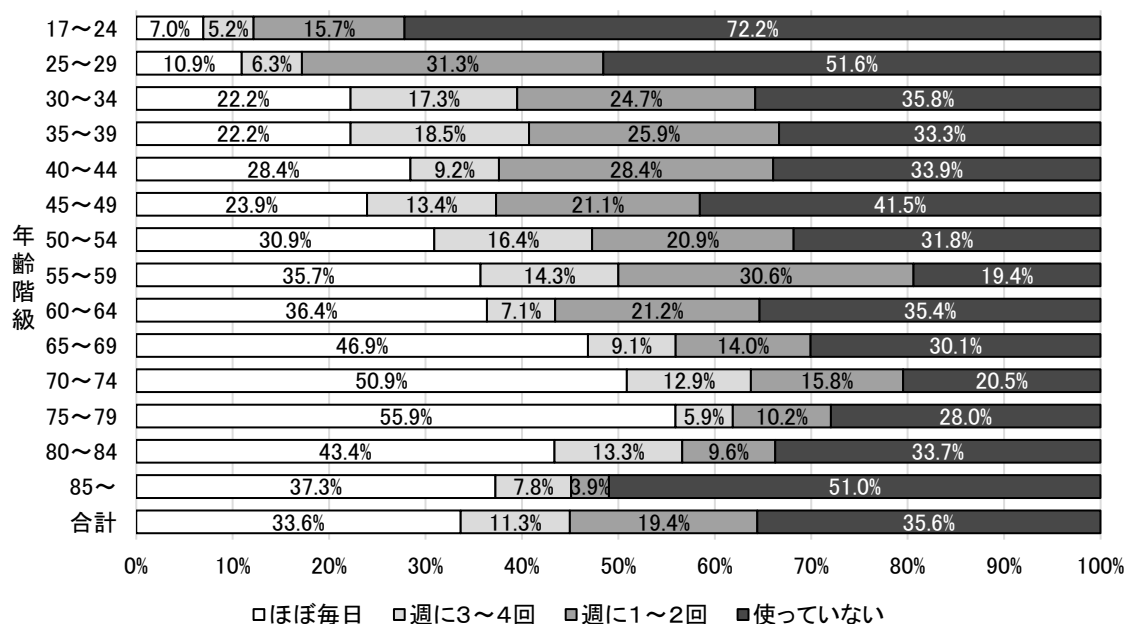


図3-2 清掃補助用具の使用状況

#### 4. 口腔内に対する自覚症状

##### 1) 歯みがき時の出血の有無

「歯をみがくと血が出ますか」の質問に該当する者の割合は、全体の 27.3%であった。  
25-64 歳では 30%を超えており、25-29 歳で 39.1%と最も高い値を示した。

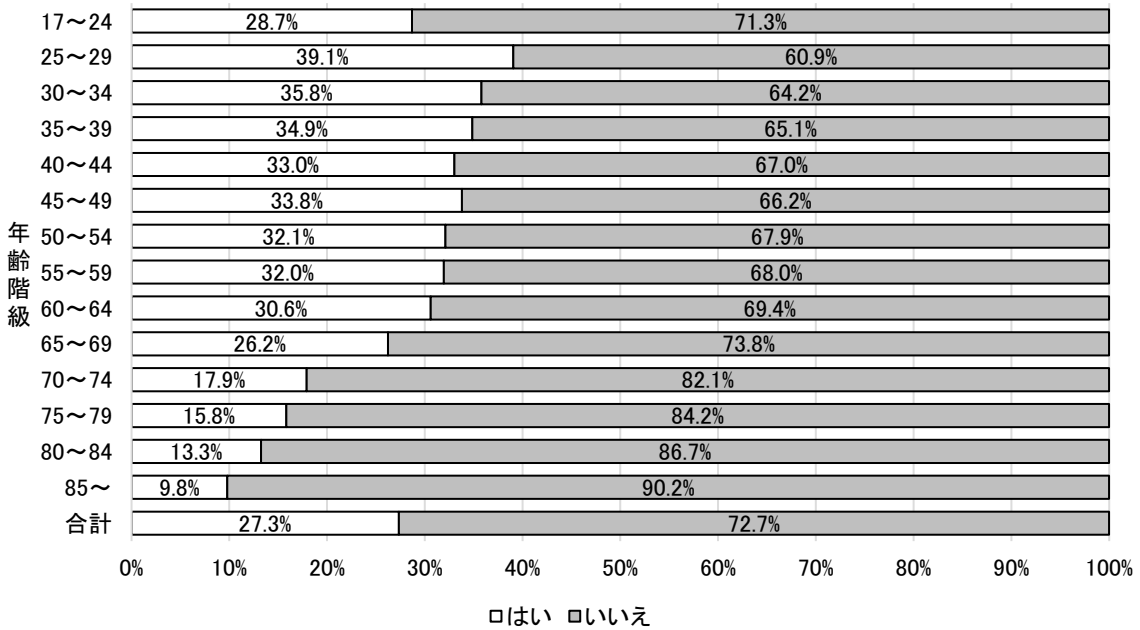


図 4 - 1 歯磨き時の出血の自覚の有無

##### 2) 歯ぐきの状態

「歯ぐきがはれてブヨブヨしますか」の質問に該当する者の割合は、全体の 15.8%であり、50-54 歳で 22.0%と最も高い値を示した。

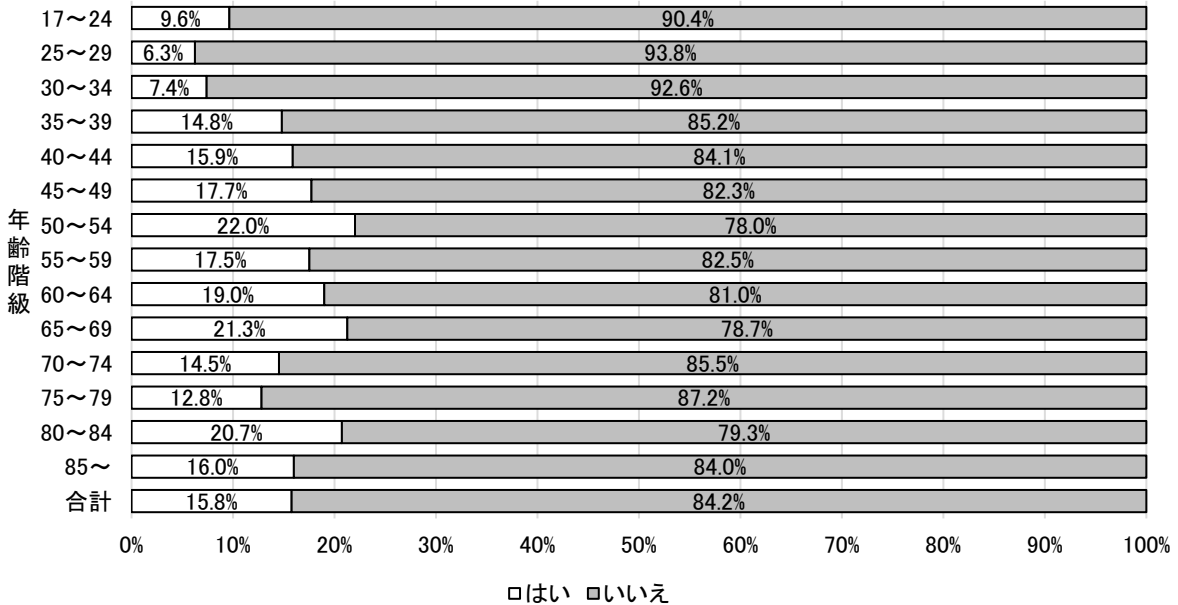


図 4 - 2 歯ぐきの腫脹の自覚の有無

3) 自分は歯周病だと思うか

「自分は歯周病だと思いますか」の質問に該当する者の割合は、全体の43.8%であった。50-74歳では、「自分が歯周病だと思う」と回答した者が半数以上を占め、60-64歳で56.1%と最も高い値を示した。

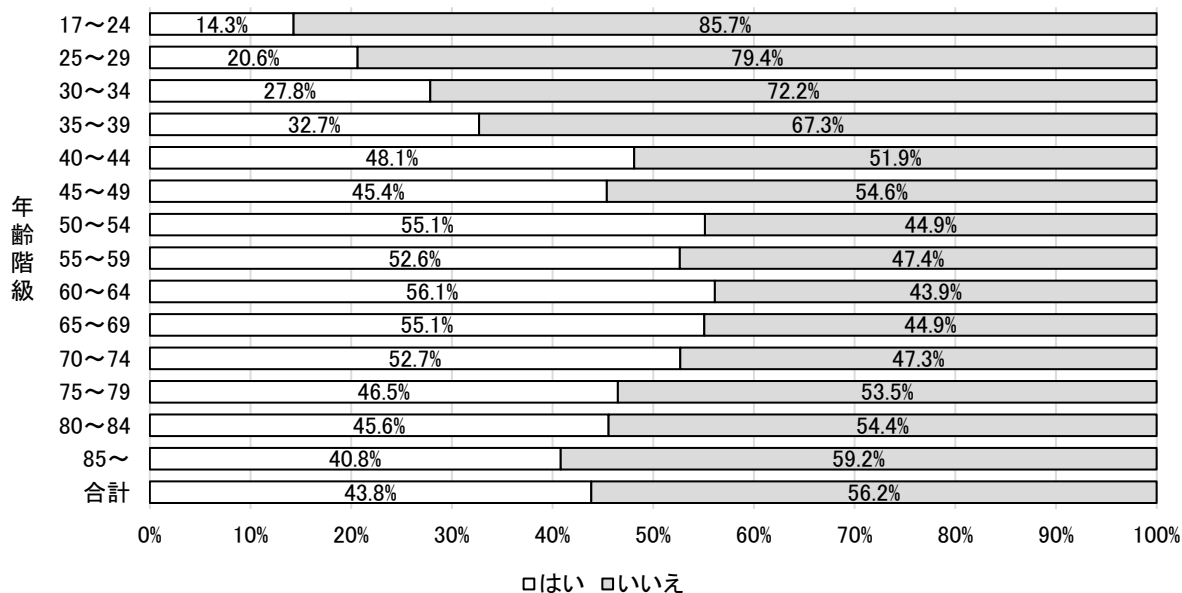


図4-3 歯周病の自覚の有無

## 5. フッ化物塗布経験

14歳までにフッ化物塗布を受けたことがある者の割合は、全体の21.5%であり、17-24歳では36.9%と最も高い値を示した。17-24歳では「わからない」と答えた者が半数以上を占め、過去にフッ化物塗布を受けていても自覚していない者が多い可能性がある。平成27年度調査と比較して、全ての年代でフッ化物塗布経験がある者の割合が増加した。

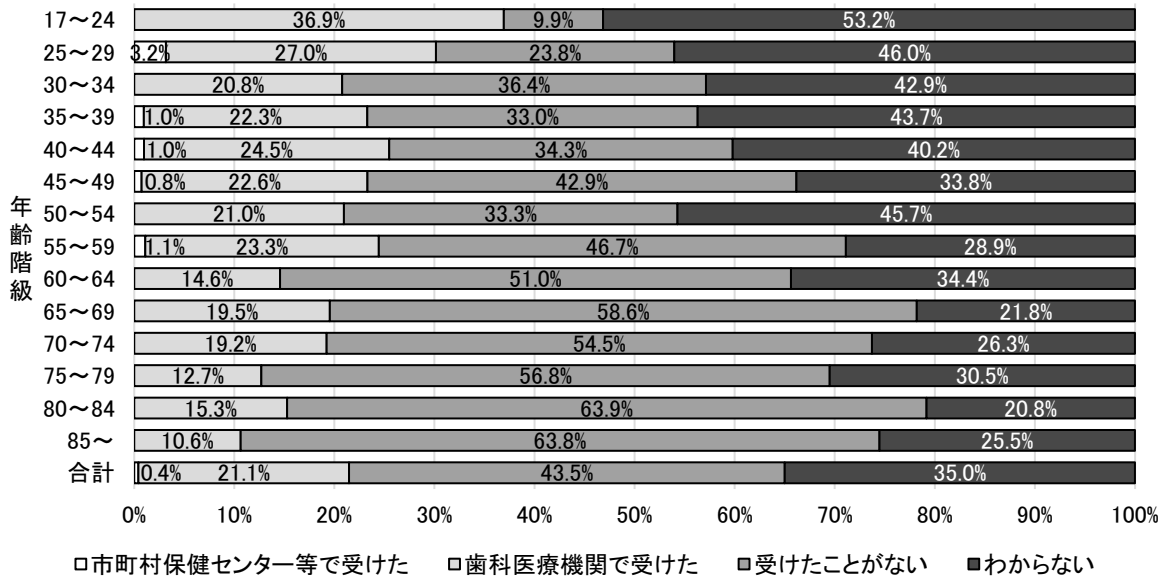


図5 フッ化物塗布経験（14歳まで）



## 6. 歯科医院での歯科保健指導の実施状況

### 1) 歯磨き

歯磨き指導を「定期的に受けている」と回答した者は全体の 26.9%であった。「受けたことがない」と回答した者の割合は 25-29 歳で 28.1%と最も高く、「受けたことがあるが不定期」と回答した者はすべての年代で 40-60%存在した。

平成 27 年度調査と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

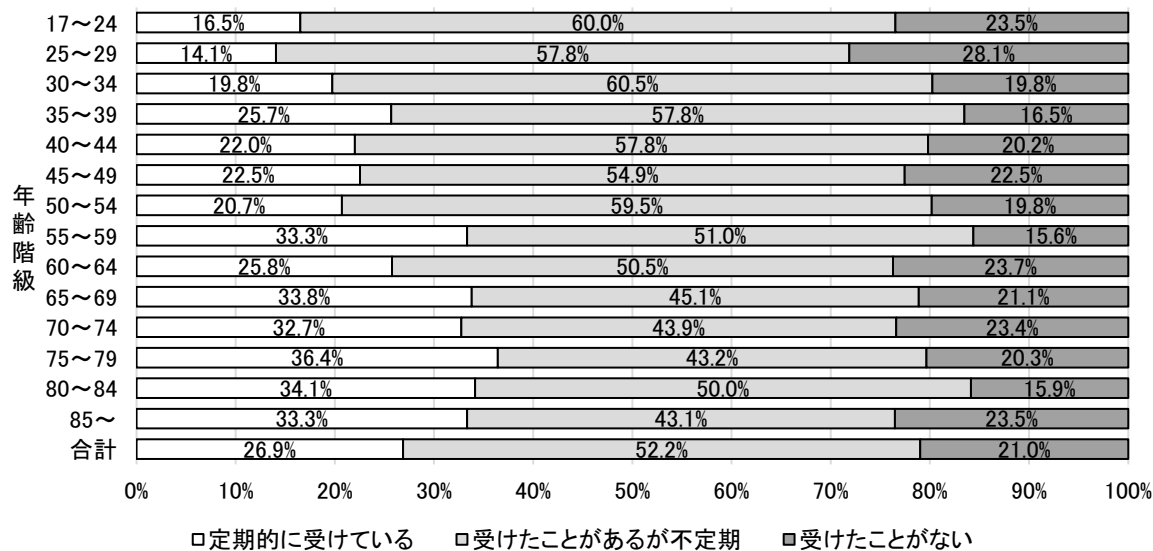


図 6-1 歯科医院での歯磨きの指導

## 2) 歯間部清掃

デンタルフロスまたは歯間ブラシの使い方に関する指導を「定期的に受けている」と回答した者の割合は全体の 19.5%であり、55-59 歳で 30.5%と最も高い値を示した。

平成 27 年度調査と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

「受けたことがない」と回答した者の割合は 17-24 歳で 49.6%、85 歳以上で 48.9%と高く、若い年齢層と高齢者層への歯間部清掃指導が不十分であることがわかった。

また、図 3-2 の清掃補助用具の使用状況と比較すると、17-24 歳で使用に関する指導を受けたことがある者の割合に比べ、補助清掃用具を実際に日々の口腔清掃時に使用している者の割合は低くなっていた。

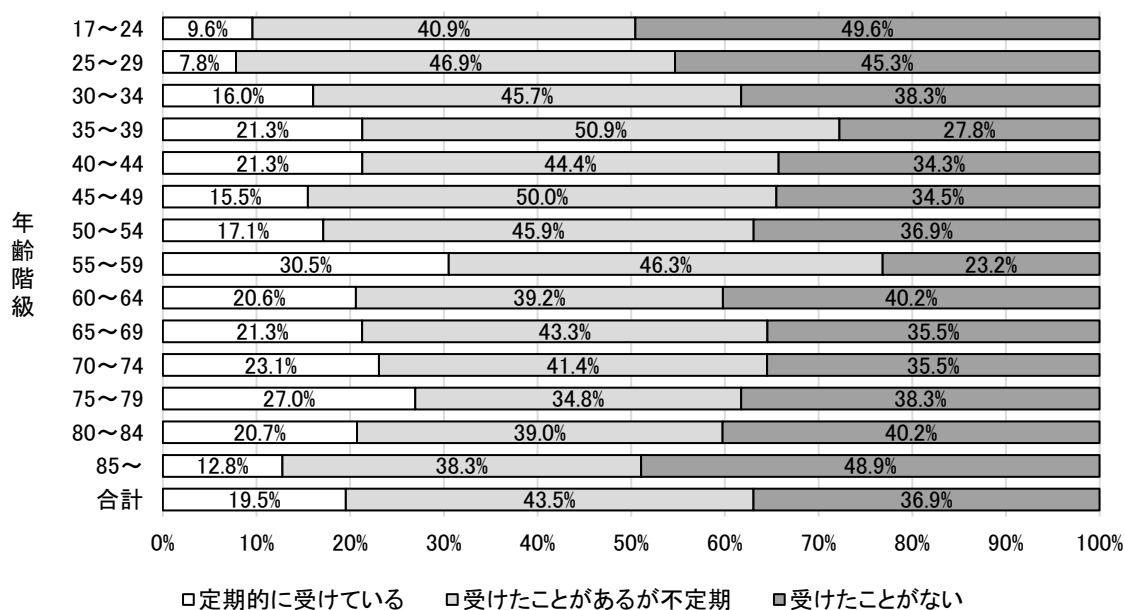


図 6-2 歯科医院での歯間部清掃用具の指導

### 3) フッ化物配合歯磨剤

フッ化物配合歯磨剤の使い方に関する指導を「定期的に受けている」と回答した者の割合は全体の19.0%であり、35-39歳で26.9%と最も高い値を示した。全ての年代で「受けたことがない」と回答した者が最も多かった。

平成27年度調査と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

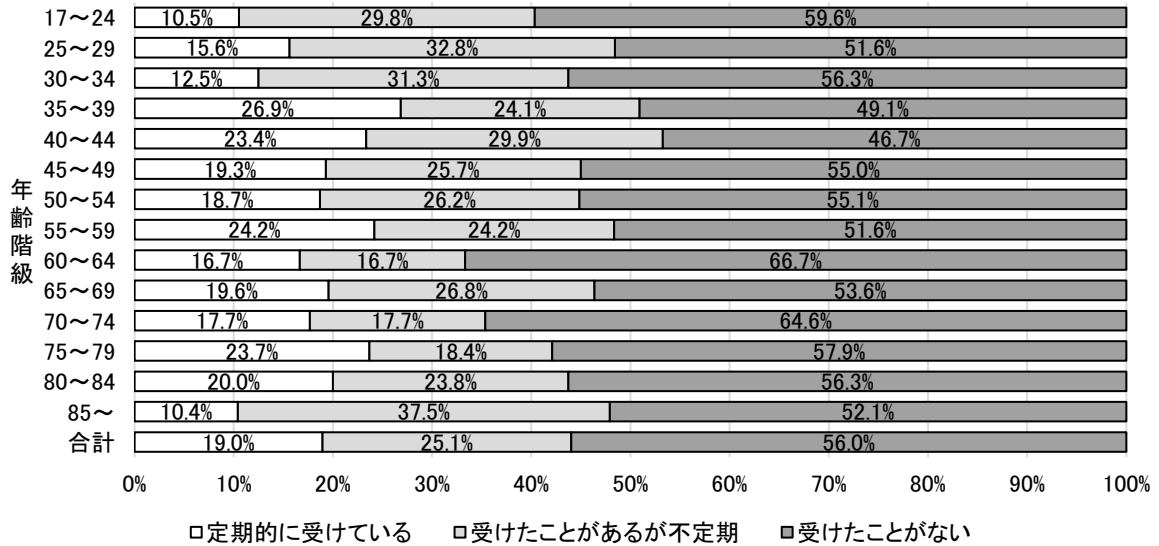


図6-3 歯科医院でのフッ化物配合歯磨剤の指導

4) フッ化物洗口

フッ化物洗口に関する指導を「定期的に受けている」と回答した者の割合は全体の9.1%であり、55-59歳で17.4%と最も高い値を示した。全ての年代で「受けたことがない」と回答した者が7割を超えており、最も多かった。

平成27年度調査と比較して、比率の相違はあまり認められなかった。

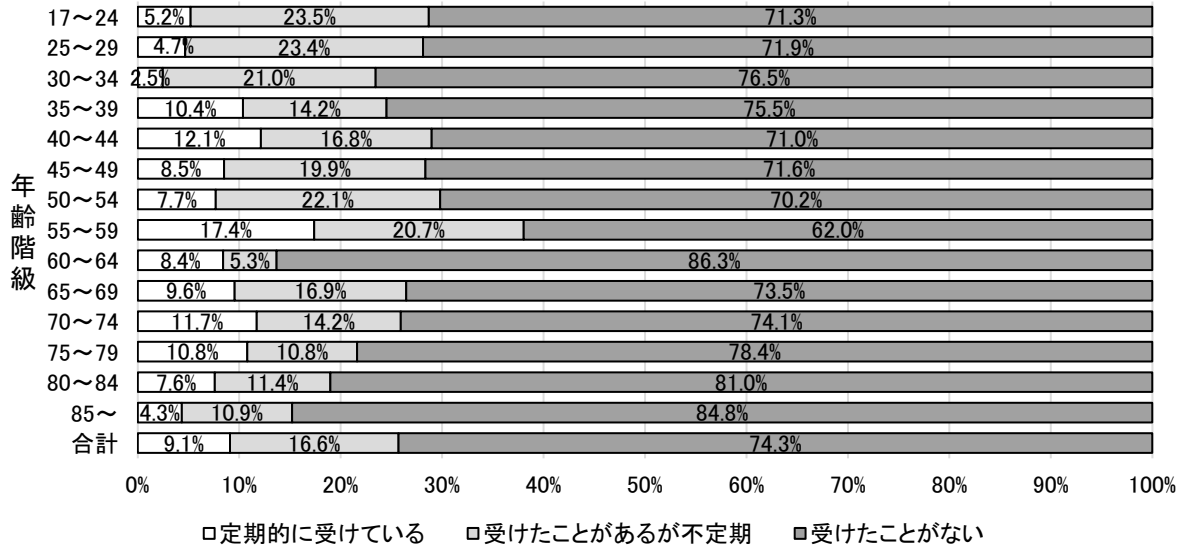


図6-4 歯科医院でのフッ化物洗口の指導

## 7. 歯科医院の受診状況

### 1) 歯科医院受診の間隔

すべての年齢層において、前回の歯科受診が「3か月以内」と回答した者の割合が最も高く、75-79歳では約7割の者が3か月に1回歯科を受診している。前回の歯科受診が1年以内に該当した者の割合は、すべての年齢層で60%を超えた。また、「2年以上前」と回答した者の割合は40-44歳で18.7%と最も高く、次いで35-39歳が16.7%であった。

平成27年度調査と比較して、「2年以上前」と回答した者の割合が5%減少した。また、85歳以上では「3か月以内」と回答した者の割合が19.6%増加した。

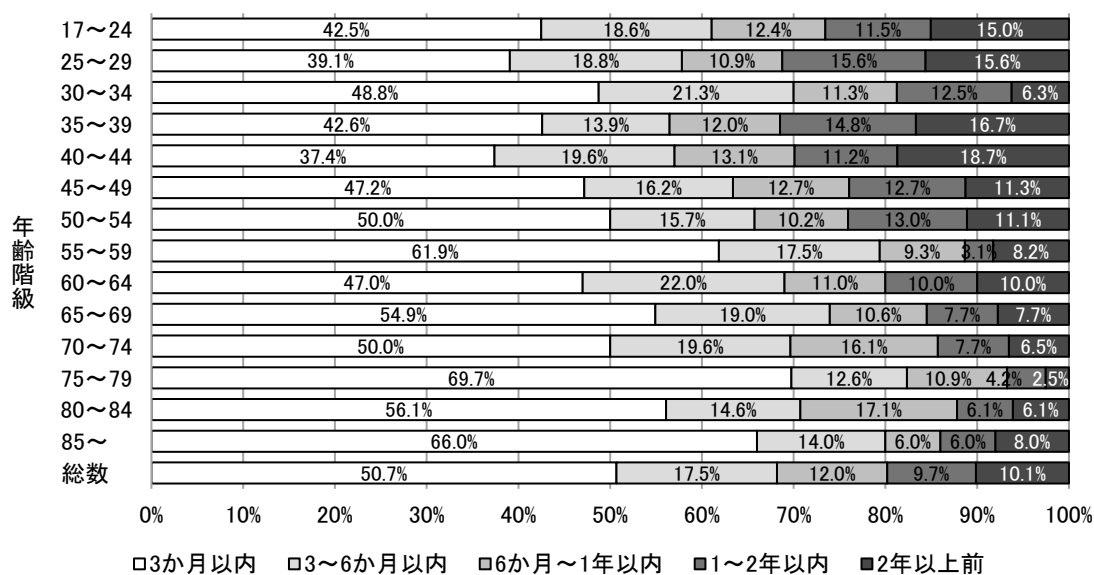


図7-1 歯科医院受診の間隔（前回の歯科受診）

## 2) 定期受診の有無

「定期的に歯科を受診していますか」の質問に「はい」と答えた者の割合は、男性では85歳以上の割合が最も高く、81.3%であり、女性では75-79歳の割合が最も高く、88.4%であった。

平成27年調査と比較して、定期的に歯科を受診している者の割合は男女とも平成27年調査の値を上回っていた。しかし、第2期高知県歯と健康づくり基本計画における令和3年度目標値では、定期的に歯科健診を受けている人の割合が65%以上と記されており、今回の調査では、男女とも目標値に届いていない状況である。

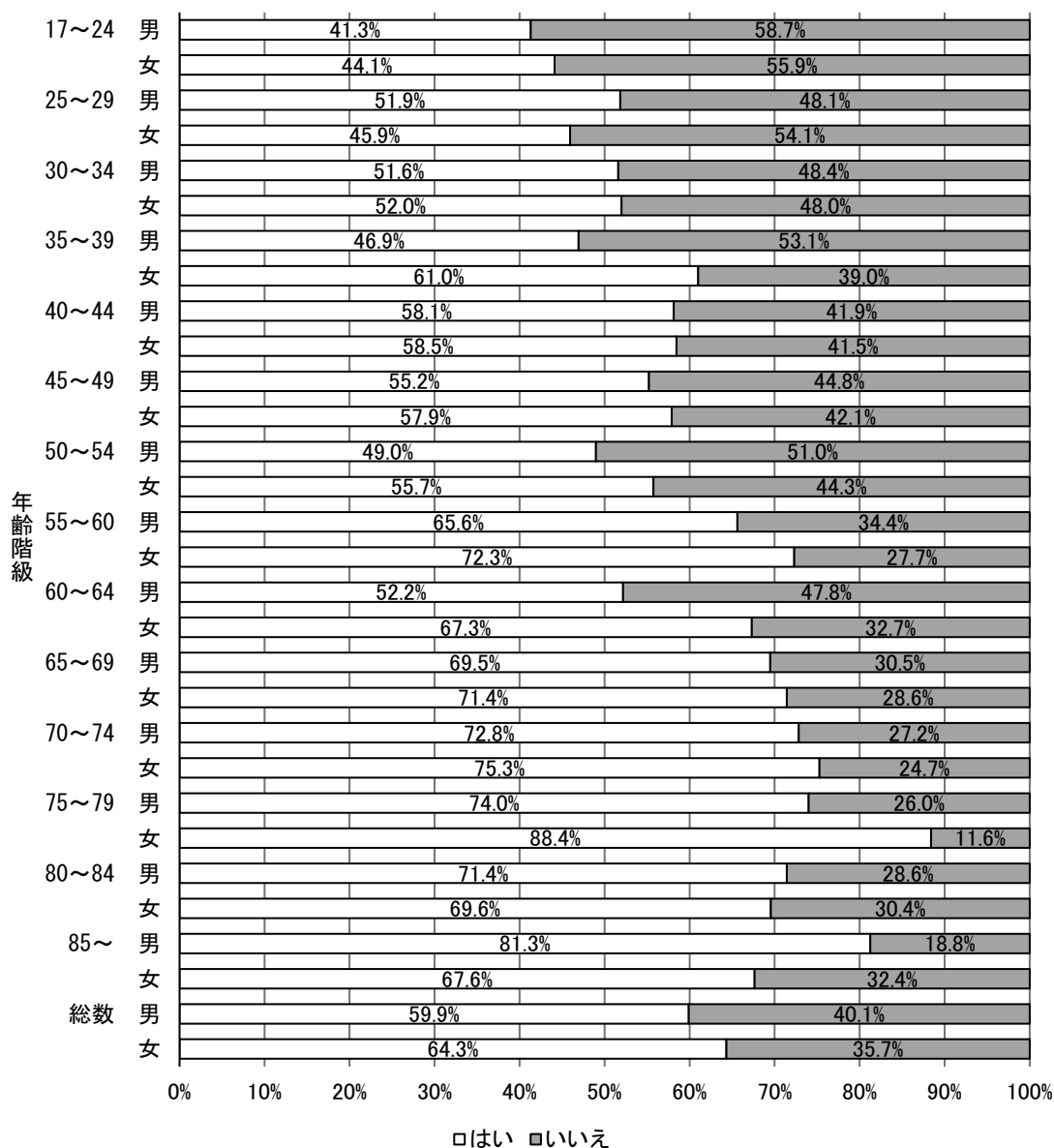


図7-2 定期的な歯科受診

## 8. 既往歴について

「心臓病，脳卒中，糖尿病，関節リウマチ，骨粗鬆症，高血圧のいずれかの病気で治療中あるいは受けたことがあるか」の質問に対して「はい」と答えた者の割合は，全体の31.4%であり，80-84歳で最も高く73.2%であった。85歳以上を除き年齢が上がるにつれて増加する傾向が認められたが，特に50歳代後半から受療率が急増していた。また，病気の内訳として最も割合が高かったのは「高血圧」の21.5%であった。

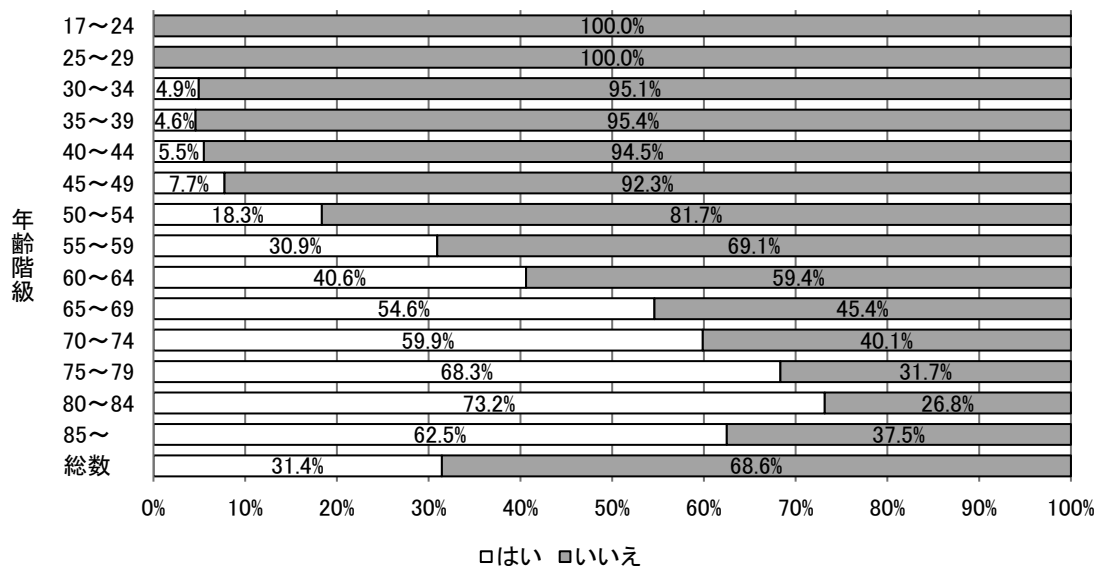


図 8-1 全身疾患での治療（現病歴）

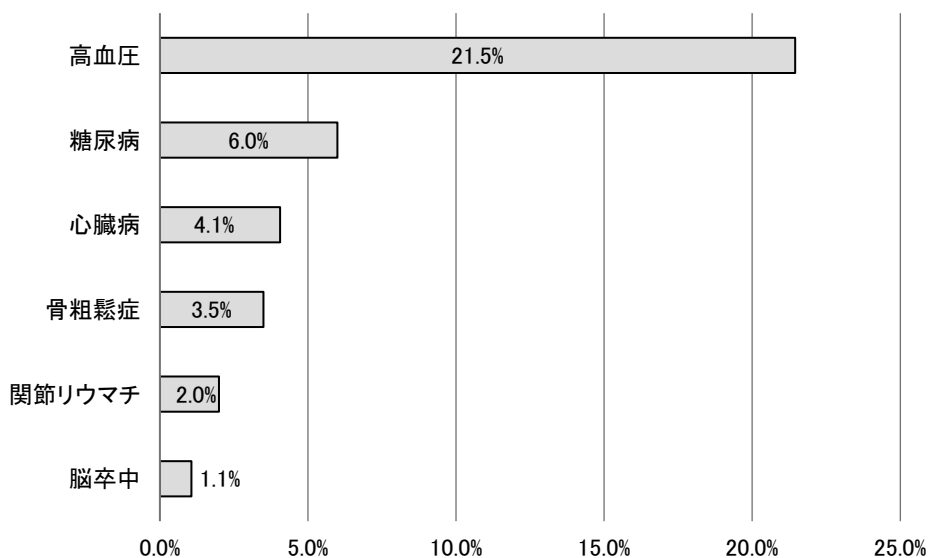


図 8-2 治療中の全身疾患の内訳

## 9. 喫煙状況

「たばこを吸っていますか」の質問に「はい」と答えた者の割合は、男性では45-49歳が最も高く46.3%、女性では60-64歳が最も高く、18.5%であった。

年齢階級を10歳区切りとして令和元年国民健康・栄養調査と比較すると、30歳代、40歳代の男女、50歳代の男性、60歳代の女性で喫煙率が全国値を上回っていた。

平成27年度調査と比較して、男性では8%、女性では2.7%増加した。

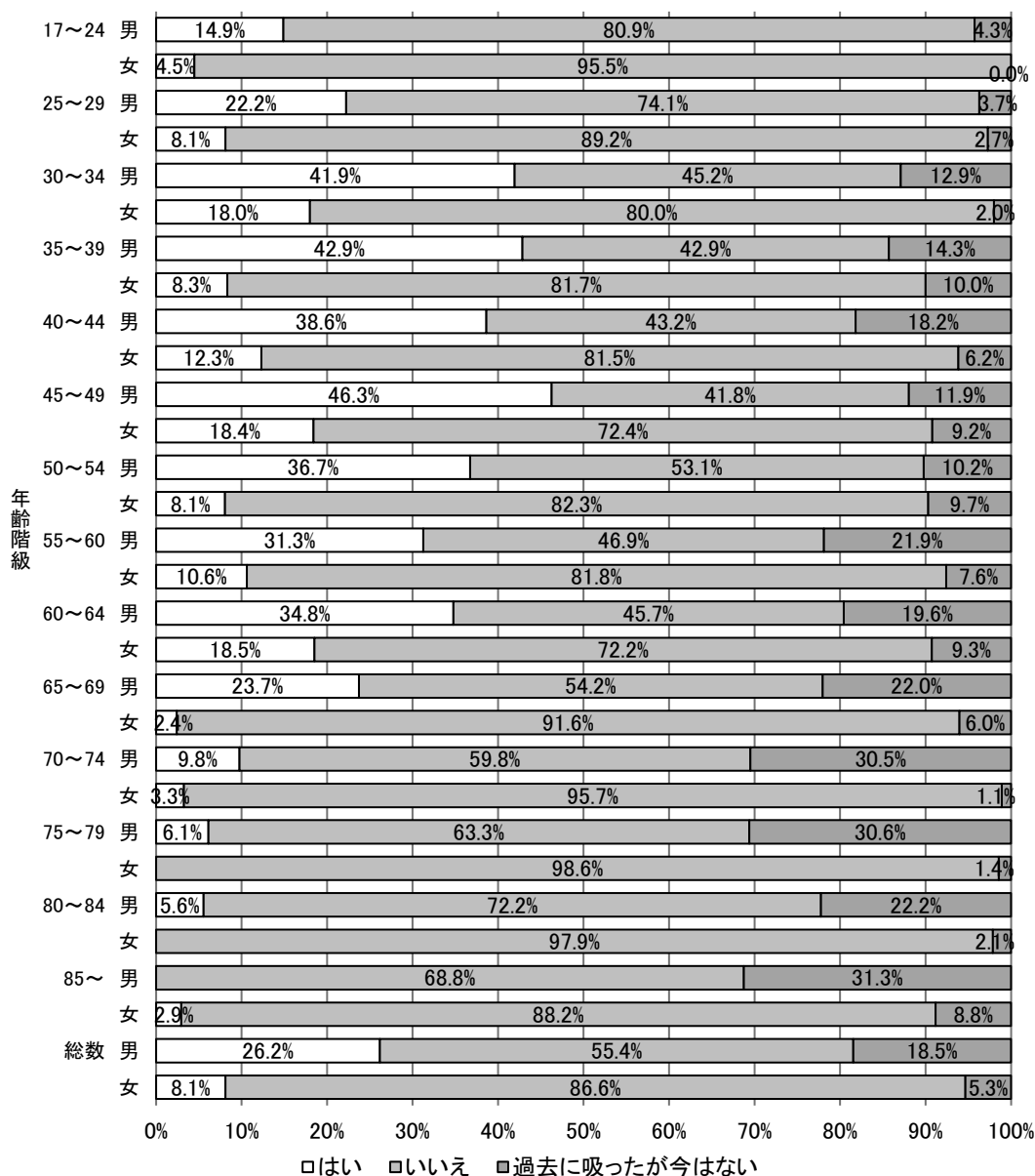


図9 喫煙習慣



## 10. 歯科に関する知識

### 1) 歯周病と糖尿病の関連性

「歯周病と糖尿病その他の全身疾患との間に関連性があることをご存知ですか」の質問に「はい」と答えた者の割合は全体の57.8%であり、60-64歳で69.7%と最も高い値を示した。一方、最も低い値を示したのは17-24歳で27.0%であり、25歳未満の若年層は、他の年齢層と比較すると糖尿病と歯周病の関係についての知識を持っている者が少なかった。

平成27年度調査と比較して、全体では認知度が3.6%上昇しており、特に60歳以降の年齢層でその傾向が認められた。

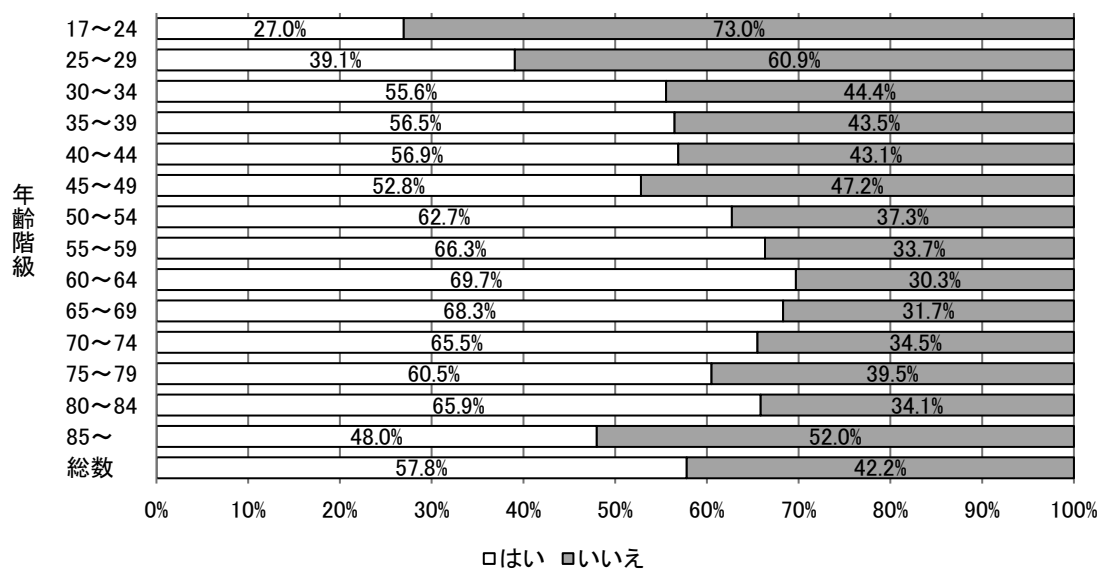


図 10-1 歯周病と糖尿病等の疾患との関連性の知識

## 2) がん治療時の口腔ケアの効果

「がん治療時に口腔ケアを行うことで、術後感染症を予防できる等、がん治療にも良い効果があることをご存知ですか」の質問に「はい」と答えた者の割合は全体で33.5%であり、70-74歳で43.4%と最も高い値を示した。一方、最も低い値を示したのは17-24歳で9.6%であり、25歳未満の若年層では他の年齢層と比較するとがん治療時の口腔ケアの効果についての知識を持っている者が少なかった。

平成27年度調査と比較して、全体での認知度が3.4%低下しており、特に17-24歳では13.3%低下した。

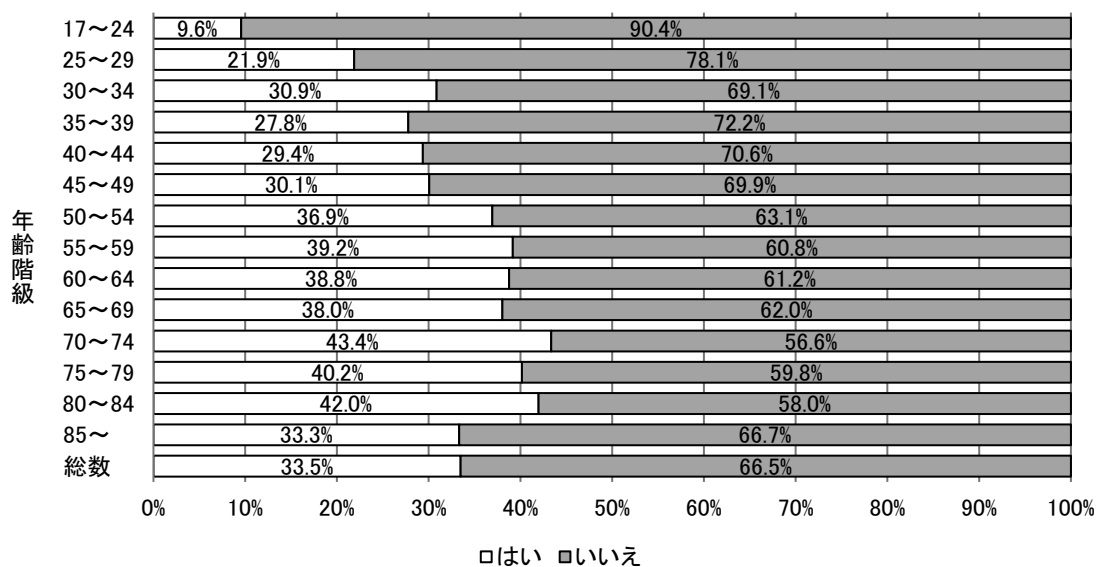


図10-2 がん治療時の口腔ケアの効果に関する知識

## 11. 周囲の人々の歯科への健康関心度

「家族や周囲の人々は、日ごろ歯の健康に関心がありますか」の質問に「はい」と答えた者の割合は、全体で 59.6%であり、75-79 歳で 73.9%と最も高い値を示した。一方、最も低い値を示したのは 17-24 歳で 40.9%であり、25 歳未満の若年層では周囲の人々の健康関心度がある者の割合が低かった。

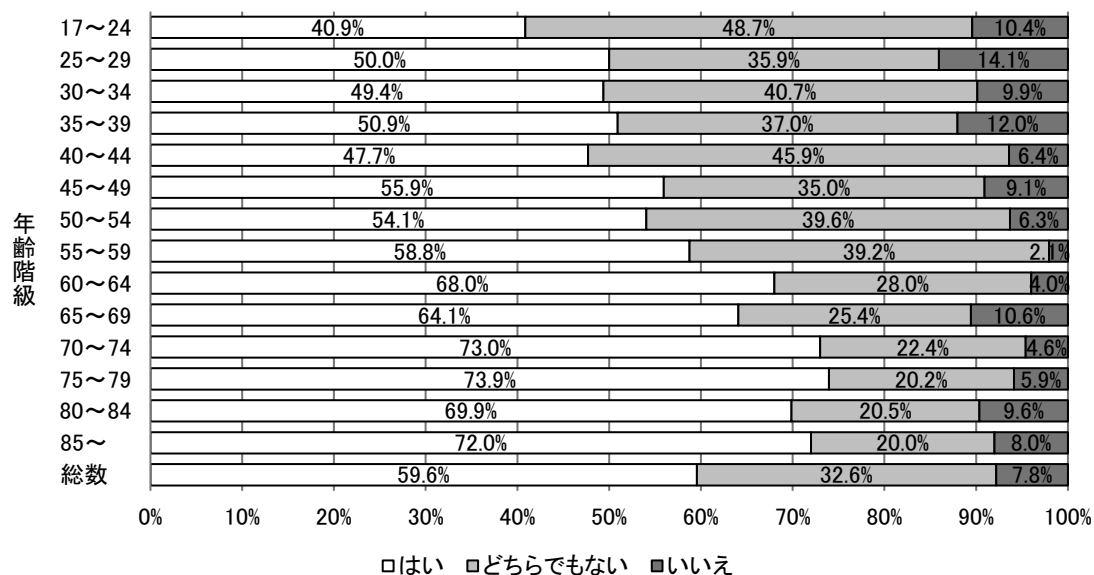


図 11 家族や周囲の人の歯科への健康関心度

## Ⅱ-2 歯科健康診査

### 1. 調査対象者の属性

年齢階級および性別にて区分した歯科健康診査の対象者（1,500名）の属性を表3に示す（表1のうち、歯科健康診査データのない1名を除く）。女性が全体の57.7%を占める。

表3 対象者数と性・年齢（歯科健康診査）

年齢階級	被調査者数（人）		
	総数	性別	
		男	女
17～24	115	47	68
25～29	64	27	37
30～34	81	31	50
35～39	109	49	60
40～44	109	44	65
45～49	143	67	76
50～54	111	49	62
55～59	98	32	66
60～64	99	45	54
65～69	143	59	84
70～74	174	82	92
75～79	120	50	70
80～84	83	36	47
85～	51	16	35
総数	1,500	634(42.3%)	866(57.7%)

## 2. 歯の状況（永久歯）

### 1) 有病状況

#### (1) DMF 者率と DF 者率

対象者全体の DMF 者率は 98.3%で、年齢とともに高率になり、45 歳以上ではほぼ 100%であった。対象者全体の DF 者率は 97.0%であり、70 歳以上で減少している。

平成 27 年度調査と比較して、全体では比率の相違はあまり認められなかった。年齢別では、17-24 歳の DMF 者率および DF 者率がそれぞれ 6.6%、8.4%減少し、85 歳以上において DF 者率が 23.6%増加した。

DMF 者率：D 歯（未処置歯）、M 歯（喪失歯）または F 歯（処置歯）のいずれかを有する者の割合

DF 者率：D 歯（未処置歯）または F 歯（処置歯）を有する者の割合

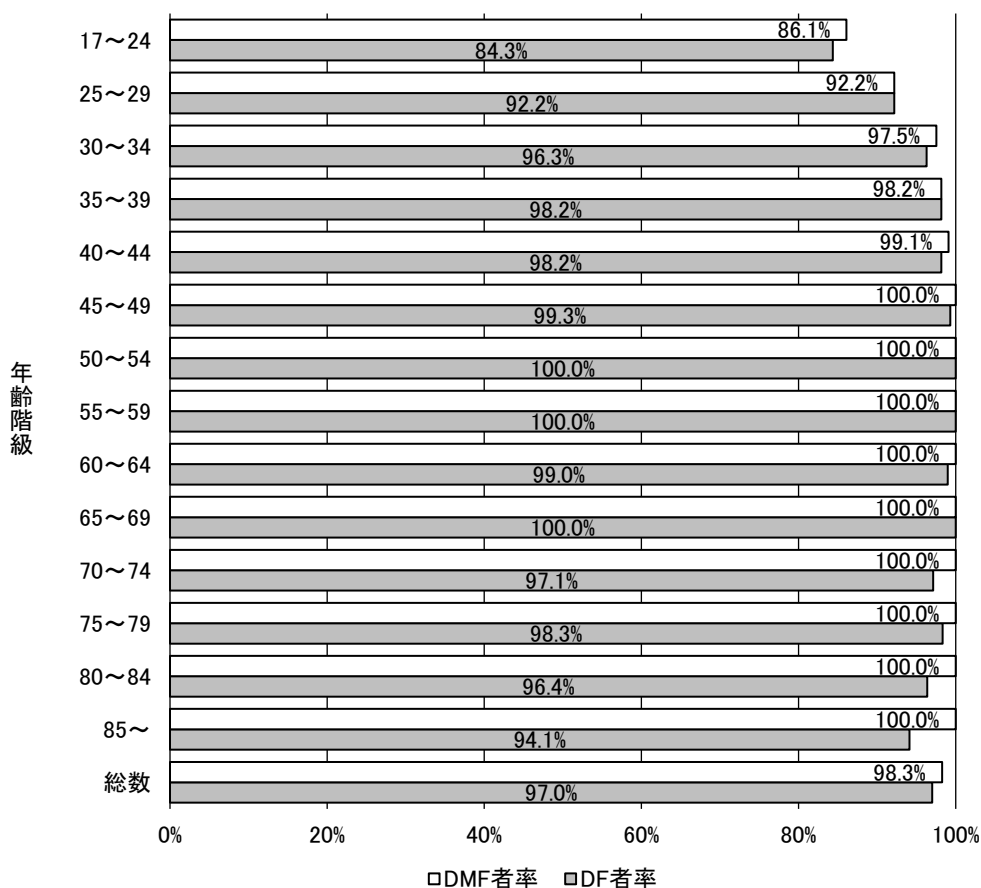


図 12 年齢階級別 DMF 者率・DF 者率

(2) DMFT (一人平均う蝕経験歯数) と DFT (一人平均 DF 歯数)

対象者全体の DMFT (一人平均う蝕経験歯数) は 16.6 であり、年齢とともに直線的に多くなる傾向が認められた。60 歳までの主な年齢階級での DMFT は 30-34 歳で 10.2、40-44 歳で 14.2、50-54 歳で 16.3 であり、平成 27 年度調査の 30-34 歳での 13.0、40-44 歳での 15.7、50-54 歳での 17.7 と比較して低く、減少傾向が認められた。資料の集計結果表より、45 歳以上では男性と比較して女性で DMFT の値が高い傾向が認められた。

対象者全体の DFT (一人平均 DF 歯数) は 12.7 であった。DFT は年齢とともに増加して 55-59 歳で最高値 15.3 となり、その後は年齢とともに減少する傾向にある。

平成 27 年度と比較して、全体での DFT はわずかに減少した。

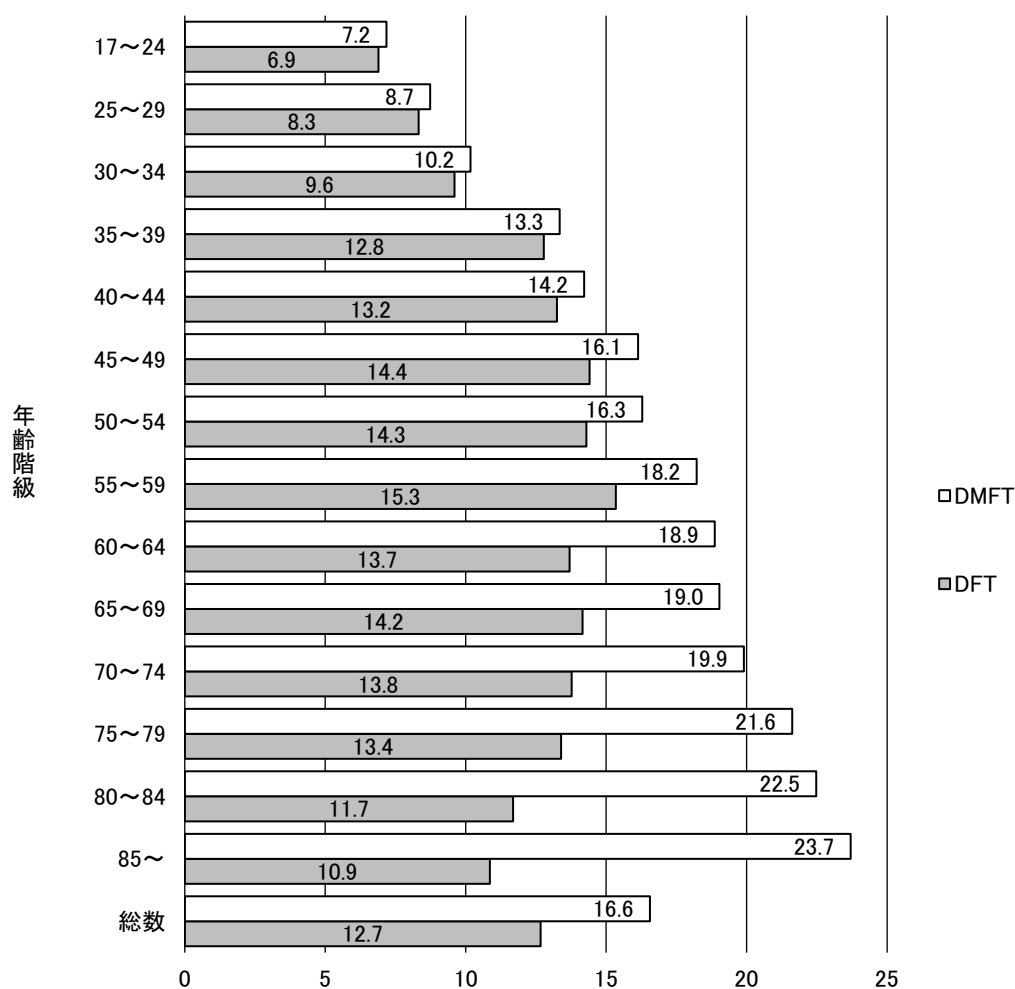


図 13 年齢階級別 DMFT・DFT

(3) 一人平均未処置歯数および未処置歯保有者率

対象者全体の一人平均未処置歯数は 1.0 であった。年齢とともに徐々に減少し、55-59 歳が 0.6 で最も低かった。

平成 27 年度調査と比較して、全ての年代で一人平均未処置歯数が減少した。全体での一人平均未処置歯数は 0.7, 特に 30-34 歳で 1.5 減少した。

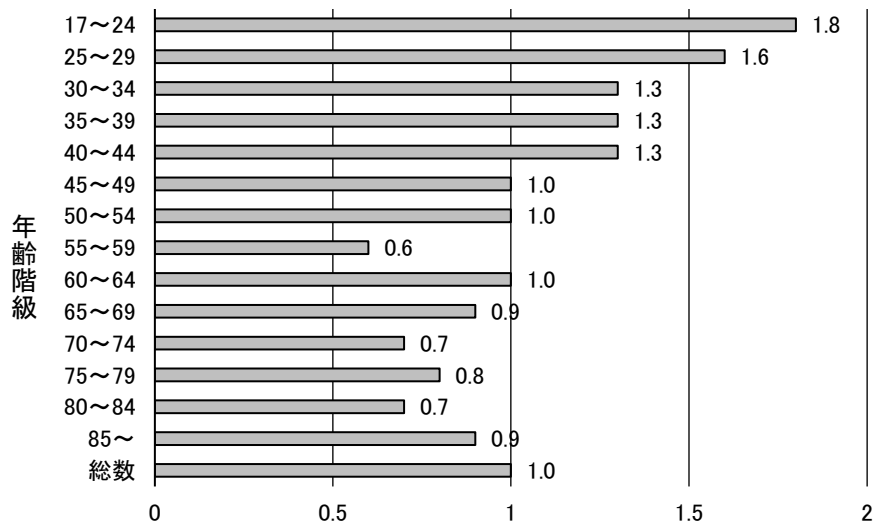


図 14 年齢階級別 一人平均未処置歯数 (本)

対象者全体の未処置歯保有者率の平均は 33.3%であった。未処置歯保有者率は 35 歳未満の年齢群では 40%を超えている。70-74 歳が 26.4%と最も低い値を示し、高齢になるにつれて低下する傾向を示している。

平成 27 年度調査と比較して、全体で 10.8%減少した。

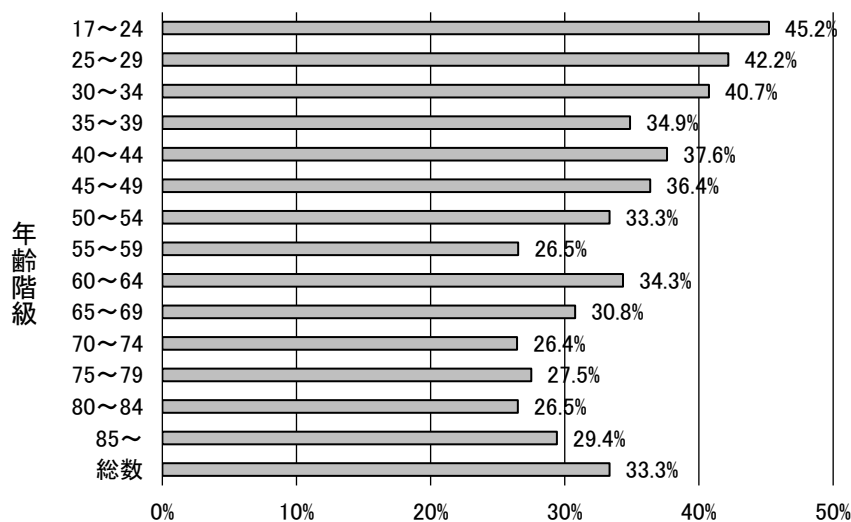


図 15 年齢階級別 未処置歯保有者率

2) 歯の喪失

歯の喪失に関して有効なデータが得られた 1,500 名を対象に、各指標を年齢階級別に表 4 に示す。

表 4 歯の喪失に関する各種指標

年齢階級	割合(%)					一人あたり平均値	
	総数	無歯顎者	現在歯 20 歯以上の者	現在歯 24 歯以上の者	喪失歯を持つ者	現在歯数	喪失歯数
17～24	115	0.0%	100.0%	100.0%	13.9%	27.7	0.3
25～29	64	0.0%	100.0%	100.0%	20.3%	27.5	0.4
30～34	81	0.0%	100.0%	100.0%	25.9%	27.4	0.6
35～39	109	0.0%	99.1%	97.2%	26.6%	27.4	0.6
40～44	109	0.0%	98.2%	94.5%	33.9%	27.0	1.0
45～49	143	0.0%	96.5%	90.9%	51.0%	26.3	1.7
50～54	111	0.0%	98.2%	85.6%	62.2%	26.0	2.0
55～59	98	0.0%	92.9%	78.6%	74.5%	25.1	2.9
60～64	99	0.0%	77.8%	57.6%	81.8%	22.8	5.2
65～69	143	0.0%	78.3%	63.6%	81.1%	23.1	4.9
70～74	174	0.6%	75.9%	51.7%	87.9%	21.9	6.1
75～79	120	1.7%	57.5%	40.8%	93.3%	19.8	8.2
80～84	83	3.6%	53.0%	33.7%	95.2%	17.2	10.8
85～	51	5.9%	33.3%	27.5%	96.1%	15.1	12.8
総数	1,500	0.6%	84.3%	73.3%	61.4%	24.1	3.9



(1) 無歯顎者率

無歯顎者率は全体（17歳以上の対象者）の0.6%を占める。図16に示すように70歳以上の年齢層で無歯顎者は認められ、高齢層ほど高い割合を示している。

平成27年度と比較して、85歳以上の無歯顎者が24.1%減少し、全体での無歯顎者率も3.1%減少した。

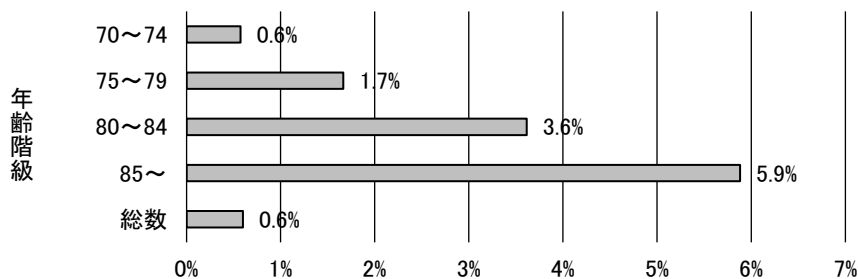


図16 年齢階級別 無歯顎者率（70歳以上）

(2) 喪失歯数と喪失歯所有者率

対象者全体の一人平均喪失歯数は3.9であった。図17に示すように40-44歳での一人平均喪失歯数は1.0で、年齢とともに増加している。

平成27年度と比較して、対象者全体の一人平均喪失歯数は1.1減少した。

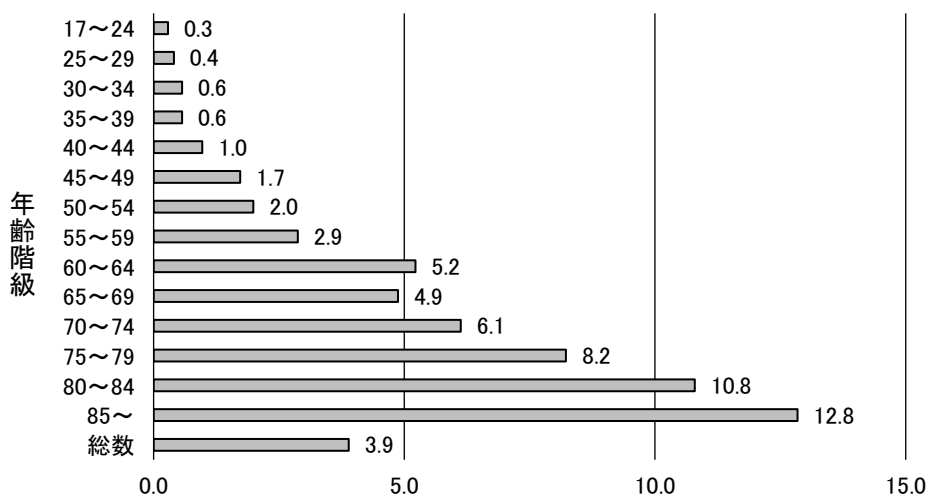


図17 年齢階級別 一人平均喪失歯数

喪失歯の所有者は全体の61.4%に認められる。健康日本21（第2次）において、40歳で喪失歯のない者を75%以上とする目標（令和4年度）を掲げている。図18に示すように本調査においては40-44歳の喪失歯のない者は66.1%であり、目標値に到達するために喪失歯所有者率をあと8.9%減少させる必要がある。

平成27年度と比較して、全体の喪失歯所有者率は2.6%減少した。

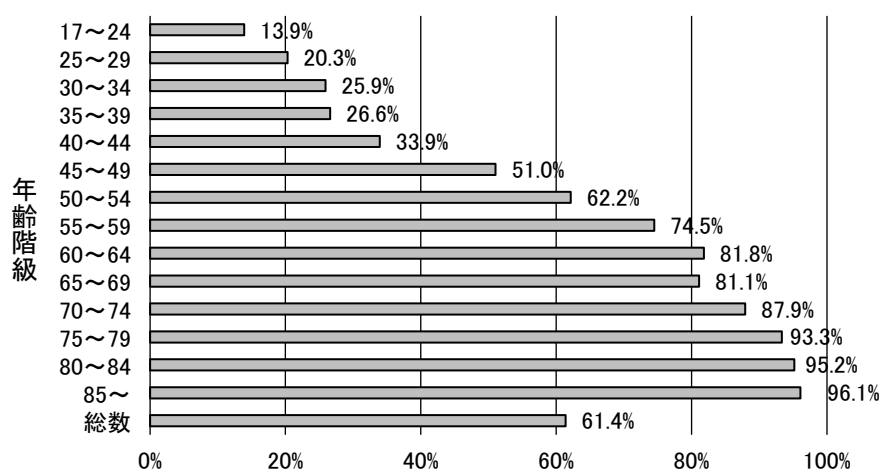


図18 年齢階級別 喪失歯所有者率

(3) 一人平均現在歯数

一人平均現在歯数は40歳以上の年齢層では、図19に示すように年齢が高くなるほど少ない傾向が認められた。性差は75歳以上で認められ、この年代以降、一人平均現在歯数は女性に多い傾向が認められた。

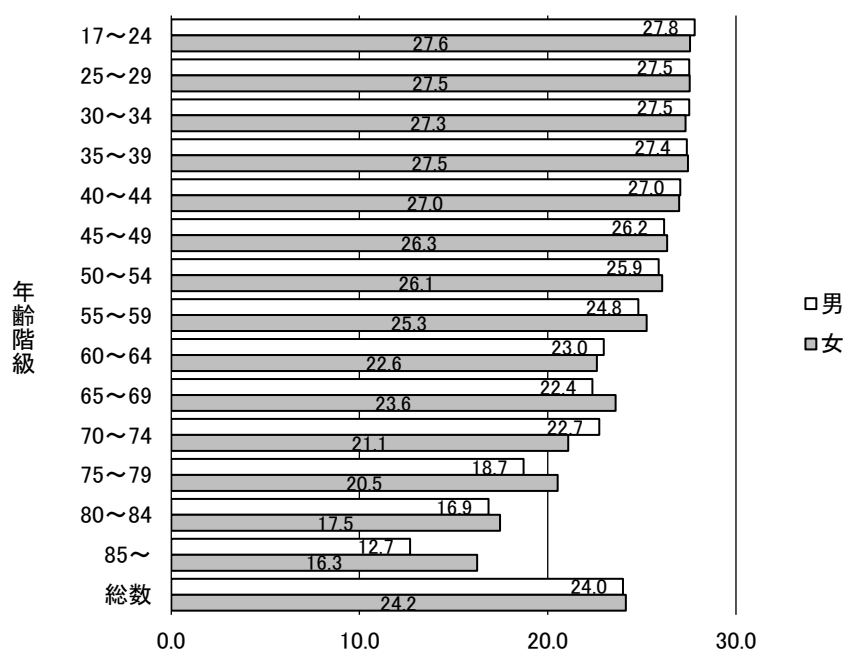


図19 年齢階級・性別 一人平均現在歯数

(4) 20 歯以上保有者率および 24 歯以上保有者率

20 歯以上保有者率を図 20 に示す。全体ではわずかに男性の割合が高かった。

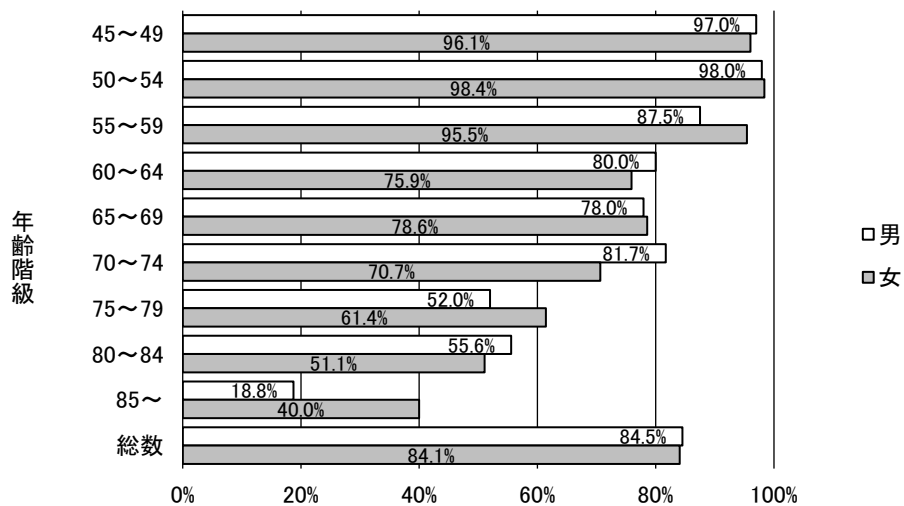


図 20 年齢階級・性別 20 歯以上保有者率

24 歯以上保有者率を図 21 に示す。男性と比較して女性の割合がわずかに高い傾向が認められる。

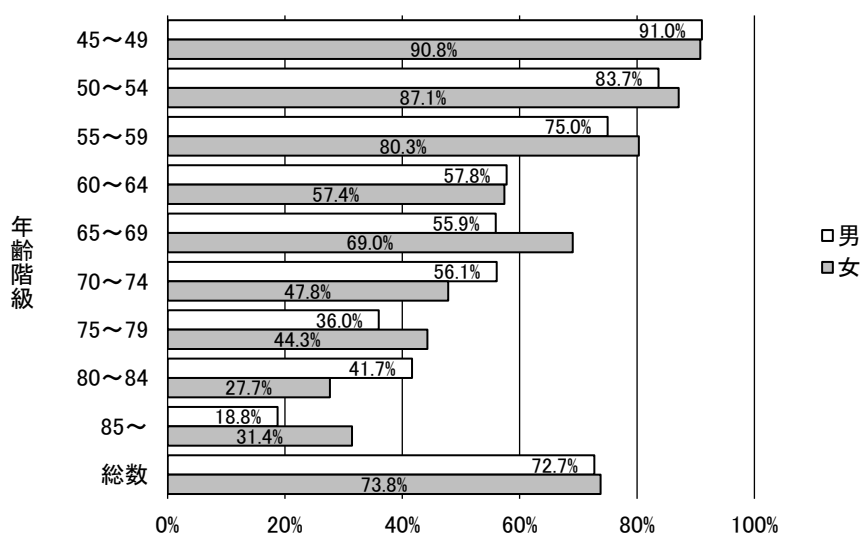


図 21 年齢階級・性別 24 歯以上保有者率

健康日本 21（第 2 次）において、令和 4 年までの目標値は 80 歳で 20 歯以上の歯を有する者を 50%以上、60 歳で 24 歯以上の歯を有する者を 70%以上とされている。また、第 2 期高知県歯と健康づくり基本計画における令和 3 年度目標値では、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者を 60%以上、60 歳で 24 歯以上の歯を有する者を 80%以上とすることを掲げている。しかし、下表のように本調査での 8020 達成者率は 55.7%、6024 達成者率は 68.0%と算出され、本調査においては健康日本 21（第 2 次）の 8020 目標値は達成しているものの、6024 目標値には 2.0%及んでいない。また、本県の目標値に関しては 8020 達成者率で 4.3%、6024 達成者率で 12.0%及んでいない状況である。なお、本県の調査では智歯を含めていないため、全国など他の調査との比較の際は注意を要する。

8020達成者率		
年齢階級	人数	総計
75～79	69	120
80～84	44	83
総数	113	203
達成者率	57.7%	

6024達成者率		
年齢階級	人数	総計
55～59	77	98
60～64	57	99
総数	134	197
達成者率	68.0%	

### 3. 歯肉の状況

#### 1) CPI (歯周ポケット) の状況

CPI (Community Periodontal Index 2013)の歯周ポケット個人最大コードの分布を、コード X (審査対象歯なし) を含めた場合 (図 22-1) と除いた場合 (図 22-2) に分けて年齢階級別に示した。歯周ポケットが 4mm 未満の者 (コード 0) の割合は、年齢が高いほど少ない傾向にある。また、資料の集計結果表より、女性と比較して男性において 4mm 以上の歯周ポケットがある者の割合が多い傾向が見られた。

平成 27 年度調査と比較して 4mm 以上の歯周ポケットがある者の割合は 13.6%増加した。

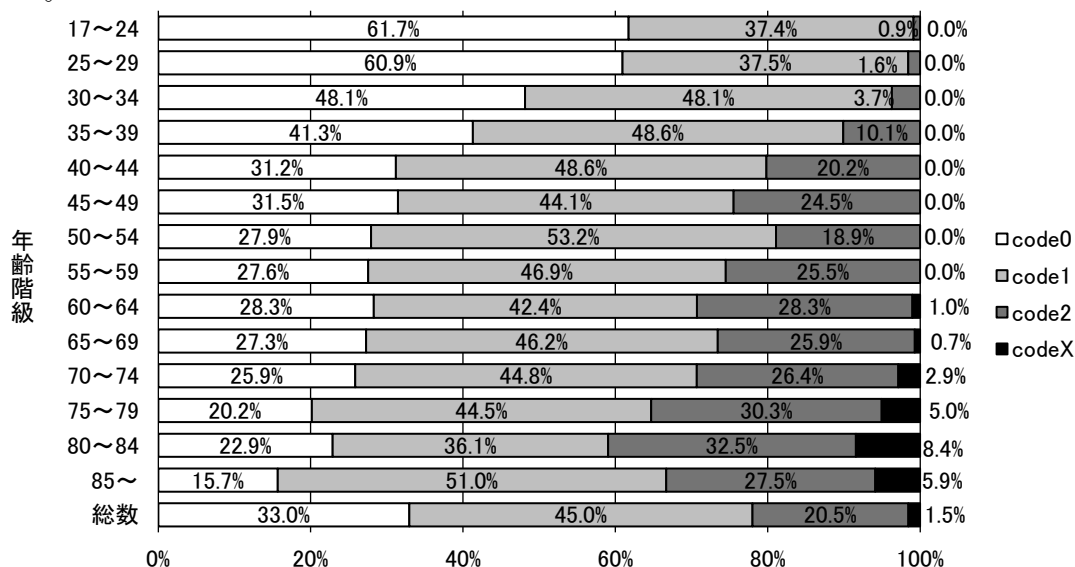


図 22-1 年齢階級別 歯周ポケットの状況 (コード X を含む)

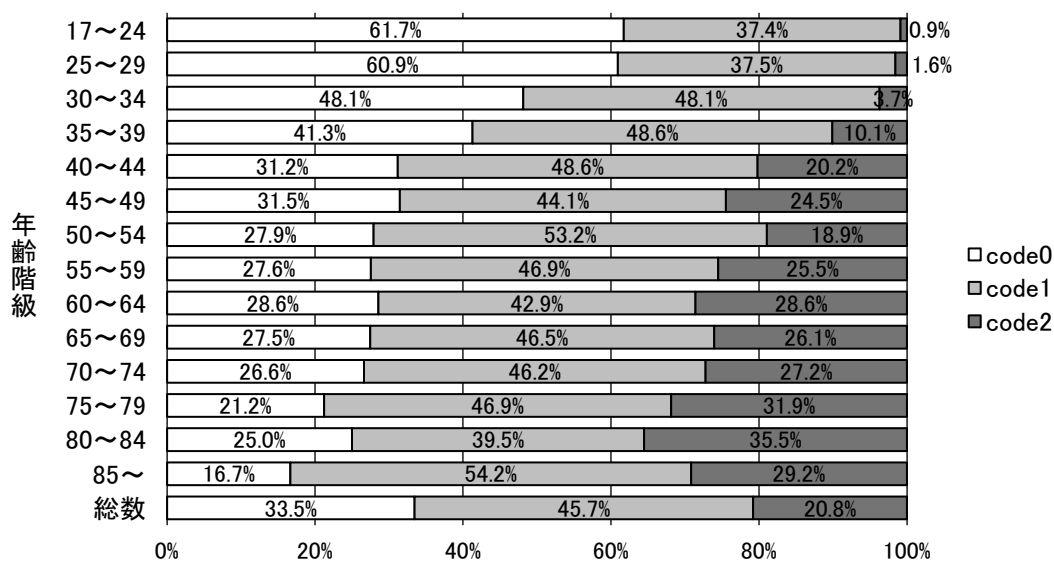


図 22-2 年齢階級別 歯周ポケットの状況 (コード X を除く)

2) CPI (歯肉出血) の状況

CPI の歯肉出血個人最大コードの分布を、コード X を含めた場合 (図 23-1) と除いた場合 (図 23-2) に分けて年齢階級別に示した。歯肉出血のある者は、全ての年齢階級において半数以上に認められた。

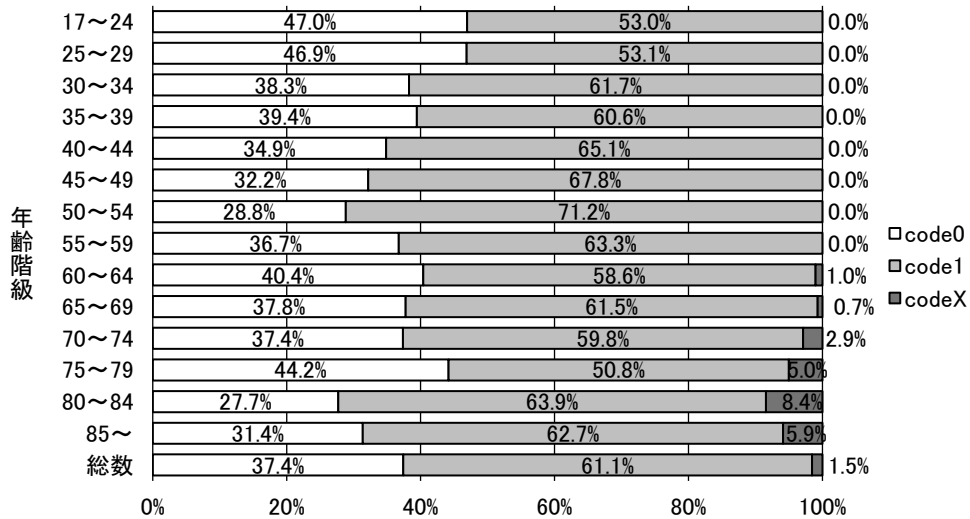


図 23-1 年齢階級別 歯肉出血の状況 (コード X を含む)

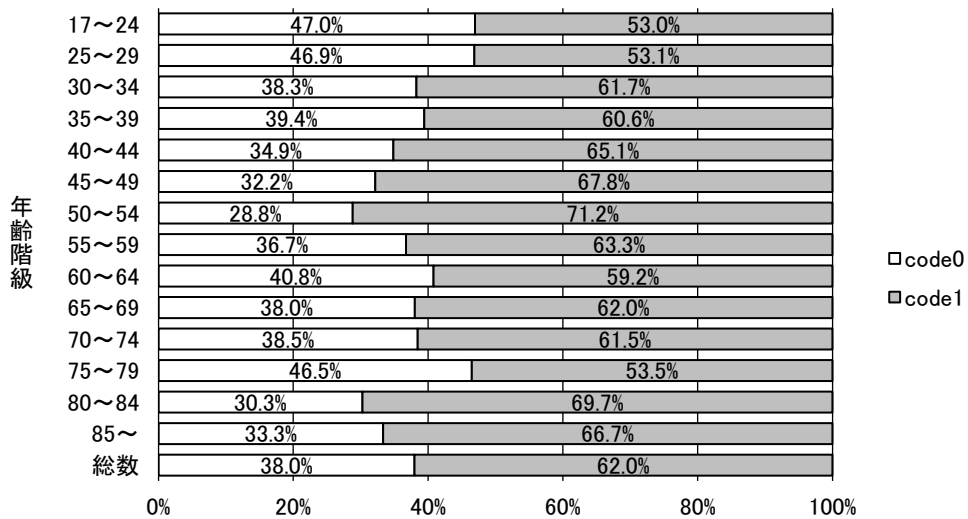


図 23-2 年齢階級別 歯肉出血の状況 (コード X を除く)

### 3) 歯肉の炎症・進行した歯周炎の状況

CPIの結果（コードXを除く）より、歯肉に炎症所見を有する者（歯周ポケットコード1，2および歯肉出血コード1）および進行した歯周炎を有する者（歯周ポケットコード1，2）の割合を年齢階級別に図24に示す。2つの指標とも年齢とともにその割合が高くなる傾向が認められた。

健康日本21（第2次）において、20歳代の歯肉に炎症所見を有する者を25%以下とする目標（令和4年度）が掲げられているが、本調査においては17-24歳で61.7%、25-29歳で60.9%であり、目標値とは大きな差がある。一方、40歳代および60歳代における進行した歯周炎を有する者をそれぞれ25%以下、45%以下とする目標が掲げられているが、本調査においては40-44歳で68.8%、60-64歳で71.4%と、目標値とは差が認められる状況である。

また、第2期高知県歯と健康づくり基本計画における令和3年度目標値では、40歳代、50歳代および60歳代における進行した歯周炎を有する者をそれぞれ25%以下、30%以下および45%以下と記されているが、本調査においては目標値に到達していない状況である。

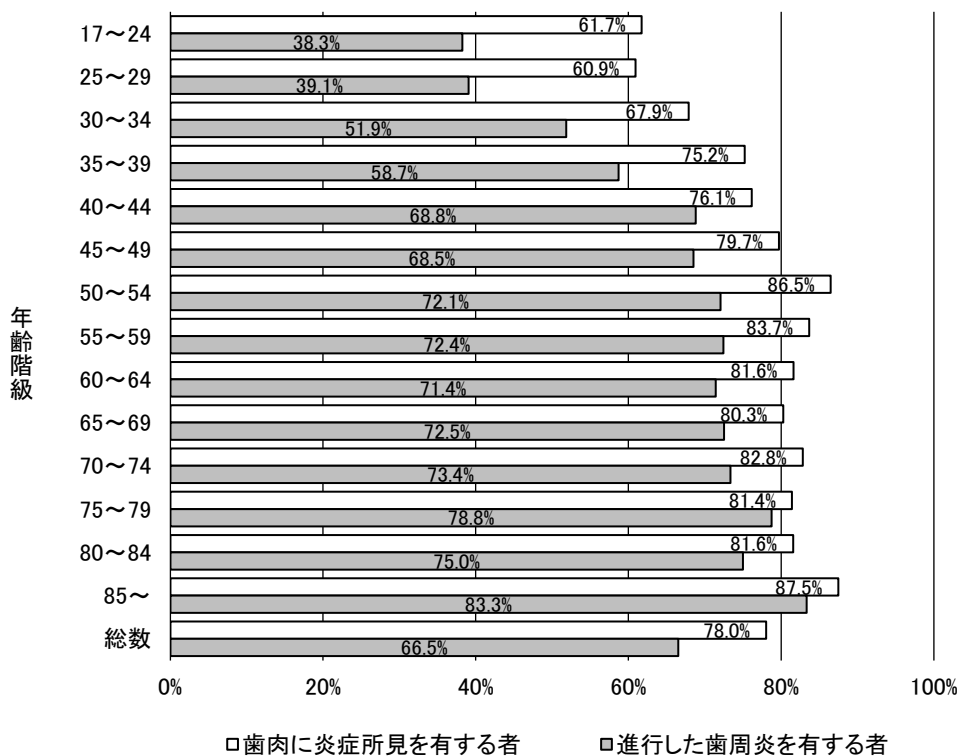


図24 年齢階級別 歯肉の炎症・進行した歯周炎の状況



#### 4. 歯列・咬合の状況

歯列・咬合に所見のある者は全体の 18.5%に認められ、40-44 歳で 24.8%と最も高い値を示した。

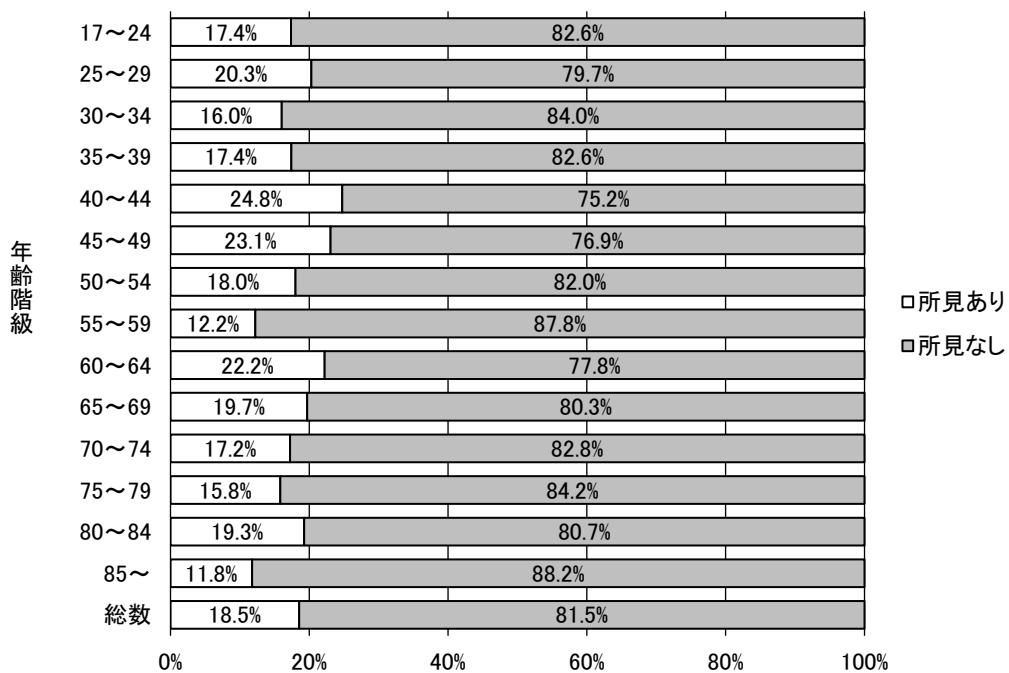


図 25 年齢階級別 歯列・咬合の状況

## 5. 口腔清掃状態

全体で口腔清掃状態の良好な者、普通の者、不良の者の割合はそれぞれ 37.5%, 48.6%, 13.9%であった。図 26 に示すように、ほとんどの年齢区分で口腔清掃状態の良好な者の割合は男性と比較して女性の割合が高い傾向が認められた。また、男性において口腔清掃状態が不良な者の割合は 45-49 歳で 28.4%と最も高かった。

平成 27 年度と比較して、口腔清掃状態が良好な者の割合は、男性で 5.5%, 女性では 9.3%増加し、不良の者は男性で 2.6%, 女性で 6.6%減少した。

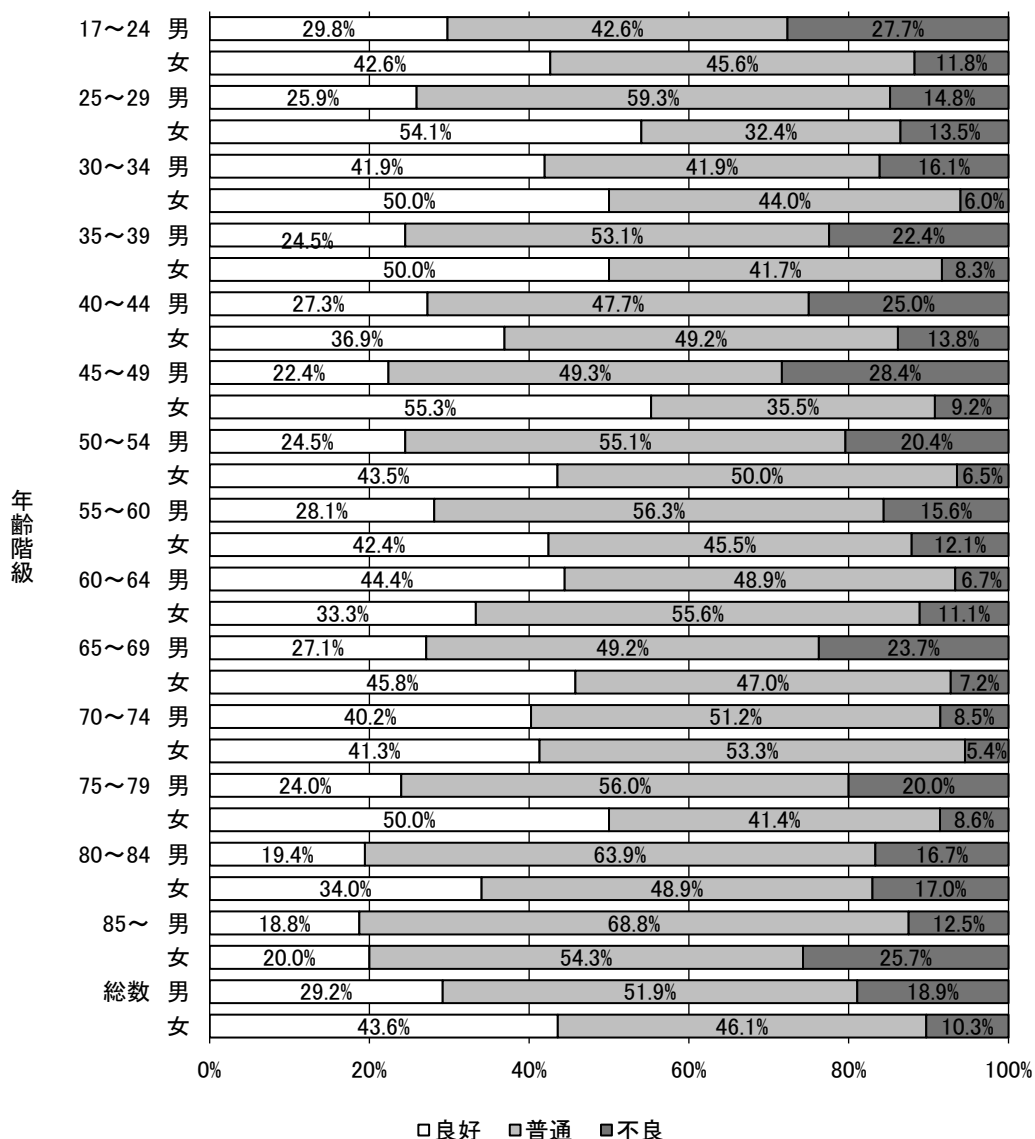


図 26 年齢階級・性別 口腔清掃状態

### Ⅲ 保健行動と口腔状況との関連性

17～39 歳，40～64 歳，65 歳以上の年齢別および全体を対象として，口腔衛生習慣，フッ化物の応用，喫煙習慣，定期歯科受診に関連する保健行動と未処置歯，喪失歯，歯周状態，口腔衛生状態の口腔状況との関連性を統計学的に分析した。

なお，分析結果の詳細は「V-2 集計結果表：③保健行動と口腔状況との関連性」を参照のこと。

#### 1. 口腔衛生習慣

##### 1) 1日の歯磨き回数

全体を対象とした分析において，歯磨き回数と未処置歯，CPI（歯肉出血）および口腔衛生状態の項目で関連が認められた。特に口腔衛生状態の項目では，すべての年齢層において歯磨き回数が多いほど良好な口腔清掃状態となることが示された。また，歯磨き回数が多いほど CPI 測定時の出血を認めない傾向が示された。

一方，未処置歯では 40 歳以上，喪失歯では 40～64 歳の年齢層で，歯磨き回数が多い者は未処置歯または喪失歯を有しない傾向が示された。

##### 2) 清掃補助用具の使用

全体を対象とした分析において，歯間ブラシなどの清掃補助用具の使用と未処置歯，喪失歯，CPI（歯周ポケット）および口腔衛生状態の項目で関連が認められた。清掃補助用具を使用する者は深い歯周ポケットを有しない傾向が示された。

一方，未処置歯では 40 歳以上，喪失歯では 17～39 歳の年齢層で，清掃補助用具を使用する者は，未処置歯または喪失歯を有しない傾向が示された。

#### 2. フッ化物の応用（歯科医院での歯科保健指導）

##### 1) フッ化物配合歯磨剤

全体を対象とした分析において，歯科医院でフッ化物配合歯磨剤利用の指導を受けている者は，未処置歯，口腔衛生状態の項目で関連が認められた。特に口腔衛生状態の項目では，全体および 40～64 歳の年齢層で，指導を受けている者は良好な口腔清掃状態となることが示された。

また，未処置歯ではすべての年齢層において，喪失歯では 17～39 歳の年齢層で，指導を受けている者は未処置歯または喪失歯を有しない傾向が示された。

##### 2) フッ化物洗口

歯科医院でフッ化物洗口の指導を受けている者は，未処置歯および口腔衛生状態の項目で関連が認められた。特に未処置歯ではすべての年齢層において指導を受けている者は未処置歯を有しない傾向が示された。

一方、口腔衛生状態の項目では、全体および40～64歳の年齢層で、指導を受けている者は良好な口腔清掃状態となることが示された。

### 3. 喫煙習慣

全体を対象とした分析では、喫煙習慣を有する者は今回用いたすべての項目との関連が認められた。すなわち、喫煙習慣を有する者は、未処置歯または喪失歯を有し、歯周ポケットおよびCPI測定時の出血を認め、不良な口腔清掃状態となることが示された。特に、17～39歳、40～64歳の年齢層で、その傾向が認められた。

### 4. 定期歯科受診

全体を対象とした分析では、定期的に歯科受診する者は、未処置歯、喪失歯、CPI（歯周ポケット）および口腔衛生状態の項目で関連が認められた。すなわち、定期的に歯科受診する者は、未処置歯、喪失歯または歯周ポケットを保有せず、良好な口腔清掃状態となる傾向が示された。未処置歯では、すべての年齢層、口腔衛生状態では40歳以上の年齢層においてその傾向が認められた。また、65歳以上の年齢層では、定期的に歯科受診する者はCPI測定時に出血を認めない傾向が示された。

#### IV まとめ・考察

##### 1. 調査対象者の全身状況

調査対象者の BMI 区分による分布から、やせは 29 歳以下の女性に多く認められ、肥満は 40 歳以上の男性に多く認められた。肥満は、歯周病をはじめとした様々な疾患と関連性があるという研究結果も報告されており、特に 40 歳以上の男性へは食生活指導とあわせた歯科保健指導を推進することが望まれる。

##### 2. 歯の状況

下表のように「40 歳で喪失歯のない者」、「60 歳で自分の歯を 24 本以上有する人の割合」および「80 歳で自分の歯を 20 本以上有する人の割合」に関する目標値に到達していない状況であり、成人世代での歯の残存を支援する事業等を推進することが必要である。

評価指標	高知県目標値	令和 2 年度結果	到達状況
40 歳で喪失歯のない者	75%以上	73.4% (35-39 歳) 66.1% (40-44 歳)	×
60 歳で自分の歯を 24 本以上有する人の割合	80%以上	78.6% (55-59 歳) 57.6% (60-64 歳)	×
80 歳で自分の歯を 20 本以上有する人の割合	60%以上	57.5% (75-79 歳) 53.0% (80-84 歳)	×

下表のように、「40 歳および 60 歳の未処置歯を有する者」に関する目標値に到達していない状況であり、成人世代での歯科治療の受診勧奨を推進することが必要である。

評価指標	高知県目標値	令和 2 年度結果	到達状況
40 歳の未処置歯を有する者の割合	35%以下	34.9% (35-39 歳) 37.6% (40-44 歳)	×
60 歳の未処置歯を有する者の割合	10%以下	26.5% (55-59 歳) 34.3% (60-64 歳)	×

### 3. 歯肉の状況

下表のように「40歳代および50歳代における進行した歯周炎を有する者」に関する目標値には到達していない状況であり、若い世代に対する歯周病予防を支援する事業等を一層推進する必要がある。

評価指標	高知県目標値	令和2年度結果	到達状況
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	70%以下	61.7% (17-24歳) 60.9% (25-29歳)	○
40歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	25%以下	68.8% (40-44歳) 68.5% (45-49歳)	×
50歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	30%以下	72.1% (50-54歳) 72.4% (55-59歳)	×
60歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	45%以下	71.4% (60-64歳) 72.5% (65-69歳)	×

### 4. 歯科医院の受診状況

下表のように「定期的に歯科健診を受けている人の割合」に関する目標値にはわずかに到達していない。更に受診率を向上させる方策が必要であると考えられる。

評価指標	高知県目標値	令和2年度結果	到達状況
定期的に歯科健診を受けている人の割合	65%以上	62.4% (17歳以上)	×

## 5. 口腔衛生習慣の状況

下表のように「歯間部清掃用具を使用する人の割合」に関する目標値にはわずかに到達していいない。また，“ほぼ毎日”使っている者の割合は、33.6%にとどまっており、これは目標値を大きく下回っている。したがって、歯間部清掃用具を毎日使う習慣を定着させるような歯科保健指導を徹底することが望まれる。

評価指標	高知県 目標値	令和2年度 結果	到達状況
歯間部清掃用具を使用する人の割合	65%以上	64.4% (17歳以上)	×

## 6. 口腔機能の状況

下表のように、「60歳代における咀嚼良好者（何でも噛んで食べられる者）の割合」は目標値を下回っている。口腔機能の維持管理について、若い世代を含む幅広い年齢層を対象とした啓発活動が必要であると考えられる。

評価指標	高知県 目標値	令和2年度 結果	到達状況
60歳代における咀嚼良好者の割合	80%以上	68.0% (60-64歳) 63.6% (65-69歳)	×

## 7. 総括

歯周病は、成人期の歯の喪失の主な要因であるが、近年の疫学研究から歯周疾患は全身疾患にも密接に関連することが知られており、歯周病対策に関連した施策の積極的な推進が求められている。そのため本県においても、口腔衛生習慣および歯周病罹患の現状を把握し、効果的な施策を推進するための基礎資料を得るために、本調査を実施した。併せて、第2期高知県歯と健康づくり基本計画における令和3年度目標値および平成27年度に実施した同調査との比較を行い、新たな課題を見つけることも目的としている。

調査の結果、歯・歯肉の状況や口腔衛生習慣に関して、本県や国が掲げる目標値には到達できていない現状が明らかとなった。平成27年度調査と比較すると、定期的に歯科を受診する者の割合は増加し、一人平均喪失歯数や無歯顎者は減少傾向にある反面、歯肉の状態では40歳代、50歳代および60歳代における進行した歯周病を有する者の割合が増加しているという現状も明らかになり、今後ますます歯周病予防策を推進していく必要がある。そのためにも、歯科医院への定期受診の重要性の周知や歯科医院での口腔衛生指導の強化が必要であると思われる。また、歯周病と糖尿病等の全身疾患との関連性についての知識も、特に若年層では十分でない傾向が認められたことから、県民への一層の啓発が必要である。

一方、ライフステージを通じた生活の質を高めるため、咀嚼良好者の増加など、高齢期の口腔機能の向上が求められている。良好な口腔機能を維持するためには、歯の残存がその大きな要因として挙げられるが、本県では6024および8020達成者に関する目標値には到達していないため、歯周病予防とともに禁煙支援などの歯の喪失リスクを低減する施策も併せて実施することが望まれる。



V 資料

V-1 調査票

高知県歯科疾患実態調査問診票(令和2年度)

①	身長・体重を教えてください	cm		kg	
②	年齢・性別を教えてください	歳		男 ・ 女	
③	何でも噛んで食べられますか	何でも噛んで食べられる	一部噛みにくい食品がある	噛めない食品が多い	噛めない
④	1日何回歯をみがきますか	みがかない	1回	2回	3回以上
⑤	デンタルフロス(糸ようじ)や歯間ブラシを使っていますか	ほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	使ってない
⑥	歯をみがくと血が出ますか	はい		いいえ	
⑦	歯ぐきがはれてブヨブヨしますか	はい		いいえ	
⑧	自分は歯周病だと思いますか	はい		いいえ	
⑨	フッ素塗布を受けたことがありますか(14歳まで)	市町村保健センター等で受けた	歯科医療機関で受けた	受けたことがない	わからない
歯科医院で以下の保健指導を受けたことがありますか					
⑩	①歯磨きの仕方	定期的を受けている	受けたことがあるが不定期		受けたことがない
	②デンタルフロスまたは歯間ブラシの使い方	定期的を受けている	受けたことがあるが不定期		受けたことがない
	③フッ化物(フッ素)入り歯みがき剤の使用	定期的を受けている	受けたことがあるが不定期		受けたことがない
	④フッ化物(フッ素)洗口について	定期的を受けている	受けたことがあるが不定期		受けたことがない
⑪	この前、歯科を受診したのはいつですか	3か月以内	3~6か月以内	6か月~1年以内	1年~2年以内 2年以上前
⑫	定期的に歯科を受診していますか	はい		いいえ	
⑬	次のいずれかの病気で治療中あるいは治療を受けたことがありますか(あてはまるもの全てに○をつけてください)	いいえ	はい(心臓病・脳卒中・糖尿病 関節リウマチ・骨粗鬆症・高血圧)		
⑭	たばこを吸っていますか	いいえ	はい	過去に吸ったが今はない	
⑮	歯周病と糖尿病その他の全身疾患との間に関連性があることをご存知ですか	はい		いいえ	
⑯	がん治療時に口腔ケアを行うことで、術後感染症を予防できる等がん治療にも良い効果があることをご存知ですか	はい		いいえ	
⑰	家族や周囲の人々は、日ごろ歯の健康に関心がありますか	はい	どちらでもない		いいえ

高知県歯科疾患実態調査票(令和2年度)

記載日 年 月 日

医療機関名及び  
歯科医師名

1. 歯の状況

【記載要領】 健全歯：/ 処置歯：FMC、CK、ア充、レ充、SK等詳しく  
未処置歯：C 喪失歯：△ インプラント：lm 全部床義歯：FD  
部分床義歯：PD クラスプ：Cl  
※智歯及びインプラントは歯式のみに記載すること(歯数には含まないものとする)

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

①健全歯数  
(/)

②未処置歯数  
(C)

③処置歯数  
(O)

2. 歯茎の状況

【記載要領】 ①歯周ポケット：0(4mm未満) ②歯肉出血：0(健全)  
1(4mm以上6mm未満) 1(出血あり)  
2(6mm以上) 9(除外歯)  
9(除外歯) X(該当歯なし)  
X(該当歯なし)

歯周ポケット	「 <u>  </u> 」または「 <u>  </u> 」	「 <u>  </u> 」	「 <u>  </u> 」または「 <u>  </u> 」
歯肉出血	有・無	有・無	有・無
歯肉出血	有・無		
歯周ポケット	「 <u>  </u> 」または「 <u>  </u> 」	「 <u>  </u> 」	「 <u>  </u> 」または「 <u>  </u> 」

④現在歯数  
(①+②+③)

⑤喪失歯数  
(△)

⑥歯周ポケット最大コード

⑦歯肉出血最大コード

3. 歯列・咬合の状況 ⑧

- 1 所見なし      2 所見あり

4. 口腔衛生状態 ⑨

- 1 良好    2 普通    3 不良

⑧歯列・咬合の状況

⑨口腔衛生状態

## V-2 集計結果表

### ① 質問調査

#### 1. 調査対象者の属性

年齢階級	人数			割合	
	男	女	総数	男	女
17～24	47	68	115	3.1%	4.5%
25～29	27	37	64	1.8%	2.5%
30～34	31	50	81	2.1%	3.3%
35～39	49	60	109	3.3%	4.0%
40～44	44	65	109	2.9%	4.3%
45～49	67	76	143	4.5%	5.1%
50～54	49	62	111	3.3%	4.1%
55～59	32	66	98	2.1%	4.4%
60～64	46	54	100	3.1%	3.6%
65～69	59	84	143	3.9%	5.6%
70～74	82	92	174	5.5%	6.1%
75～79	50	70	120	3.3%	4.7%
80～84	36	47	83	2.4%	3.1%
85～	16	35	51	1.1%	2.3%
総数	635	866	1,501	42.3%	57.7%

## 2. 咀嚼状況

年齢階級	人数(人)					割合(%)			
	何でも嚼んで 食べられる	一部嚼みにくい 食品がある	嚼めない食品が 多い	嚼めない	総数	何でも嚼んで 食べられる	一部嚼みにくい食 品がある	嚼めない食品が 多い	嚼めない
17～24	106	9	0	0	115	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%
25～29	60	3	0	0	63	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
30～34	78	3	0	0	81	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%
35～39	95	14	0	0	109	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%
40～44	90	19	0	0	109	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%
45～49	107	30	4	2	143	74.8%	21.0%	2.8%	1.4%
50～54	89	21	1	0	111	80.2%	18.9%	0.9%	0.0%
55～59	68	29	0	0	97	70.1%	29.9%	0.0%	0.0%
60～64	68	27	4	1	100	68.0%	27.0%	4.0%	1.0%
65～69	91	49	1	2	143	63.6%	34.3%	0.7%	1.4%
70～74	121	46	4	1	172	70.3%	26.7%	2.3%	0.6%
75～79	75	41	2	1	119	63.0%	34.5%	1.7%	0.8%
80～84	50	27	4	0	81	61.7%	33.3%	4.9%	0.0%
85～	25	20	2	1	48	52.1%	41.7%	4.2%	2.1%
総数	1,123	338	22	8	1,491	75.3%	22.7%	1.5%	0.5%

### 3. 口腔衛生習慣

#### 1) 1日における歯磨き回数

年齢階級	人数(人)					割合(%)			
	みがかない	1回	2回	3回以上	総数	みがかない	1回	2回	3回以上
17～24	0	16	65	33	114	0.0%	14.0%	57%	29%
25～29	1	8	37	18	64	1.6%	12.5%	58%	28%
30～34	0	9	37	35	81	0.0%	11.1%	46%	43%
35～39	0	7	60	42	109	0.0%	6.4%	55%	39%
40～44	0	7	59	43	109	0.0%	6.4%	54%	39%
45～49	0	13	64	65	142	0.0%	9.2%	45.1%	45.8%
50～54	0	14	59	38	111	0.0%	12.6%	53.2%	34%
55～59	0	6	51	40	97	0.0%	6.2%	53%	41%
60～64	0	12	53	35	100	0.0%	12.0%	53.0%	35.0%
65～69	0	18	75	49	142	0.0%	12.7%	52.8%	34.5%
70～74	0	16	84	74	174	0.0%	9.2%	48.3%	42.5%
75～79	1	20	51	47	119	0.8%	16.8%	42.9%	39.5%
80～84	3	10	34	36	83	3.6%	12.0%	41.0%	43.4%
85～	2	6	22	20	50	4.0%	12.0%	44.0%	40.0%
総数	7	162	751	575	1,495	0.5%	10.8%	50.2%	38.5%

#### 2) 清掃補助用具の使用状況

年齢階級	人数(人)					割合(%)			
	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	使っていない	総数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	使っていない
17～24	8	6	18	83	115	7.0%	5.2%	15.7%	72.2%
25～29	7	4	20	33	64	10.9%	6.3%	31.3%	51.6%
30～34	18	14	20	29	81	22.2%	17.3%	24.7%	35.8%
35～39	24	20	28	36	108	22.2%	18.5%	25.9%	33.3%
40～44	31	10	31	37	109	28.4%	9.2%	28.4%	33.9%
45～49	34	19	30	59	142	23.9%	13.4%	21.1%	41.5%
50～54	34	18	23	35	110	30.9%	16.4%	20.9%	31.8%
55～59	35	14	30	19	98	35.7%	14.3%	30.6%	19.4%
60～64	36	7	21	35	99	36.4%	7.1%	21.2%	35.4%
65～69	67	13	20	43	143	46.9%	9.1%	14.0%	30.1%
70～74	87	22	27	35	171	50.9%	12.9%	15.8%	20.5%
75～79	66	7	12	33	118	55.9%	5.9%	10.2%	28.0%
80～84	36	11	8	28	83	43.4%	13.3%	9.6%	33.7%
85～	19	4	2	26	51	37.3%	7.8%	3.9%	51.0%
総数	502	169	290	531	1,492	33.6%	11.3%	19.4%	35.6%

#### 4. 口腔内に対する自覚症状

##### 1) 歯みがき時の出血の有無

年齢階級	人数(人)			割合(%)	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	33	82	115	28.7%	71.3%
25～29	25	39	64	39.1%	60.9%
30～34	29	52	81	35.8%	64.2%
35～39	38	71	109	34.9%	65.1%
40～44	36	73	109	33.0%	67.0%
45～49	48	94	142	33.8%	66.2%
50～54	35	74	109	32.1%	67.9%
55～59	31	66	97	32.0%	68.0%
60～64	30	68	98	30.6%	69.4%
65～69	37	104	141	26.2%	73.8%
70～74	31	142	173	17.9%	82.1%
75～79	19	101	120	15.8%	84.2%
80～84	11	72	83	13.3%	86.7%
85～	5	46	51	9.8%	90.2%
総数	408	1,084	1,492	27.3%	72.7%

##### 2) 歯ぐきの状態

年齢階級	人数(人)			割合(%)	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	11	103	114	9.6%	90.4%
25～29	4	60	64	6.3%	93.8%
30～34	6	75	81	7.4%	92.6%
35～39	16	92	108	14.8%	85.2%
40～44	17	90	107	15.9%	84.1%
45～49	25	116	141	17.7%	82.3%
50～54	24	85	109	22.0%	78.0%
55～59	17	80	97	17.5%	82.5%
60～64	19	81	100	19.0%	81.0%
65～69	30	111	141	21.3%	78.7%
70～74	25	147	172	14.5%	85.5%
75～79	15	102	117	12.8%	87.2%
80～84	17	65	82	20.7%	79.3%
85～	8	42	50	16.0%	84.0%
総数	234	1,249	1,483	15.8%	84.2%

3) 自分は歯周病だと思うか

年齢階級	人数(人)			割合(%)	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	16	96	112	14.3%	85.7%
25～29	13	50	63	20.6%	79.4%
30～34	22	57	79	27.8%	72.2%
35～39	35	72	107	32.7%	67.3%
40～44	51	55	106	48.1%	51.9%
45～49	64	77	141	45.4%	54.6%
50～54	59	48	107	55.1%	44.9%
55～59	50	45	95	52.6%	47.4%
60～64	55	43	98	56.1%	43.9%
65～69	76	62	138	55.1%	44.9%
70～74	88	79	167	52.7%	47.3%
75～79	53	61	114	46.5%	53.5%
80～84	36	43	79	45.6%	54.4%
85～	20	29	49	40.8%	59.2%
総数	638	817	1,455	43.8%	56.2%

5. フッ素塗布経験

年齢階級	人数(人)					割合(%)			
	市町村保健センター等で受けた	歯科医療機関で受けた	受けたことがない	わからない	総数	市町村保健センター等で受けた	歯科医療機関で受けた	受けたことがない	わからない
17～24	0	41	11	59	111	0.0%	36.9%	9.9%	53.2%
25～29	2	17	15	29	63	3.2%	27.0%	23.8%	46.0%
30～34	0	16	28	33	77	0.0%	20.8%	36.4%	42.9%
35～39	1	23	34	45	103	1.0%	22.3%	33.0%	43.7%
40～44	1	25	35	41	102	1.0%	24.5%	34.3%	40.2%
45～49	1	30	57	45	133	0.8%	22.6%	42.9%	33.8%
50～54	0	22	35	48	105	0.0%	21.0%	33.3%	45.7%
55～59	1	21	42	26	90	1.1%	23.3%	46.7%	28.9%
60～64	0	14	49	33	96	0.0%	14.6%	51.0%	34.4%
65～69	0	26	78	29	133	0.0%	19.5%	58.6%	21.8%
70～74	0	30	85	41	156	0.0%	19.2%	54.5%	26.3%
75～79	0	15	67	36	118	0.0%	12.7%	56.8%	30.5%
80～84	0	11	46	15	72	0.0%	15.3%	63.9%	20.8%
85～	0	5	30	12	47	0.0%	10.6%	63.8%	25.5%
総数	6	296	612	492	1,406	0.4%	21.1%	43.5%	35.0%

## 6. 歯科医院での歯科保健指導の実施状況

### 1) 歯磨き

年齢階級	人数(人)				割合(%)		
	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない	総数	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない
17～24	19	69	27	115	16.5%	60.0%	23.5%
25～29	9	37	18	64	14.1%	57.8%	28.1%
30～34	16	49	16	81	19.8%	60.5%	19.8%
35～39	28	63	18	109	25.7%	57.8%	16.5%
40～44	24	63	22	109	22.0%	57.8%	20.2%
45～49	32	78	32	142	22.5%	54.9%	22.5%
50～54	23	66	22	111	20.7%	59.5%	19.8%
55～59	32	49	15	96	33.3%	51.0%	15.6%
60～64	25	49	23	97	25.8%	50.5%	23.7%
65～69	48	64	30	142	33.8%	45.1%	21.1%
70～74	56	75	40	171	32.7%	43.9%	23.4%
75～79	43	51	24	118	36.4%	43.2%	20.3%
80～84	28	41	13	82	34.1%	50.0%	15.9%
85～	17	22	12	51	33.3%	43.1%	23.5%
総数	400	776	312	1,488	26.9%	52.2%	21.0%

### 2) 歯間部清掃

年齢階級	人数(人)				割合(%)		
	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない	総数	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない
17～24	11	47	57	115	9.6%	40.9%	49.6%
25～29	5	30	29	64	7.8%	46.9%	45.3%
30～34	13	37	31	81	16.0%	45.7%	38.3%
35～39	23	55	30	108	21.3%	50.9%	27.8%
40～44	23	48	37	108	21.3%	44.4%	34.3%
45～49	22	71	49	142	15.5%	50.0%	34.5%
50～54	19	51	41	111	17.1%	45.9%	36.9%
55～59	29	44	22	95	30.5%	46.3%	23.2%
60～64	20	38	39	97	20.6%	39.2%	40.2%
65～69	30	61	50	141	21.3%	43.3%	35.5%
70～74	39	70	60	169	23.1%	41.4%	35.5%
75～79	31	40	44	115	27.0%	34.8%	38.3%
80～84	17	32	33	82	20.7%	39.0%	40.2%
85～	6	18	23	47	12.8%	38.3%	48.9%
総数	288	642	545	1,475	19.5%	43.5%	36.9%



### 3) フッ化物配合歯磨剤

年齢階級	人数(人)				割合(%)		
	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない	総数	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない
17～24	12	34	68	114	10.5%	29.8%	59.6%
25～29	10	21	33	64	15.6%	32.8%	51.6%
30～34	10	25	45	80	12.5%	31.3%	56.3%
35～39	29	26	53	108	26.9%	24.1%	49.1%
40～44	25	32	50	107	23.4%	29.9%	46.7%
45～49	27	36	77	140	19.3%	25.7%	55.0%
50～54	20	28	59	107	18.7%	26.2%	55.1%
55～59	22	22	47	91	24.2%	24.2%	51.6%
60～64	16	16	64	96	16.7%	16.7%	66.7%
65～69	27	37	74	138	19.6%	26.8%	53.6%
70～74	29	29	106	164	17.7%	17.7%	64.6%
75～79	27	21	66	114	23.7%	18.4%	57.9%
80～84	16	19	45	80	20.0%	23.8%	56.3%
85～	5	18	25	48	10.4%	37.5%	52.1%
総数	275	364	812	1,451	19.0%	25.1%	56.0%

### 4) フッ化物洗口

年齢階級	人数(人)				割合(%)		
	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない	総数	定期的に受けている	受けたことがあるが不定期	受けたことがない
17～24	6	27	82	115	5.2%	23.5%	71.3%
25～29	3	15	46	64	4.7%	23.4%	71.9%
30～34	2	17	62	81	2.5%	21.0%	76.5%
35～39	11	15	80	106	10.4%	14.2%	75.5%
40～44	13	18	76	107	12.1%	16.8%	71.0%
45～49	12	28	101	141	8.5%	19.9%	71.6%
50～54	8	23	73	104	7.7%	22.1%	70.2%
55～59	16	19	57	92	17.4%	20.7%	62.0%
60～64	8	5	82	95	8.4%	5.3%	86.3%
65～69	13	23	100	136	9.6%	16.9%	73.5%
70～74	19	23	120	162	11.7%	14.2%	74.1%
75～79	12	12	87	111	10.8%	10.8%	78.4%
80～84	6	9	64	79	7.6%	11.4%	81.0%
85～	2	5	39	46	4.3%	10.9%	84.8%
総数	131	239	1,069	1,439	9.1%	16.6%	74.3%

## 7. 歯科医院の受診状況

### 1) 歯科医院受診の間隔

年齢階級	人数(人)						割合				
	3か月以内	3～6か月以内	6か月～1年以内	1年～2年以内	2年以上前	総数	3か月以内	3～6か月以内	6か月～1年以内	1年～2年以内	2年以上前
17～24	48	21	14	13	17	113	42.5%	18.6%	12.4%	11.5%	15.0%
25～29	25	12	7	10	10	64	39.1%	18.8%	10.9%	15.6%	15.6%
30～34	39	17	9	10	5	80	48.8%	21.3%	11.3%	12.5%	6.3%
35～39	46	15	13	16	18	108	42.6%	13.9%	12.0%	14.8%	16.7%
40～44	40	21	14	12	20	107	37.4%	19.6%	13.1%	11.2%	18.7%
45～49	67	23	18	18	16	142	47.2%	16.2%	12.7%	12.7%	11.3%
50～54	54	17	11	14	12	108	50.0%	15.7%	10.2%	13.0%	11.1%
55～59	60	17	9	3	8	97	61.9%	17.5%	9.3%	3.1%	8.2%
60～64	47	22	11	10	10	100	47.0%	22.0%	11.0%	10.0%	10.0%
65～69	78	27	15	11	11	142	54.9%	19.0%	10.6%	7.7%	7.7%
70～74	84	33	27	13	11	168	50.0%	19.6%	16.1%	7.7%	6.5%
75～79	83	15	13	5	3	119	69.7%	12.6%	10.9%	4.2%	2.5%
80～84	46	12	14	5	5	82	56.1%	14.6%	17.1%	6.1%	6.1%
85～	33	7	3	3	4	50	66.0%	14.0%	6.0%	6.0%	8.0%
総数	750	259	178	143	150	1,480	50.7%	17.5%	12.0%	9.7%	10.1%

2) 定期歯科受診の有無

	年齢階級	人数(人)			割合	
		はい	いいえ	総数	はい	いいえ
男性	17～24	19	27	46	41.3%	58.7%
	25～29	14	13	27	51.9%	48.1%
	30～34	16	15	31	51.6%	48.4%
	35～39	23	26	49	46.9%	53.1%
	40～44	25	18	43	58.1%	41.9%
	45～49	37	30	67	55.2%	44.8%
	50～54	24	25	49	49.0%	51.0%
	55～59	21	11	32	65.6%	34.4%
	60～64	24	22	46	52.2%	47.8%
	65～69	41	18	59	69.5%	30.5%
	70～74	59	22	81	72.8%	27.2%
	75～79	37	13	50	74.0%	26.0%
	80～84	25	10	35	71.4%	28.6%
	85～	13	3	16	81.3%	18.8%
総数		378	253	631	59.9%	40.1%
女性	17～24	30	38	68	44.1%	55.9%
	25～29	17	20	37	45.9%	54.1%
	30～34	26	24	50	52.0%	48.0%
	35～39	36	23	59	61.0%	39.0%
	40～44	38	27	65	58.5%	41.5%
	45～49	44	32	76	57.9%	42.1%
	50～54	34	27	61	55.7%	44.3%
	55～59	47	18	65	72.3%	27.7%
	60～64	35	17	52	67.3%	32.7%
	65～69	60	24	84	71.4%	28.6%
	70～74	67	22	89	75.3%	24.7%
	75～79	61	8	69	88.4%	11.6%
	80～84	32	14	46	69.6%	30.4%
	85～	23	11	34	67.6%	32.4%
総数		550	305	855	64.3%	35.7%
総数	17～24	49	65	114	43.0%	57.0%
	25～29	31	33	64	48.4%	51.6%
	30～34	42	39	81	51.9%	48.1%
	35～39	59	49	108	54.6%	45.4%
	40～44	63	45	108	58.3%	41.7%
	45～49	81	62	143	56.6%	43.4%
	50～54	58	52	110	52.7%	47.3%
	55～59	68	29	97	70.1%	29.9%
	60～64	59	39	98	60.2%	39.8%
	65～69	101	42	143	70.6%	29.4%
	70～74	126	44	170	74.1%	25.9%
	75～79	98	21	119	82.4%	17.6%
	80～84	57	24	81	70.4%	29.6%
	85～	36	14	50	72.0%	28.0%
総数		928	558	1,486	62.4%	37.6%

8. 既往歴について

年齢階級	人数(人)			割合	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	0	115	115	0.0%	100.0%
25～29	0	64	64	0.0%	100.0%
30～34	4	77	81	4.9%	95.1%
35～39	5	104	109	4.6%	95.4%
40～44	6	103	109	5.5%	94.5%
45～49	11	131	142	7.7%	92.3%
50～54	20	89	109	18.3%	81.7%
55～59	30	67	97	30.9%	69.1%
60～64	39	57	96	40.6%	59.4%
65～69	77	64	141	54.6%	45.4%
70～74	103	69	172	59.9%	40.1%
75～79	82	38	120	68.3%	31.7%
80～84	60	22	82	73.2%	26.8%
85～	30	18	48	62.5%	37.5%
総数	467	1,018	1,485	31.4%	68.6%

		心臓病	脳卒中	糖尿病	関節リウマチ	骨粗鬆症	高血圧
総数	はい	61	16	90	30	53	322
	いいえ	1440	1485	1411	1471	1448	1179
割合	はい	4.1%	1.1%	6.0%	2.0%	3.5%	21.5%
	いいえ	95.9%	98.9%	94.0%	98.0%	96.5%	78.5%

9. 喫煙状況

	年齢階級	人数(人)				割合		
		いいえ	過去に吸ったが 今はない	はい	総数	いいえ	過去に吸ったが 今はない	はい
男性	17～24	38	2	7	47	80.9%	4.3%	14.9%
	25～29	20	1	6	27	74.1%	3.7%	22.2%
	30～34	14	4	13	31	45.2%	12.9%	41.9%
	35～39	21	7	21	49	42.9%	14.3%	42.9%
	40～44	19	8	17	44	43.2%	18.2%	38.6%
	45～49	28	8	31	67	41.8%	11.9%	46.3%
	50～54	26	5	18	49	53.1%	10.2%	36.7%
	55～59	15	7	10	32	46.9%	21.9%	31.3%
	60～64	21	9	16	46	45.7%	19.6%	34.8%
	65～69	32	13	14	59	54.2%	22.0%	23.7%
	70～74	49	25	8	82	59.8%	30.5%	9.8%
	75～79	31	15	3	49	63.3%	30.6%	6.1%
	80～84	26	8	2	36	72.2%	22.2%	5.6%
	85～	11	5	0	16	68.8%	31.3%	0.0%
総数	351	117	166	634	55.4%	18.5%	26.2%	
女性	17～24	64	0	3	67	95.5%	0.0%	4.5%
	25～29	33	1	3	37	89.2%	2.7%	8.1%
	30～34	40	1	9	50	80.0%	2.0%	18.0%
	35～39	49	6	5	60	81.7%	10.0%	8.3%
	40～44	53	4	8	65	81.5%	6.2%	12.3%
	45～49	55	7	14	76	72.4%	9.2%	18.4%
	50～54	51	6	5	62	82.3%	9.7%	8.1%
	55～59	54	5	7	66	81.8%	7.6%	10.6%
	60～64	39	5	10	54	72.2%	9.3%	18.5%
	65～69	76	5	2	83	91.6%	6.0%	2.4%
	70～74	88	1	3	92	95.7%	1.1%	3.3%
	75～79	69	1	0	70	98.6%	1.4%	0.0%
	80～84	46	1	0	47	97.9%	2.1%	0.0%
	85～	30	3	1	34	88.2%	8.8%	2.9%
総数	747	46	70	863	86.6%	5.3%	8.1%	
総数	17～24	102	2	10	114	89.5%	1.8%	8.8%
	25～29	53	2	9	64	82.8%	3.1%	14.1%
	30～34	54	5	22	81	66.7%	6.2%	27.2%
	35～39	70	13	26	109	64.2%	11.9%	23.9%
	40～44	72	12	25	109	66.1%	11.0%	22.9%
	45～49	83	15	45	143	58.0%	10.5%	31.5%
	50～54	77	11	23	111	69.4%	9.9%	20.7%
	55～59	69	12	17	98	70.4%	12.2%	17.3%
	60～64	60	14	26	100	60.0%	14.0%	26.0%
	65～69	108	18	16	142	76.1%	12.7%	11.3%
	70～74	137	26	11	174	78.7%	14.9%	6.3%
	75～79	100	16	3	119	84.0%	13.4%	2.5%
	80～84	72	9	2	83	86.7%	10.8%	2.4%
	85～	41	8	1	50	82.0%	16.0%	2.0%
総数	1,098	163	236	1,497	73.3%	10.9%	15.8%	

10. 歯科に関する知識

1) 歯周病と糖尿病の関連性

年齢階級	人数(人)			割合	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	31	84	115	27.0%	73.0%
25～29	25	39	64	39.1%	60.9%
30～34	45	36	81	55.6%	44.4%
35～39	61	47	108	56.5%	43.5%
40～44	62	47	109	56.9%	43.1%
45～49	75	67	142	52.8%	47.2%
50～54	69	41	110	62.7%	37.3%
55～59	65	33	98	66.3%	33.7%
60～64	69	30	99	69.7%	30.3%
65～69	97	45	142	68.3%	31.7%
70～74	114	60	174	65.5%	34.5%
75～79	72	47	119	60.5%	39.5%
80～84	54	28	82	65.9%	34.1%
85～	24	26	50	48.0%	52.0%
総数	863	630	1,493	57.8%	42.2%

2) がん治療時の口腔ケアの効果

年齢階級	人数(人)			割合	
	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
17～24	11	104	115	9.6%	90.4%
25～29	14	50	64	21.9%	78.1%
30～34	25	56	81	30.9%	69.1%
35～39	30	78	108	27.8%	72.2%
40～44	32	77	109	29.4%	70.6%
45～49	43	100	143	30.1%	69.9%
50～54	41	70	111	36.9%	63.1%
55～59	38	59	97	39.2%	60.8%
60～64	38	60	98	38.8%	61.2%
65～69	54	88	142	38.0%	62.0%
70～74	75	98	173	43.4%	56.6%
75～79	47	70	117	40.2%	59.8%
80～84	34	47	81	42.0%	58.0%
85～	17	34	51	33.3%	66.7%
総数	499	991	1,490	33.5%	66.5%

11. 周囲の人々の歯科への健康関心度

年齢階級	人数(人)				割合		
	はい	どちらでもない	いいえ	総数	はい	どちらでもない	いいえ
17～24	47	56	12	115	40.9%	48.7%	10.4%
25～29	32	23	9	64	50.0%	35.9%	14.1%
30～34	40	33	8	81	49.4%	40.7%	9.9%
35～39	55	40	13	108	50.9%	37.0%	12.0%
40～44	52	50	7	109	47.7%	45.9%	6.4%
45～49	80	50	13	143	55.9%	35.0%	9.1%
50～54	60	44	7	111	54.1%	39.6%	6.3%
55～59	57	38	2	97	58.8%	39.2%	2.1%
60～64	68	28	4	100	68.0%	28.0%	4.0%
65～69	91	36	15	142	64.1%	25.4%	10.6%
70～74	127	39	8	174	73.0%	22.4%	4.6%
75～79	88	24	7	119	73.9%	20.2%	5.9%
80～84	58	17	8	83	69.9%	20.5%	9.6%
85～	36	10	4	50	72.0%	20.0%	8.0%
総数	891	488	117	1,496	59.6%	32.6%	7.8%

② 歯科健康診査

1. 調査対象者の属性

年齢階級	人数(人)			割合(%)	
	男	女	総数	男	女
17～24	47	68	115	40.9%	59.1%
25～29	27	37	64	42.2%	57.8%
30～34	31	50	81	38.3%	61.7%
35～39	49	60	109	45.0%	55.0%
40～44	44	65	109	40.4%	59.6%
45～49	67	76	143	46.9%	53.1%
50～54	49	62	111	44.1%	55.9%
55～59	32	66	98	32.7%	67.3%
60～64	45	54	99	45.5%	54.5%
65～79	59	84	143	41.3%	58.7%
70～74	82	92	174	47.1%	52.9%
75～79	50	70	120	41.7%	58.3%
80～84	36	47	83	43.4%	56.6%
85～	16	35	51	31.4%	68.6%
総数	634	866	1,500	42.3%	57.7%

2. 歯の状況（永久歯）

1) 有病状況

(1) DMF 者率

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		う蝕(DMF 歯)のない者	う蝕(DMF 歯)のある者	総数	う蝕(DMF 歯)のない者	う蝕(DMF 歯)のある者 (う蝕有病者 率)
男	17～24	6	41	47	12.8%	87.2%
	25～29	2	25	27	7.4%	92.6%
	30～34	2	29	31	6.5%	93.5%
	35～39	1	48	49	2.0%	98.0%
	40～44	0	44	44	0.0%	100.0%
	45～49	0	67	67	0.0%	100.0%
	50～54	0	49	49	0.0%	100.0%
	55～59	0	32	32	0.0%	100.0%
	60～64	0	45	45	0.0%	100.0%
	65～69	0	59	59	0.0%	100.0%
	70～74	0	82	82	0.0%	100.0%
	75～79	0	50	50	0.0%	100.0%
	80～84	0	36	36	0.0%	100.0%
	85～	0	16	16	0.0%	100.0%
総数		11	623	634	1.7%	98.3%
女	17～24	10	58	68	14.7%	85.3%
	25～29	3	34	37	8.1%	91.9%
	30～34	0	50	50	0.0%	100.0%
	35～39	1	59	60	1.7%	98.3%
	40～44	1	64	65	1.5%	98.5%
	45～49	0	76	76	0.0%	100.0%
	50～54	0	62	62	0.0%	100.0%
	55～59	0	66	66	0.0%	100.0%
	60～64	0	54	54	0.0%	100.0%
	65～69	0	84	84	0.0%	100.0%
	70～74	0	92	92	0.0%	100.0%
	75～79	0	70	70	0.0%	100.0%
	80～84	0	47	47	0.0%	100.0%
	85～	0	35	35	0.0%	100.0%
総数		15	851	866	1.7%	98.3%
総数	17～24	16	99	115	13.9%	86.1%
	25～29	5	59	64	7.8%	92.2%
	30～34	2	79	81	2.5%	97.5%
	35～39	2	107	109	1.8%	98.2%
	40～44	1	108	109	0.9%	99.1%
	45～49	0	143	143	0.0%	100.0%
	50～54	0	111	111	0.0%	100.0%
	55～59	0	98	98	0.0%	100.0%
	60～64	0	99	99	0.0%	100.0%
	65～69	0	143	143	0.0%	100.0%
	70～74	0	174	174	0.0%	100.0%
	75～79	0	120	120	0.0%	100.0%
	80～84	0	83	83	0.0%	100.0%
	85～	0	51	51	0.0%	100.0%
総数		26	1,474	1,500	1.7%	98.3%



## (2) DF 者率

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		う蝕(DF歯) のない者	う蝕(DF歯) のある者	総数	う蝕(DF歯) のない者	う蝕(DF歯) のある者(う 蝕有病者率)
男	17～24	6	41	47	12.8%	87.2%
	25～29	2	25	27	7.4%	92.6%
	30～34	2	29	31	6.5%	93.5%
	35～39	1	48	49	2.0%	98.0%
	40～44	0	44	44	0.0%	100.0%
	45～49	1	66	67	1.5%	98.5%
	50～54	0	49	49	0.0%	100.0%
	55～59	0	32	32	0.0%	100.0%
	60～64	0	45	45	0.0%	100.0%
	65～69	0	59	59	0.0%	100.0%
	70～74	4	78	82	4.9%	95.1%
	75～79	2	48	50	4.0%	96.0%
	80～84	2	34	36	5.6%	94.4%
	85～	2	14	16	12.5%	87.5%
総数		22	612	634	3.5%	96.5%
女	17～24	12	56	68	17.6%	82.4%
	25～29	3	34	37	8.1%	91.9%
	30～34	1	49	50	2.0%	98.0%
	35～39	1	59	60	1.7%	98.3%
	40～44	2	63	65	3.1%	96.9%
	45～49	0	76	76	0.0%	100.0%
	50～54	0	62	62	0.0%	100.0%
	55～59	0	66	66	0.0%	100.0%
	60～64	1	53	54	1.9%	98.1%
	65～69	0	84	84	0.0%	100.0%
	70～74	1	91	92	1.1%	98.9%
	75～79	0	70	70	0.0%	100.0%
	80～84	1	46	47	2.1%	97.9%
	85～	1	34	35	2.9%	97.1%
総数		23	843	866	2.7%	97.3%
総数	17～24	18	97	115	15.7%	84.3%
	25～29	5	59	64	7.8%	92.2%
	30～34	3	78	81	3.7%	96.3%
	35～39	2	107	109	1.8%	98.2%
	40～44	2	107	109	1.8%	98.2%
	45～49	1	142	143	0.7%	99.3%
	50～54	0	111	111	0.0%	100.0%
	55～59	0	98	98	0.0%	100.0%
	60～64	1	98	99	1.0%	99.0%
	65～69	0	143	143	0.0%	100.0%
	70～74	5	169	174	2.9%	97.1%
	75～79	2	118	120	1.7%	98.3%
	80～84	3	80	83	3.6%	96.4%
	85～	3	48	51	5.9%	94.1%
総数		45	1,455	1,500	3.0%	97.0%

(3) DMFT (一人平均う蝕経験歯数) と DFT (一人平均 DF 歯数)

	年齢階級	DMFT	DFT
男	17～24	6.7	6.5
	25～29	8.9	8.4
	30～34	9.5	9.0
	35～39	13.7	13.1
	40～44	13.3	12.4
	45～49	15.7	13.9
	50～54	15.1	13.0
	55～59	17.9	14.8
	60～64	18.6	13.6
	65～69	19.0	13.4
	70～74	18.1	12.9
	75～79	21.7	12.4
	80～84	20.8	9.7
	85～	25.3	9.9
総数	16.0	12.0	
女	17～24	7.5	7.2
	25～29	8.6	8.3
	30～34	10.6	10.0
	35～39	13.1	12.5
	40～44	14.8	13.8
	45～49	16.5	14.9
	50～54	17.2	15.3
	55～59	18.4	15.6
	60～64	19.4	14.0
	65～69	19.0	14.7
	70～74	21.5	14.6
	75～79	21.6	14.1
	80～84	23.7	13.2
	85～	23.0	11.3
総数	17.0	13.2	
総数	17～24	7.2	6.9
	25～29	8.7	8.3
	30～34	10.2	9.6
	35～39	13.3	12.8
	40～44	14.2	13.2
	45～49	16.1	14.4
	50～54	16.3	14.3
	55～59	18.2	15.3
	60～64	18.9	13.7
	65～69	19.0	14.2
	70～74	19.9	13.8
	75～79	21.6	13.4
	80～84	22.5	11.7
	85～	23.7	10.9
総数	16.6	12.7	

## (4) 未処置歯保有者率 (D 者率)

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		未処置歯を持たない者	未処置歯を持つ者	総数	未処置歯を持たない者	未処置歯を持つ者
男	17～24	19	28	47	40.4%	59.6%
	25～29	17	10	27	63.0%	37.0%
	30～34	17	14	31	54.8%	45.2%
	35～39	29	20	49	59.2%	40.8%
	40～44	26	18	44	59.1%	40.9%
	45～49	43	24	67	64.2%	35.8%
	50～54	30	19	49	61.2%	38.8%
	55～59	23	9	32	71.9%	28.1%
	60～64	27	18	45	60.0%	40.0%
	65～69	40	19	59	67.8%	32.2%
	70～74	59	23	82	72.0%	28.0%
	75～79	30	20	50	60.0%	40.0%
	80～84	26	10	36	72.2%	27.8%
	85～	13	3	16	81.3%	18.8%
	総数	399	235	634	62.9%	37.1%
女	17～24	44	24	68	64.7%	35.3%
	25～29	20	17	37	54.1%	45.9%
	30～34	31	19	50	62.0%	38.0%
	35～39	42	18	60	70.0%	30.0%
	40～44	42	23	65	64.6%	35.4%
	45～49	48	28	76	63.2%	36.8%
	50～54	44	18	62	71.0%	29.0%
	55～59	49	17	66	74.2%	25.8%
	60～64	38	16	54	70.4%	29.6%
	65～69	59	25	84	70.2%	29.8%
	70～74	69	23	92	75.0%	25.0%
	75～79	57	13	70	81.4%	18.6%
	80～84	35	12	47	74.5%	25.5%
	85～	23	12	35	65.7%	34.3%
	総数	601	265	866	69.4%	30.6%
総数	17～24	63	52	115	54.8%	45.2%
	25～29	37	27	64	57.8%	42.2%
	30～34	48	33	81	59.3%	40.7%
	35～39	71	38	109	65.1%	34.9%
	40～44	68	41	109	62.4%	37.6%
	45～49	91	52	143	63.6%	36.4%
	50～54	74	37	111	66.7%	33.3%
	55～59	72	26	98	73.5%	26.5%
	60～64	65	34	99	65.7%	34.3%
	65～69	99	44	143	69.2%	30.8%
	70～74	128	46	174	73.6%	26.4%
	75～79	87	33	120	72.5%	27.5%
	80～84	61	22	83	73.5%	26.5%
	85～	36	15	51	70.6%	29.4%
	総数	1,000	500	1,500	66.7%	33.3%

(5) 一人平均未処置歯数

	年齢階級	1人平均 未処置歯数 (全体)	1人平均 未処置歯数 (男性)	1人平均 未処置歯数 (女性)
総数	17～24	1.83	2.11	1.63
	25～29	1.63	1.74	1.54
	30～34	1.31	1.94	0.92
	35～39	1.25	1.78	0.82
	40～44	1.33	0.93	1.60
	45～49	0.95	1.13	0.79
	50～54	0.98	1.06	0.92
	55～59	0.57	0.66	0.53
	60～64	0.95	0.89	1.00
	65～69	0.85	0.97	0.77
	70～74	0.67	0.85	0.50
	75～79	0.78	1.20	0.47
	80～84	0.71	0.75	0.68
	85～	0.92	0.63	1.06
	総数	1.02	1.18	0.91

3) 歯の喪失

年齢階級	割合(%)					一人あたり平均値	
	総数	無歯顎者	現在歯20歯以上の者	現在歯24歯以上の者	喪失歯を持つ者	現在歯数	喪失歯数
17～24	115	0.0%	100.0%	100.0%	13.9%	27.7	0.3
25～29	64	0.0%	100.0%	100.0%	20.3%	27.5	0.4
30～34	81	0.0%	100.0%	100.0%	25.9%	27.4	0.6
35～39	109	0.0%	99.1%	97.2%	26.6%	27.4	0.6
40～44	109	0.0%	98.2%	94.5%	33.9%	27.0	1.0
45～49	143	0.0%	96.5%	90.9%	51.0%	26.3	1.7
50～54	111	0.0%	98.2%	85.6%	62.2%	26.0	2.0
55～59	98	0.0%	92.9%	78.6%	74.5%	25.1	2.9
60～64	99	0.0%	77.8%	57.6%	81.8%	22.8	5.2
65～69	143	0.0%	78.3%	63.6%	81.1%	23.1	4.9
70～74	174	0.6%	75.9%	51.7%	87.9%	21.9	6.1
75～79	120	1.7%	57.5%	40.8%	93.3%	19.8	8.2
80～84	83	3.6%	53.0%	33.7%	95.2%	17.2	10.8
85～	51	5.9%	33.3%	27.5%	96.1%	15.1	12.8
総数	1,500	0.6%	84.3%	73.3%	61.4%	24.1	3.9

(1) 無歯顎者率 (70歳以上)

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		有歯顎者	無歯顎者	総数	有歯顎者	無歯顎者
総数	70～74	173	1	174	99.4%	0.6%
	75～79	118	2	120	98.3%	1.7%
	80～84	80	3	83	96.4%	3.6%
	85～	48	3	51	94.1%	5.9%
	総数 (17歳以上)	1,491	9	1,500	99.4%	0.6%

## (2) 喪失歯所有者率

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		喪失歯を持たない者	喪失歯を持つ者	総数	喪失歯を持たない者	喪失歯を持つ者
男	17～24	42	5	47	89.4%	10.6%
	25～29	20	7	27	74.1%	25.9%
	30～34	23	8	31	74.2%	25.8%
	35～39	35	14	49	71.4%	28.6%
	40～44	29	15	44	65.9%	34.1%
	45～49	33	34	67	49.3%	50.7%
	50～54	18	31	49	36.7%	63.3%
	55～59	9	23	32	28.1%	71.9%
	60～64	11	34	45	24.4%	75.6%
	65～69	10	49	59	16.9%	83.1%
	70～74	13	69	82	15.9%	84.1%
	75～79	2	48	50	4.0%	96.0%
	80～84	2	34	36	5.6%	94.4%
	85～	1	15	16	6.3%	93.8%
総数		248	386	634	39.1%	60.9%
女	17～24	57	11	68	83.8%	16.2%
	25～29	31	6	37	83.8%	16.2%
	30～34	37	13	50	74.0%	26.0%
	35～39	45	15	60	75.0%	25.0%
	40～44	43	22	65	66.2%	33.8%
	45～49	37	39	76	48.7%	51.3%
	50～54	24	38	62	38.7%	61.3%
	55～59	16	50	66	24.2%	75.8%
	60～64	7	47	54	13.0%	87.0%
	65～69	17	67	84	20.2%	79.8%
	70～74	8	84	92	8.7%	91.3%
	75～79	6	64	70	8.6%	91.4%
	80～84	2	45	47	4.3%	95.7%
	85～	1	34	35	2.9%	97.1%
総数		331	535	866	38.2%	61.8%
総数	17～24	99	16	115	86.1%	13.9%
	25～29	51	13	64	79.7%	20.3%
	30～34	60	21	81	74.1%	25.9%
	35～39	80	29	109	73.4%	26.6%
	40～44	72	37	109	66.1%	33.9%
	45～49	70	73	143	49.0%	51.0%
	50～54	42	69	111	37.8%	62.2%
	55～59	25	73	98	25.5%	74.5%
	60～64	18	81	99	18.2%	81.8%
	65～69	27	116	143	18.9%	81.1%
	70～74	21	153	174	12.1%	87.9%
	75～79	8	112	120	6.7%	93.3%
	80～84	4	79	83	4.8%	95.2%
	85～	2	49	51	3.9%	96.1%
総数		579	921	1,500	38.6%	61.4%

(3) 一人平均現在歯数

	年齢階級	総数	一人平均現在歯数	
			男性	女性
総数	17～24	27.7	27.8	27.6
	25～29	27.5	27.5	27.5
	30～34	27.4	27.5	27.3
	35～39	27.4	27.4	27.5
	40～44	27.0	27.0	27.0
	45～49	26.3	26.2	26.3
	50～54	26.0	25.9	26.1
	55～59	25.1	24.8	25.3
	60～64	22.8	23.0	22.6
	65～69	23.1	22.4	23.6
	70～74	21.9	22.7	21.1
	75～79	19.8	18.7	20.5
	80～84	17.2	16.9	17.5
	85～	15.1	12.7	16.3
総数	24.1	24.0	24.2	

## (4) 20 歯以上保有者率

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		現在歯20歯 以上無しの 者	現在歯20歯 以上有りの 者	総数	現在歯20歯 以上無しの 者	現在歯20歯 以上有りの 者
男	17～24	0	47	47	0.0%	100.0%
	25～29	0	27	27	0.0%	100.0%
	30～34	0	31	31	0.0%	100.0%
	35～39	0	49	49	0.0%	100.0%
	40～44	1	43	44	2.3%	97.7%
	45～49	2	65	67	3.0%	97.0%
	50～54	1	48	49	2.0%	98.0%
	55～59	4	28	32	12.5%	87.5%
	60～64	9	36	45	20.0%	80.0%
	65～69	13	46	59	22.0%	78.0%
	70～74	15	67	82	18.3%	81.7%
	75～79	24	26	50	48.0%	52.0%
	80～84	16	20	36	44.4%	55.6%
	85～	13	3	16	81.3%	18.8%
総数		98	536	634	15.5%	84.5%
女	17～24	0	68	68	0.0%	100.0%
	25～29	0	37	37	0.0%	100.0%
	30～34	0	50	50	0.0%	100.0%
	35～39	1	59	60	1.7%	98.3%
	40～44	1	64	65	1.5%	98.5%
	45～49	3	73	76	3.9%	96.1%
	50～54	1	61	62	1.6%	98.4%
	55～59	3	63	66	4.5%	95.5%
	60～64	13	41	54	24.1%	75.9%
	65～69	18	66	84	21.4%	78.6%
	70～74	27	65	92	29.3%	70.7%
	75～79	27	43	70	38.6%	61.4%
	80～84	23	24	47	48.9%	51.1%
	85～	21	14	35	60.0%	40.0%
総数		138	728	866	15.9%	84.1%
総数	17～24	0	115	115	0.0%	100.0%
	25～29	0	64	64	0.0%	100.0%
	30～34	0	81	81	0.0%	100.0%
	35～39	1	108	109	0.9%	99.1%
	40～44	2	107	109	1.8%	98.2%
	45～49	5	138	143	3.5%	96.5%
	50～54	2	109	111	1.8%	98.2%
	55～59	7	91	98	7.1%	92.9%
	60～64	22	77	99	22.2%	77.8%
	65～69	31	112	143	21.7%	78.3%
	70～74	42	132	174	24.1%	75.9%
	75～79	51	69	120	42.5%	57.5%
	80～84	39	44	83	47.0%	53.0%
	85～	34	17	51	66.7%	33.3%
総数		236	1,264	1,500	15.7%	84.3%



## (5) 24 歯以上保有者率

	年齢階級	人数 (人)			割合 (%)	
		現在歯24歯 以上無しの 者	現在歯24歯 以上有りの 者	総数	現在歯24歯 以上無しの 者	現在歯24歯 以上有りの 者
男	17～24	0	47	47	0.0%	100.0%
	25～29	0	27	27	0.0%	100.0%
	30～34	0	31	31	0.0%	100.0%
	35～39	2	47	49	4.1%	95.9%
	40～44	2	42	44	4.5%	95.5%
	45～49	6	61	67	9.0%	91.0%
	50～54	8	41	49	16.3%	83.7%
	55～59	8	24	32	25.0%	75.0%
	60～64	19	26	45	42.2%	57.8%
	65～69	26	33	59	44.1%	55.9%
	70～74	36	46	82	43.9%	56.1%
	75～79	32	18	50	64.0%	36.0%
	80～84	21	15	36	58.3%	41.7%
	85～	13	3	16	81.3%	18.8%
総数		173	461	634	27.3%	72.7%
女	17～24	0	68	68	0.0%	100.0%
	25～29	0	37	37	0.0%	100.0%
	30～34	0	50	50	0.0%	100.0%
	35～39	1	59	60	1.7%	98.3%
	40～44	4	61	65	6.2%	93.8%
	45～49	7	69	76	9.2%	90.8%
	50～54	8	54	62	12.9%	87.1%
	55～59	13	53	66	19.7%	80.3%
	60～64	23	31	54	42.6%	57.4%
	65～69	26	58	84	31.0%	69.0%
	70～74	48	44	92	52.2%	47.8%
	75～79	39	31	70	55.7%	44.3%
	80～84	34	13	47	72.3%	27.7%
	85～	24	11	35	68.6%	31.4%
総数		227	639	866	26.2%	73.8%
総数	17～24	0	115	115	0.0%	100.0%
	25～29	0	64	64	0.0%	100.0%
	30～34	0	81	81	0.0%	100.0%
	35～39	3	106	109	2.8%	97.2%
	40～44	6	103	109	5.5%	94.5%
	45～49	13	130	143	9.1%	90.9%
	50～54	16	95	111	14.4%	85.6%
	55～59	21	77	98	21.4%	78.6%
	60～64	42	57	99	42.4%	57.6%
	65～69	52	91	143	36.4%	63.6%
	70～74	84	90	174	48.3%	51.7%
	75～79	71	49	120	59.2%	40.8%
	80～84	55	28	83	66.3%	33.7%
	85～	37	14	51	72.5%	27.5%
総数		400	1,100	1,500	26.7%	73.3%

1. 歯肉の状況

1) CPI (歯周ポケット) の状況

(1) 歯周ポケット (コード X を含む)

年齢階級	人数(人)				割合(%)							
	総数	歯周ポケット 4mm未満	歯周ポケット(4mm以上)のある者		総数	歯周ポケット 4mm未満	歯周ポケット(4mm以上)のある者		codeX 対象歯の ない者			
			code1 4mm以上 6mm未満	code2 6mm以上			code1 4mm以上 6mm未満	code2 6mm以上				
男	17~24	47	28	18	1	0	100.0%	59.6%	40.4%	38.3%	2.1%	0.0%
	25~29	27	11	15	1	0	100.0%	40.7%	59.3%	55.6%	3.7%	0.0%
	30~34	31	12	19	1	0	100.0%	38.7%	61.3%	58.1%	3.2%	0.0%
	35~39	49	14	35	8	0	100.0%	28.6%	71.4%	55.1%	16.3%	0.0%
	40~44	44	8	36	10	0	100.0%	18.2%	81.8%	59.1%	22.7%	0.0%
	45~49	67	14	53	30	23	100.0%	20.9%	79.1%	44.3%	34.3%	0.0%
	50~54	49	11	38	12	0	100.0%	22.4%	77.6%	53.1%	24.5%	0.0%
	55~59	32	9	23	14	9	100.0%	28.1%	71.9%	43.8%	28.1%	0.0%
	60~64	45	14	31	12	1	100.0%	31.1%	68.9%	40.0%	26.7%	2.2%
	65~69	59	14	45	28	16	100.0%	23.7%	76.3%	47.5%	27.1%	1.7%
	70~74	82	21	61	36	24	100.0%	25.6%	74.4%	43.9%	29.3%	1.2%
	75~79	49	7	42	23	16	100.0%	14.3%	85.7%	46.9%	32.7%	6.1%
	80~84	36	6	30	12	13	100.0%	16.7%	83.3%	33.3%	36.1%	13.9%
85~	16	3	13	5	2	100.0%	18.8%	81.3%	37.5%	31.3%	12.5%	
総数	633	172	461	297	151	100.0%	27.2%	72.8%	46.9%	23.9%	2.1%	
女	17~24	68	43	25	0	0	100.0%	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	25~29	37	28	9	0	0	100.0%	75.7%	24.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30~34	50	27	23	2	2	100.0%	54.0%	46.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	35~39	60	31	29	3	0	100.0%	51.7%	48.3%	4.3%	5.0%	0.0%
	40~44	65	26	39	27	12	100.0%	40.0%	60.0%	41.5%	18.5%	0.0%
	45~49	76	31	45	33	12	100.0%	40.8%	59.2%	43.4%	15.8%	0.0%
	50~54	62	20	42	33	9	100.0%	32.3%	67.7%	53.2%	14.5%	0.0%
	55~59	66	18	48	32	16	100.0%	27.3%	72.7%	48.5%	24.2%	0.0%
	60~64	54	14	40	24	16	100.0%	25.9%	74.1%	44.4%	29.6%	0.0%
	65~69	84	25	59	38	21	100.0%	29.8%	70.2%	45.2%	25.0%	0.0%
	70~74	92	24	68	42	22	100.0%	26.1%	73.9%	45.7%	23.9%	4.3%
	75~79	70	17	53	30	20	100.0%	24.3%	75.7%	42.9%	28.6%	4.3%
	80~84	47	13	34	18	14	100.0%	27.7%	72.3%	38.3%	29.8%	4.3%
85~	35	5	30	20	9	100.0%	14.3%	85.7%	57.1%	25.7%	2.9%	
総数	866	322	544	378	156	100.0%	37.2%	62.8%	43.6%	18.0%	1.2%	
総数	17~24	115	71	44	43	1	100.0%	61.7%	38.3%	37.4%	0.9%	0.0%
	25~29	64	39	25	24	1	100.0%	60.9%	39.1%	37.5%	1.6%	0.0%
	30~34	81	39	42	39	3	100.0%	48.1%	51.9%	48.1%	3.7%	0.0%
	35~39	109	45	64	53	11	100.0%	41.3%	58.7%	48.6%	10.1%	0.0%
	40~44	109	34	75	53	22	100.0%	31.2%	68.8%	48.6%	20.2%	0.0%
	45~49	143	45	98	63	35	100.0%	31.5%	68.5%	44.1%	24.5%	0.0%
	50~54	111	31	80	59	21	100.0%	27.9%	72.1%	53.2%	18.9%	0.0%
	55~59	98	27	71	46	25	100.0%	27.6%	72.4%	46.9%	25.5%	0.0%
	60~64	99	28	71	42	28	100.0%	28.3%	71.7%	42.4%	28.3%	1.0%
	65~69	143	39	104	66	37	100.0%	27.3%	72.7%	46.2%	25.9%	0.7%
	70~74	174	45	129	78	46	100.0%	25.9%	74.1%	44.8%	26.4%	2.9%
	75~79	119	24	95	53	36	100.0%	20.2%	79.8%	44.5%	30.3%	5.0%
	80~84	83	19	64	30	27	100.0%	22.9%	77.1%	36.1%	32.5%	8.4%
85~	51	8	43	26	14	100.0%	15.7%	84.3%	51.0%	27.5%	5.9%	
総数	1,499	494	1,005	675	307	100.0%	33.0%	67.0%	45.0%	20.5%	1.5%	

(2) 歯周ポケット（コードXを除く）

年齢階級	人数(人)				割合(%)				
	総数	code0 歯周ポケット 4mm未満	歯周ポケット(4mm以上)のある者		総数	code0 歯周ポケット 4mm未満	歯周ポケット(4mm以上)のある者		
			code1 4mm以上 6mm未満	code2 6mm以上			code1 4mm以上 6mm未満	code2 6mm以上	
17~24	47	28	19	18	100.0%	59.6%	40.4%	38.3%	2.1%
25~29	27	11	16	15	100.0%	40.7%	59.3%	55.6%	3.7%
30~34	31	12	19	18	100.0%	38.7%	61.3%	58.1%	3.2%
35~39	49	14	35	27	100.0%	28.6%	71.4%	55.1%	16.3%
40~44	44	8	36	26	100.0%	18.2%	81.8%	59.1%	22.7%
45~49	67	14	53	30	100.0%	20.9%	79.1%	44.8%	34.3%
50~54	49	11	38	26	100.0%	22.4%	77.6%	53.1%	24.5%
55~59	32	9	23	14	100.0%	28.1%	71.9%	43.8%	28.1%
60~64	44	14	30	18	100.0%	31.8%	68.2%	40.9%	27.3%
65~69	58	14	44	28	100.0%	24.1%	75.9%	48.3%	27.6%
70~74	81	21	60	36	100.0%	25.9%	74.1%	44.4%	29.6%
75~79	46	7	39	23	100.0%	15.2%	84.8%	50.0%	34.8%
80~84	31	6	25	12	100.0%	19.4%	80.6%	38.7%	41.9%
85~	14	3	11	6	100.0%	21.4%	78.6%	42.9%	35.7%
総数	620	172	448	297	100.0%	27.7%	72.3%	47.9%	24.4%
17~24	68	43	25	25	100.0%	63.2%	36.8%	36.8%	0.0%
25~29	37	28	9	9	100.0%	75.7%	24.3%	24.3%	0.0%
30~34	50	27	23	21	100.0%	54.0%	46.0%	42.0%	4.0%
35~39	60	31	29	26	100.0%	51.7%	48.3%	43.3%	5.0%
40~44	65	26	39	27	100.0%	40.0%	60.0%	41.5%	18.5%
45~49	76	31	45	33	100.0%	40.8%	59.2%	43.4%	15.8%
50~54	62	20	42	33	100.0%	32.3%	67.7%	53.2%	14.5%
55~59	66	18	48	32	100.0%	27.3%	72.7%	48.5%	24.2%
60~64	54	14	40	24	100.0%	25.9%	74.1%	44.4%	29.6%
65~69	84	25	59	38	100.0%	29.8%	70.2%	45.2%	25.0%
70~74	88	24	64	42	100.0%	27.3%	72.7%	47.7%	25.0%
75~79	67	17	50	30	100.0%	25.4%	74.6%	44.8%	29.9%
80~84	45	13	32	18	100.0%	28.9%	71.1%	40.0%	31.1%
85~	34	5	29	20	100.0%	14.7%	85.3%	58.8%	26.5%
総数	856	322	534	378	100.0%	37.6%	62.4%	44.2%	18.2%
17~24	115	71	44	43	100.0%	61.7%	38.3%	37.4%	0.9%
25~29	64	39	25	24	100.0%	60.9%	39.1%	37.5%	1.6%
30~34	81	39	42	39	100.0%	48.1%	51.9%	48.1%	3.7%
35~39	109	45	64	53	100.0%	41.3%	58.7%	48.6%	10.1%
40~44	109	34	75	53	100.0%	31.2%	68.8%	48.6%	20.2%
45~49	143	45	98	63	100.0%	31.5%	68.5%	44.1%	24.5%
50~54	111	31	80	59	100.0%	27.9%	72.1%	53.2%	18.9%
55~59	98	27	71	46	100.0%	27.6%	72.4%	46.9%	25.5%
60~64	98	28	70	42	100.0%	28.6%	71.4%	42.9%	28.6%
65~69	142	39	103	66	100.0%	27.5%	72.5%	46.5%	26.1%
70~74	169	45	124	78	100.0%	26.6%	73.4%	46.2%	27.2%
75~79	113	24	89	53	100.0%	21.2%	78.8%	46.9%	31.9%
80~84	76	19	57	30	100.0%	25.0%	75.0%	39.5%	35.5%
85~	48	8	40	26	100.0%	16.7%	83.3%	54.2%	29.2%
総数	1,476	494	982	675	100.0%	33.5%	66.5%	45.7%	20.8%

2) CPI (歯肉出血) の状況

(1) 歯肉出血 (コード X を含む)

	年齢階級	人数(人)				割合(%)			
		総数	code0 健全	code1 歯肉出血 あり	codeX 対象歯の ない者	総数	code0 健全	code1 歯肉出血 あり	codeX 対象歯の ない者
男	17～24	47	18	29	0	100.0%	38.3%	61.7%	0.0%
	25～29	27	10	17	0	100.0%	37.0%	63.0%	0.0%
	30～34	31	11	20	0	100.0%	35.5%	64.5%	0.0%
	35～39	49	16	33	0	100.0%	32.7%	67.3%	0.0%
	40～44	44	11	33	0	100.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	45～49	67	16	51	0	100.0%	23.9%	76.1%	0.0%
	50～54	49	14	35	0	100.0%	28.6%	71.4%	0.0%
	55～59	32	12	20	0	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%
	60～64	45	20	24	1	100.0%	44.4%	53.3%	2.2%
	65～69	59	21	37	1	100.0%	35.6%	62.7%	1.7%
	70～74	82	31	50	1	100.0%	37.8%	61.0%	1.2%
	75～79	50	20	27	3	100.0%	40.0%	54.0%	6.0%
	80～84	36	10	21	5	100.0%	27.8%	58.3%	13.9%
	85～	16	5	9	2	100.0%	31.3%	56.3%	12.5%
総数	634	215	406	13	100.0%	33.9%	64.0%	2.1%	
女	17～24	68	36	32	0	100.0%	52.9%	47.1%	0.0%
	25～29	37	20	17	0	100.0%	54.1%	45.9%	0.0%
	30～34	50	20	30	0	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%
	35～39	60	27	33	0	100.0%	45.0%	55.0%	0.0%
	40～44	65	27	38	0	100.0%	41.5%	58.5%	0.0%
	45～49	76	30	46	0	100.0%	39.5%	60.5%	0.0%
	50～54	62	18	44	0	100.0%	29.0%	71.0%	0.0%
	55～59	66	24	42	0	100.0%	36.4%	63.6%	0.0%
	60～64	54	20	34	0	100.0%	37.0%	63.0%	0.0%
	65～69	84	33	51	0	100.0%	39.3%	60.7%	0.0%
	70～74	92	34	54	4	100.0%	37.0%	58.7%	4.3%
	75～79	70	33	34	3	100.0%	47.1%	48.6%	4.3%
	80～84	47	13	32	2	100.0%	27.7%	68.1%	4.3%
	85～	35	11	23	1	100.0%	31.4%	65.7%	2.9%
総数	866	346	510	10	100.0%	40.0%	58.9%	1.2%	
総数	17～24	115	54	61	0	100.0%	47.0%	53.0%	0.0%
	25～29	64	30	34	0	100.0%	46.9%	53.1%	0.0%
	30～34	81	31	50	0	100.0%	38.3%	61.7%	0.0%
	35～39	109	43	66	0	100.0%	39.4%	60.6%	0.0%
	40～44	109	38	71	0	100.0%	34.9%	65.1%	0.0%
	45～49	143	46	97	0	100.0%	32.2%	67.8%	0.0%
	50～54	111	32	79	0	100.0%	28.8%	71.2%	0.0%
	55～59	98	36	62	0	100.0%	36.7%	63.3%	0.0%
	60～64	99	40	58	1	100.0%	40.4%	58.6%	1.0%
	65～69	143	54	88	1	100.0%	37.8%	61.5%	0.7%
	70～74	174	65	104	5	100.0%	37.4%	59.8%	2.9%
	75～79	120	53	61	6	100.0%	44.2%	50.8%	5.0%
	80～84	83	23	53	7	100.0%	27.7%	63.9%	8.4%
	85～	51	16	32	3	100.0%	31.4%	62.7%	5.9%
総数	1,500	561	916	23	100.0%	37.4%	61.1%	1.5%	

## (2) 歯肉出血 (コード X を除く)

	年齢階級	人数(人)			割合(%)		
		総数	code0 健全	code1 歯肉出血 あり	総数	code0 健全	code1 歯肉出血 あり
男	17～24	47	18	29	100.0%	38.3%	61.7%
	25～29	27	10	17	100.0%	37.0%	63.0%
	30～34	31	11	20	100.0%	35.5%	64.5%
	35～39	49	16	33	100.0%	32.7%	67.3%
	40～44	44	11	33	100.0%	25.0%	75.0%
	45～49	67	16	51	100.0%	23.9%	76.1%
	50～54	49	14	35	100.0%	28.6%	71.4%
	55～59	32	12	20	100.0%	37.5%	62.5%
	60～64	44	20	24	100.0%	45.5%	54.5%
	65～69	58	21	37	100.0%	36.2%	63.8%
	70～74	81	31	50	100.0%	38.3%	61.7%
	75～79	47	20	27	100.0%	42.6%	57.4%
	80～84	31	10	21	100.0%	32.3%	67.7%
	85～	14	5	9	100.0%	35.7%	64.3%
総数	621	215	406	100.0%	34.6%	65.4%	
女	17～24	68	36	32	100.0%	52.9%	47.1%
	25～29	37	20	17	100.0%	54.1%	45.9%
	30～34	50	20	30	100.0%	40.0%	60.0%
	35～39	60	27	33	100.0%	45.0%	55.0%
	40～44	65	27	38	100.0%	41.5%	58.5%
	45～49	76	30	46	100.0%	39.5%	60.5%
	50～54	62	18	44	100.0%	29.0%	71.0%
	55～59	66	24	42	100.0%	36.4%	63.6%
	60～64	54	20	34	100.0%	37.0%	63.0%
	65～69	84	33	51	100.0%	39.3%	60.7%
	70～74	88	34	54	100.0%	38.6%	61.4%
	75～79	67	33	34	100.0%	49.3%	50.7%
	80～84	45	13	32	100.0%	28.9%	71.1%
	85～	34	11	23	100.0%	32.4%	67.6%
総数	856	346	510	100.0%	40.4%	59.6%	
総数	17～24	115	54	61	100.0%	47.0%	53.0%
	25～29	64	30	34	100.0%	46.9%	53.1%
	30～34	81	31	50	100.0%	38.3%	61.7%
	35～39	109	43	66	100.0%	39.4%	60.6%
	40～44	109	38	71	100.0%	34.9%	65.1%
	45～49	143	46	97	100.0%	32.2%	67.8%
	50～54	111	32	79	100.0%	28.8%	71.2%
	55～59	98	36	62	100.0%	36.7%	63.3%
	60～64	98	40	58	100.0%	40.8%	59.2%
	65～69	142	54	88	100.0%	38.0%	62.0%
	70～74	169	65	104	100.0%	38.5%	61.5%
	75～79	114	53	61	100.0%	46.5%	53.5%
	80～84	76	23	53	100.0%	30.3%	69.7%
	85～	48	16	32	100.0%	33.3%	66.7%
総数	1,477	561	916	100.0%	38.0%	62.0%	

3) 歯肉炎・進行した歯周炎の状況（再掲）

	年齢階級	人数(人)				割合(%)	
		所見のない者	歯肉に炎症所見を有する者	進行した歯周炎を有する者	総数	歯肉に炎症所見を有する者	進行した歯周炎を有する者
総数	17～24	44	71	44	115	61.7%	38.3%
	25～29	25	39	25	64	60.9%	39.1%
	30～34	26	55	42	81	67.9%	51.9%
	35～39	27	82	64	109	75.2%	58.7%
	40～44	26	83	75	109	76.1%	68.8%
	45～49	29	114	98	143	79.7%	68.5%
	50～54	15	96	80	111	86.5%	72.1%
	55～59	16	82	71	98	83.7%	72.4%
	60～64	18	80	70	98	81.6%	71.4%
	65～69	28	114	103	142	80.3%	72.5%
	70～74	29	140	124	169	82.8%	73.4%
	75～79	21	92	89	113	81.4%	78.8%
	80～84	14	62	57	76	81.6%	75.0%
	85～	6	42	40	48	87.5%	83.3%
	総数	324	1,152	982	1,476	78.0%	66.5%

### 3. 歯列・咬合の状況

	年齢階級	人数(人)			割合(%)	
		所見なし	所見あり	総数	所見なし	所見あり
男	17～24	38	9	47	80.9%	19.1%
	25～29	18	9	27	66.7%	33.3%
	30～34	27	4	31	87.1%	12.9%
	35～39	40	9	49	81.6%	18.4%
	40～44	35	9	44	79.5%	20.5%
	45～49	52	15	67	77.6%	22.4%
	50～54	41	8	49	83.7%	16.3%
	55～59	30	2	32	93.8%	6.3%
	60～64	37	8	45	82.2%	17.8%
	65～69	45	14	59	76.3%	23.7%
	70～74	70	12	82	85.4%	14.6%
	75～79	39	11	50	78.0%	22.0%
	80～84	27	9	36	75.0%	25.0%
	85～	14	2	16	87.5%	12.5%
総数	513	121	634	80.9%	19.1%	
女	17～24	57	11	68	83.8%	16.2%
	25～29	33	4	37	89.2%	10.8%
	30～34	41	9	50	82.0%	18.0%
	35～39	50	10	60	83.3%	16.7%
	40～44	47	18	65	72.3%	27.7%
	45～49	58	18	76	76.3%	23.7%
	50～54	50	12	62	80.6%	19.4%
	55～59	56	10	66	84.8%	15.2%
	60～64	40	14	54	74.1%	25.9%
	65～69	69	14	83	83.1%	16.9%
	70～74	74	18	92	80.4%	19.6%
	75～79	62	8	70	88.6%	11.4%
	80～84	40	7	47	85.1%	14.9%
	85～	31	4	35	88.6%	11.4%
総数	708	157	865	81.8%	18.2%	
総数	17～24	95	20	115	82.6%	17.4%
	25～29	51	13	64	79.7%	20.3%
	30～34	68	13	81	84.0%	16.0%
	35～39	90	19	109	82.6%	17.4%
	40～44	82	27	109	75.2%	24.8%
	45～49	110	33	143	76.9%	23.1%
	50～54	91	20	111	82.0%	18.0%
	55～59	86	12	98	87.8%	12.2%
	60～64	77	22	99	77.8%	22.2%
	65～69	114	28	142	80.3%	19.7%
	70～74	144	30	174	82.8%	17.2%
	75～79	101	19	120	84.2%	15.8%
	80～84	67	16	83	80.7%	19.3%
	85～	45	6	51	88.2%	11.8%
総数	1,221	278	1,499	81.5%	18.5%	

4. 口腔清掃状態

	年齢階級	人数(人)				割合(%)		
		良好	普通	不良	総数	良好	普通	不良
男	17～24	14	20	13	47	29.8%	42.6%	27.7%
	25～29	7	16	4	27	25.9%	59.3%	14.8%
	30～34	13	13	5	31	41.9%	41.9%	16.1%
	35～39	12	26	11	49	24.5%	53.1%	22.4%
	40～44	12	21	11	44	27.3%	47.7%	25.0%
	45～49	15	33	19	67	22.4%	49.3%	28.4%
	50～54	12	27	10	49	24.5%	55.1%	20.4%
	55～59	9	18	5	32	28.1%	56.3%	15.6%
	60～64	20	22	3	45	44.4%	48.9%	6.7%
	65～69	16	29	14	59	27.1%	49.2%	23.7%
	70～74	33	42	7	82	40.2%	51.2%	8.5%
	75～79	12	28	10	50	24.0%	56.0%	20.0%
	80～84	7	23	6	36	19.4%	63.9%	16.7%
	85～	3	11	2	16	18.8%	68.8%	12.5%
総数		185	329	120	634	29.2%	51.9%	18.9%
女	17～24	29	31	8	68	42.6%	45.6%	11.8%
	25～29	20	12	5	37	54.1%	32.4%	13.5%
	30～34	25	22	3	50	50.0%	44.0%	6.0%
	35～39	30	25	5	60	50.0%	41.7%	8.3%
	40～44	24	32	9	65	36.9%	49.2%	13.8%
	45～49	42	27	7	76	55.3%	35.5%	9.2%
	50～54	27	31	4	62	43.5%	50.0%	6.5%
	55～59	28	30	8	66	42.4%	45.5%	12.1%
	60～64	18	30	6	54	33.3%	55.6%	11.1%
	65～69	38	39	6	83	45.8%	47.0%	7.2%
	70～74	38	49	5	92	41.3%	53.3%	5.4%
	75～79	35	29	6	70	50.0%	41.4%	8.6%
	80～84	16	23	8	47	34.0%	48.9%	17.0%
	85～	7	19	9	35	20.0%	54.3%	25.7%
総数		377	399	89	865	43.6%	46.1%	10.3%
総数	17～24	43	51	21	115	37.4%	44.3%	18.3%
	25～29	27	28	9	64	42.2%	43.8%	14.1%
	30～34	38	35	8	81	46.9%	43.2%	9.9%
	35～39	42	51	16	109	38.5%	46.8%	14.7%
	40～44	36	53	20	109	33.0%	48.6%	18.3%
	45～49	57	60	26	143	39.9%	42.0%	18.2%
	50～54	39	58	14	111	35.1%	52.3%	12.6%
	55～59	37	48	13	98	37.8%	49.0%	13.3%
	60～64	38	52	9	99	38.4%	52.5%	9.1%
	65～69	54	68	20	142	38.0%	47.9%	14.1%
	70～74	71	91	12	174	40.8%	52.3%	6.9%
	75～79	47	57	16	120	39.2%	47.5%	13.3%
	80～84	23	46	14	83	27.7%	55.4%	16.9%
	85～	10	30	11	51	19.6%	58.8%	21.6%
総数		562	728	209	1,499	37.5%	48.6%	13.9%



### ③ 保健行動と口腔状況との関連性

#### 1. 口腔衛生習慣

	年齢階級	未処置歯 (1:無 2:有)	喪失歯 (1:無 2:有)	CPI (歯周 ポケットスコア)	CPI (出血スコア)	口腔衛生状態 (1:良好 2:普通 3:不良)
1日の歯磨き回数 1:みがかない 2:1回 3:2回 4:3回以上	17~39	-0.063 0.443	0.077 0.079	-0.050 0.484	-0.071 0.383	-0.241 0.000
	40~64	-0.160 0.001	-0.090 0.046	-0.041 0.809	-0.025 0.305	-0.208 0.000
	65~	-0.125 0.004	-0.064 0.439	-0.074 0.167	-0.080 0.115	-0.137 0.006
	全体	-0.125 0.000	-0.019 0.194	-0.044 0.400	-0.054 0.017	-0.189 0.000
	清掃補助用具の使用 1:ほぼ毎日 2:週に3~4回 3:週に1~2回 4:使っていない	17~39	0.099 0.150	-0.161 0.000	-0.048 0.459	-0.024 0.690
	40~64	0.216 0.000	-0.025 0.559	0.021 0.908	0.018 0.195	0.232 0.000
	65~	0.135 0.004	0.014 0.501	-0.089 0.135	0.044 0.490	0.223 0.000
	全体	0.178 0.000	-0.171 0.000	-0.105 0.002	0.011 0.636	0.218 0.000

カイ二乗検定, 上段 Spearmanの相関係数, 下段 p値

## 2. フッ化物の応用（歯科医院での歯科保健指導）

	年齢階級	未処置歯 (1:無 2:有)	喪失歯 (1:無 2:有)	CPI（歯周 ポケットスコア）	CPI (出血スコア)	口腔衛生状態 (1:良好 2:普通 3:不良)
フッ化物配合歯磨剤 1:定期的に受けている 2:受けたことが あるが不定期 3:受けたことがない	17～39	0.192 0.000	-0.139 0.020	0.074 0.577	0.007 0.972	0.062 0.595
	40～64	0.116 0.010	0.040 0.362	0.046 0.425	0.023 0.826	0.174 0.000
	65～	0.114 0.011	0.072 0.259	-0.005 0.344	0.005 0.590	0.062 0.154
	全体	0.132 0.000	0.013 0.316	0.037 0.367	0.012 0.194	0.107 0.000
フッ化物洗口 1:定期的に受けている 2:受けたことが あるが不定期 3:受けたことがない	17～39	0.150 0.007	-0.080 0.234	0.109 0.195	-0.033 0.555	0.039 0.149
	40～64	0.189 0.000	0.023 0.685	0.037 0.338	0.011 0.741	0.172 0.000
	65～	0.062 0.025	-0.004 0.992	-0.026 0.743	-0.074 0.364	0.065 0.088
	全体	0.134 0.000	-0.001 0.253	0.030 0.121	-0.030 0.335	0.102 0.000

カイ二乗検定, 上段 Spearmanの相関係数, 下段 p値

### 3. 喫煙習慣

	年齢階級	未処置歯 (1:無 2:有)	喪失歯 (1:無 2:有)	CPI (歯周 ポケットスコア)	CPI (出血スコア)	口腔衛生状態 (1:良好 2:普通 3:不良)
喫煙習慣 1:いいえ 2:過去に吸ったが 今はない 3:はい	17~39	0.108	0.181	0.192	0.085	0.140
		0.048	0.001	0.000	0.106	0.003
	40~64	0.140	0.176	0.273	0.106	0.217
		0.002	0.000	0.000	0.026	0.000
	65~	-0.001	0.046	0.038	0.003	0.106
		0.420	0.382	0.372	0.883	0.001
	全体	0.090	0.102	0.168	0.073	0.162
		0.000	0.000	0.000	0.004	0.000

カイ二乗検定, 上段 Spearmanの相関係数, 下段 p値

### 4. 定期歯科受診

	年齢階級	未処置歯 (1:無 2:有)	喪失歯 (1:無 2:有)	CPI (歯周 ポケットスコア)	CPI (出血スコア)	口腔衛生状態 (1:良好 2:普通 3:不良)
定期歯科受診 1:はい 2:いいえ	17~39	0.155	-0.133	-0.069	-0.082	0.007
		0.003	0.011	0.416	0.117	0.224
	40~64	0.353	-0.071	-0.049	0.036	0.200
		0.000	0.084	0.266	0.389	0.000
	65~	0.304	0.058	-0.031	0.097	0.140
		0.000	0.183	0.541	0.029	0.005
	全体	0.298	-0.157	-0.096	0.018	0.121
		0.000	0.000	0.000	0.498	0.000

カイ二乗検定, 上段 Spearmanの相関係数, 下段 p値

令和2年度 高知県 歯と口の健康づくり実態調査報告書

発行日 令和 3 年 3 月

発行・編集： 高知県健康政策部健康長寿政策課

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号

